

Forum on



2010

Information Technology

第9回情報科学技術フォーラム

プログラム

インフォメーション	1
交通案内図	2
キャンパス図	4
プログラム概要	8
講演論文集の内容	12
各種イベントのご案内	13
会場別スケジュール	14
イベント企画講演概要	16
FIT2010展示会のご案内	36
査読付き論文について	40
一般講演プログラム	41
FIT2010論文査読者一覧	65
FIT委員名簿	67

平成22年9月7日（火）～9日（木）
九州大学伊都キャンパス（福岡県福岡市西区元岡744）

懇親会 9月8日（水）18:30より
ビッグドラ 1F（会場キャンパス内）

FIT2010本部 ウェスト2号館 3F 建設都市318講義室
臨時携帯電話：（090）4001-0001（会期中のみ）

【共催】



社団法人 電子情報通信学会

The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

情報・システムソサイエティ（ISS） ヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）
Information and Systems Society Human Communication Group



一般社団法人 情報処理学会

Information Processing Society of Japan

【協賛】



九州大学



財団法人 九州先端科学技術研究所

インフォメーション

- ◆総合受付（インフォメーションコーナー） ウェスト2号館 2F ゆとりスペース（ピロティ）
 受付時間：7日（火）9:10～17:00 8日（水）9:10～17:00 9日（木）9:10～15:00
 各種受付、講演論文集・DVD-ROM 販売、問合せ窓口

- ◆FIT 本部・手荷物預かり ウェスト2号館 3F 建設都市 講義室1（318）
 臨時電話 090-4001-0001（会期中のみ）

- ◆聴講参加費〔プログラム・参加章・DVD-ROM 付き〕（税込）
 会 員：10,000 円 非会員：20,000 円 学生：無料（プログラム・参加章のみ）

- ◆講演論文集・DVD-ROM（税込）
 講演論文集セット（全論文集・DVD-ROM・カバー付き）：個人・法人共 57,000 円
 講演論文集各分冊：個人購入 12,000 円／法人購入 15,000 円
 講演論文集 DVD-ROM：個人購入 8,000 円／法人購入 55,000 円／学割会場販売：4,000 円
 ※ DVD-ROM には一般講演全論文とプログラム収録

- ◆懇親会
 日時：9月8日（水） 18:30-20:30
 会場：ビッグドラ 1F
 参加費（税込）：社会人 5,000 円 学生 2,000 円 座長・査読者 3,000 円

◆講演件数

講演種別	イベント企画			査読付き論文	一般講演論文
	委員会提案	研究会提案	現地提案		
件数	1	12	2	88	668 ※

※但し、講演取消 31 を含む

◆お知らせ事項

[連絡掲示板]

FIT に関する周知および伝言等は、総合受付前に設置する「連絡掲示板」に掲示しますのでご注意ください。
 各会場への個別の連絡や館内アナウンス等は致しません。

[インターネット接続コーナー（無線 LAN について）]

利用可能エリア：ウェスト2号館 2F ゆとりスペース（ピロティ）
 総合受付に利用案内がございます。ご希望の方は利用申込書に必要事項をご記入の上、総合受付に提出下さい。引き換えに利用案内をお渡しします。なお電源の提供はございません。

[食堂]

食堂：ビッグドラ 営業時間
 9月7日（火） 1、2F 8:00～19:30
 9月8日（水） 1F 8:00～14:00 2F 8:00～19:30
 9月9日（水） 1、2F 8:00～19:30

[売店]

生協購買（ウェスト2号館1F）営業時間 7:00～23:00
 ローソン（ビッグドラに隣接）営業時間 7:00～21:00

[喫煙について]

大学構内は禁煙です。喫煙は指定の喫煙場所をお願いします。

[駐車場について]

一般参加者用の駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。会場へは、公共交通機関等をご利用の上お越し下さいますようお願い致します。

[交通について]

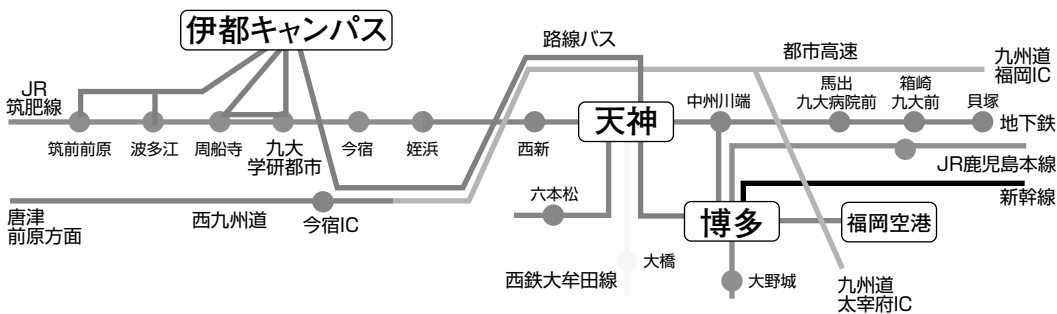
- ・ 昭和バスで約 13 分（JR 九大学研都市駅～九大工学部）
 昭和バス伊都案内所 092-806-1944 <http://www.showa-bus.jp/>
- ・ 西鉄バスで約 43 分（天神～九大工学部）

◆今後の FIT・大会情報

FIT2011 第 10 回情報科学技術フォーラム
 会期：2011 年 9 月 7 日（水）～ 9 日（金） 会場：函館大学（函館市）
 第 73 回全国大会（情報処理学会）
 会期：2011 年 3 月 2 日（水）～ 4 日（金） 会場：東京工業大学 大岡山キャンパス（東京）
 2011 年総合大会（電子情報通信学会）
 会期：2011 年 3 月 14 日（月）～ 17 日（木） 会場：東京都市大学（東京）

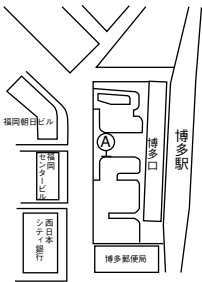
交通案内図

■伊都キャンパスへのアクセス

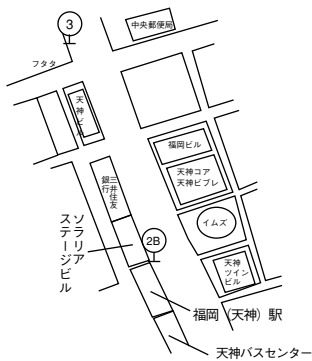


■西鉄バス乗り場

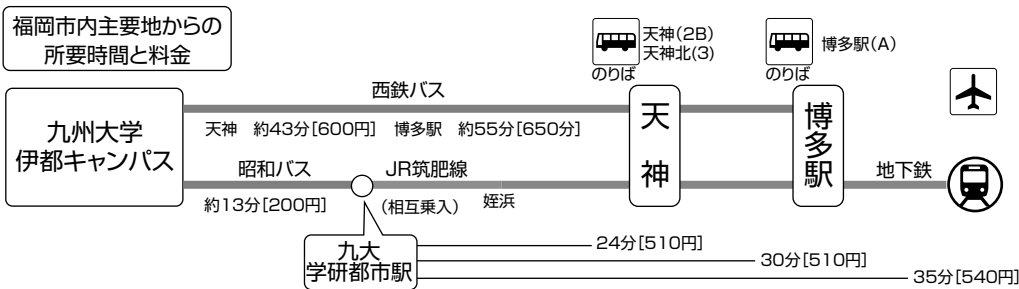
●博多駅前（A）



●天神ソラリアステージ前（2B）
天神北（3）



■【福岡市内主要地からの所要時間と料金】



福岡空港から
「福岡空港」駅（姪浜・唐津方面行）→姪浜から JR 筑肥線→「九大学研都市」駅下車、昭和バス「九大工学部前」行に乗車
博多駅から
「博多」駅（姪浜・唐津方面行き）→「九大学研都市」駅下車、昭和バス「九大工学部前」行に乗車 「博多駅（A）」停留所から直行バス（西鉄バス「[急行] 九大伊都キャンパス（工学部前）」行に乗車）
天神から
「天神」駅（地下鉄空港線：姪浜・唐津方面行き乗車）→「九大学研都市」駅下車→昭和バス「九大工学部前」行に乗車 「天神ソラリアステージ前（2B）」および「天神北（3）」停留所から直行バス（西鉄バス「[急行] 九大伊都キャンパス（工学部前）」行に乗車）
佐賀（唐津）方面から
JR 筑肥線（姪浜・福岡空港方面行き乗車）→「筑前前原」駅下車→糸島市コミュニティバス「九大線」に乗車 JR 筑肥線（姪浜・福岡空港方面行き乗車）→「九大学研都市」駅下車→昭和バス「九大工学部前」行きに乗車

バス時刻表

■昭和バス

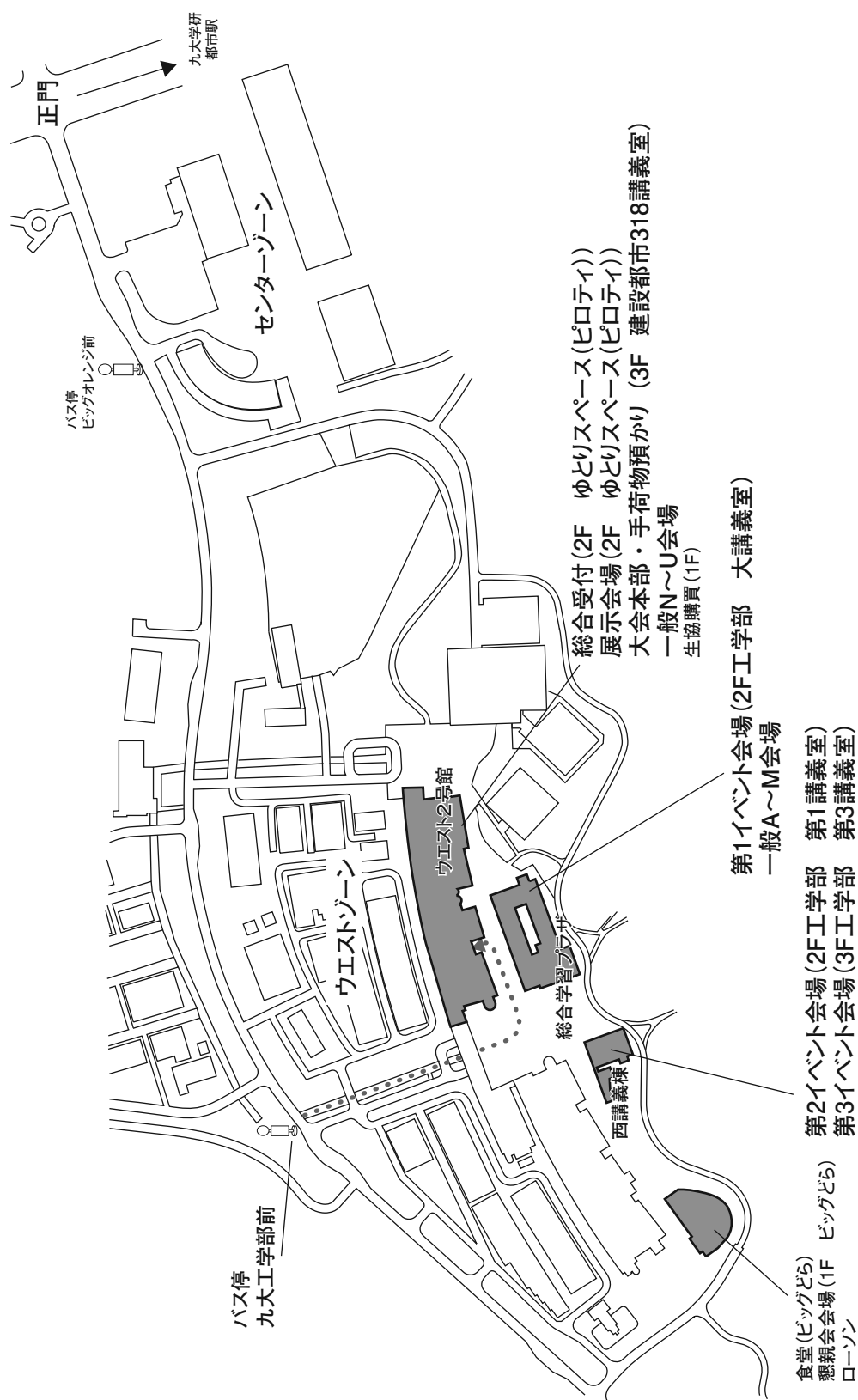
【月～金】 九大学研都市駅 → 九大工学部前 *横浜経由 無印 泉経由 200 円												【月～金】 九大工学部前 → 九大学研都市駅 *横浜経由 無印 泉経由 200 円											
7	22*	32	42*	52*	54							7	00*	15	25*	40	48*						
8	05*	09	11*	13	20*	26	37*	39	42	47	52*	8	00*	15	17*	25	35*	40	47*	55			
9	02	09*	11	25	30*	32	42*	46	52*	54		9	05*	15	30*	44	55*						
10	00*	04	07*	09	27	40*	55					10	13	30*	40	57							
11	10*	17	26	40*	57							11	15*	25	42*								
12	10*	26	40	57*								12	00*	12	27*	42	57*						
13	10*	21	40	55*								13	12	25	38*	55							
14	10	23	40*	55								14	12	25*	40	43*	55	58					
15	10*	25	37*	55								15	12*	25	42								
16	10	23*	33	42*	56							16	00*	12	20	25*	30*	40	43*	46			
17	10*	25	40*	55								17	00*	05	10	18*	25	30*	45*	47	50*	55	
18	10*	25	41*	57								18	07	15	20	22*	24	27	40*	43	55		
19	08*	36										19	00*	12	15*	28	32*	46*	58				
20	09*	52										20	10	30*									
21	40*											21	00	18	58*								
22	40											22	28										

■西鉄バス【夏休みダイヤ】

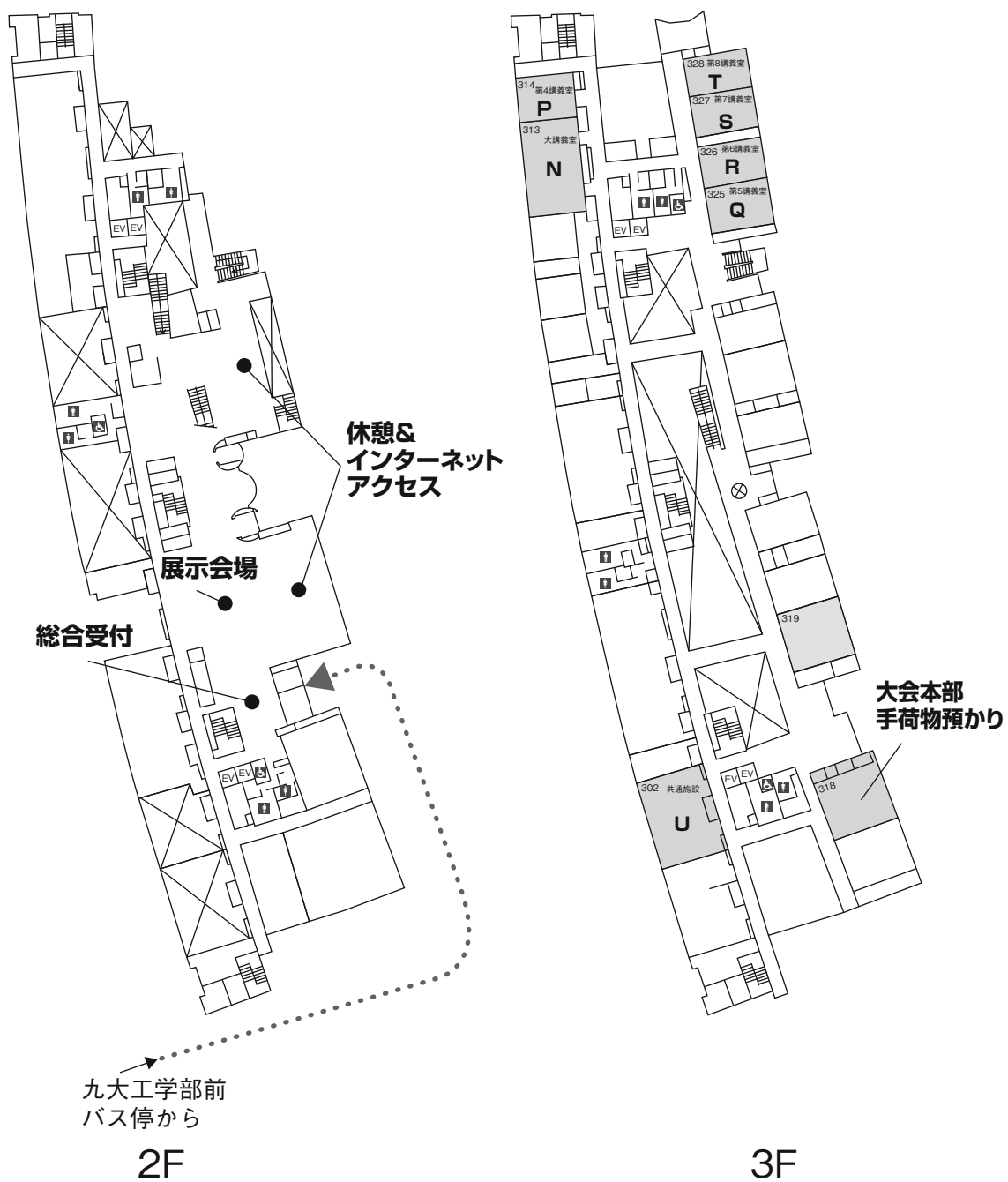
博多駅前 A → 九大工学部前 方面 (平日)		天神ソラリアステージ前 → 九大工学部前 方面 (平日)		天神北 (3) → 九大工学部前 方面 (平日)	
行先	九大工学部前	行先	九大工学部前	行先	九大工学部前
経由	渡辺通一丁目 天神都市高速 福重 RP (急行)	経由	都市高速 福重 RP 宮の前団地 (急行)	経由	都市高速 福重 RP 宮の前団地 (急行)
運賃	650 円	運賃	600 円	運賃	600 円
6	57				
7	22 44	7	05 30 55	7	07 32 59
8	04 34 54	8	15 33 45 53	8	19 37 49 57
9	14 34 49	9	05 25 45	9	09 29 49
10	19 49	10	00 30	10	04 34
11	19 49	11	00 30	11	04 34
12	19 49	12	00 30	12	04 34
13	48	13	00	13	04
14	48	14	00	14	04
15	48	15	00	15	04
16		16	00	16	04
17	01	17	15	17	19
18	01	18	15	18	19
19		19		19	

九大工学部前 → 博多駅地区 方面 (平日)		
行先	博多駅 (天神経由)	天神
経由	福重 RP 都市高速天神 渡辺通一丁目 (急行)	今宿 RP 都市高速 (急行)
運賃	650 円	600 円
8	10 40	
9	10 40	
10	40	
11	40	
12	10 40	
13	10 40	
14	10 40	
15	10 40	
16	10 55	44
17	10 40	
18	20 55	
19	20 40	
20	00 30	
21	00 30	
22	00	

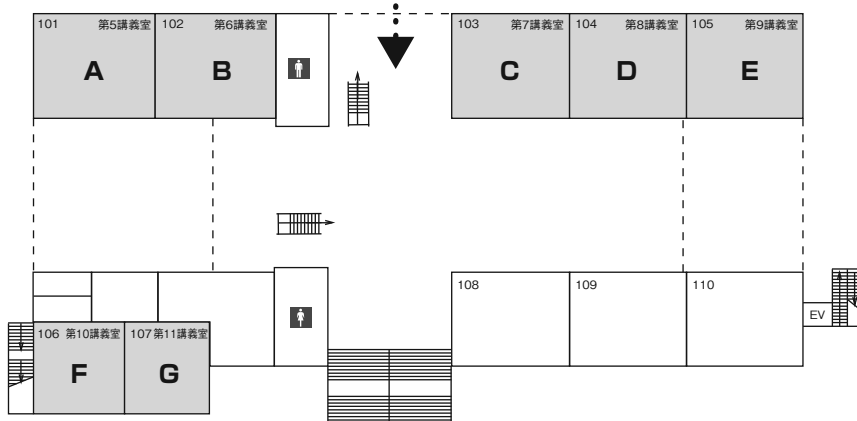
九州大学 伊都キャンパス図



ウエスト2号館



総合受付から



201 第12講義室 202 第13講義室 203 第14講義室 204 第15講義室 205 第16講義室

H J K L M

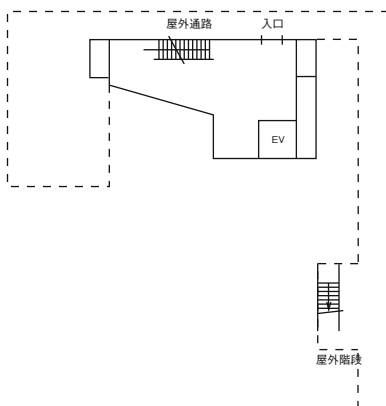
206 大講義室 207 218 220

第1 イベント会場

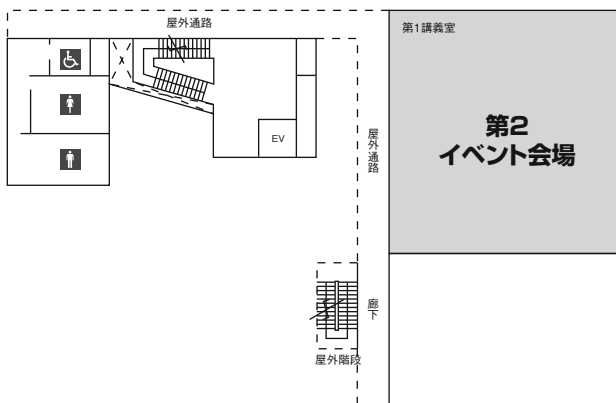
EV

西講義棟

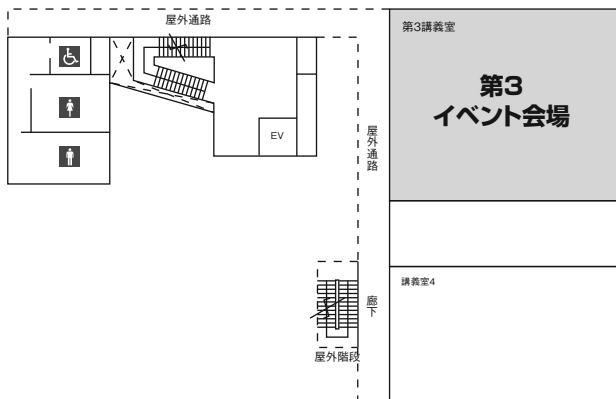
1F



2F



3F



日	会場 時間	第1イベント会場 総合学習プラザ 2F 工学部 大講義室	第2イベント会場 西講義棟 2F 工学部 第1講義室	第3イベント会場 西講義棟 3F 工学部 第3講義室	展示会場 ウエスト2号館 2F ゆとりスペース
9月7日 (火)	10:00				展示会 10:00 ~ 17:30
	12:30				
	13:30	13:30-15:30 サイバーワールドとリアルワールドとの接点 - 社会に“入り込む” デジタルメディアの展開 -	13:30-16:30	13:30-15:30 サービスコンピューティングへのアプローチ	
	15:30	P. 16	第14回バターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト	P. 28	
	16:00	16:00-18:00 1 + 1 > 3を目指そう - 次世代を担う若い情報・システム研究開発者とベテラン研究者の議論が新たな道を切り拓く -		16:00-18:00 学際テーマの研究推進にむけて - 学際テーマを研究することの楽しさと難しさ -	
	18:00	P. 18	P. 24	P. 30	P. 36
9月8日 (水)	10:00	10:00-12:30 マルウェア対策の実態 - Gumblar の事例に見る最新対策技術 -	10:00-12:30 ポスト情報爆発へ向けて - Beyond Web の展望 -	10:00-12:30 Science と Engineering をつなぐ「Art」を求めて - ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトシンポジウム -	展示会 10:00 ~ 17:30
	12:30	P. 19	P. 25	P. 31	
	13:30	13:30-14:20	FIT 学術賞表彰式 中継予定	FIT 学術賞表彰式 中継予定	
	14:20	FIT 学術賞表彰式			
	14:30	14:30-15:45 船井業績賞記念講演 (無料公開) 重力に抗して：タンジブルビット 石井 裕 (マサチューセッツ工科大)	船井業績賞記念講演 中継予定	船井業績賞記念講演 中継予定	
	15:45	P. 16			
9月9日 (木)	16:00	16:00-17:00 特別基調講演 (無料公開) クラウドとクラウド・デバイス 丸山 不二夫 (早大)	16:00-18:00 仮想社会と電子書籍 - 紙の本はなくなるか? -		展示会 10:00 ~ 15:30
	18:00	P. 16	P. 26		
	10:00	10:00-12:00		10:00-12:30 組合せパズルの数理とコンピューテーション	
9月9日 (木)	12:30	IPV6 移行時におけるセキュリティ対策の展望 - 予測不能なサイバー攻撃に備えるためには -		P. 32	
	13:30	13:30-16:30		13:30-16:30 見えてきた? ライフログ活用サービスのビジネス化とコア技術	
	16:30	IPV4 アドレス在庫枯渇 カウントダウン - その現状と対処方策 -		P. 33	P. 36

プログラム概要

9

A 総合学習プラザ 1F 工学部 第5講義室	B 総合学習プラザ 1F 工学部 第6講義室	C 総合学習プラザ 1F 工学部 第7講義室	D 総合学習プラザ 1F 工学部 第8講義室	E 総合学習プラザ 1F 工学部 第9講義室	F 総合学習プラザ 1F 工学部 第10講義室	G 総合学習プラザ 1F 工学部 第11講義室
数理モデル化と 問題解決 (1) 小林 聡 (電通大) A 分野 P. 41	ソフトウェア工学・ デジタルドキュメント 野田 夏子 (NEC) B 分野 P. 42	教育工学 (1) 松原 行宏 (広島市大) K 分野 P. 57		分散・Web サー ビス・クラウド 石川 冬樹 (NII) O 分野 P. 63	ライフログとナレ ジマネジメント 若原 俊彦 (福岡工大) O 分野 P. 64	言語解析 佐藤 理史 (名大) E 分野 P. 46
数理モデル化と 問題解決 (2) 小林 聡 (電通大) A 分野 P. 41	組込みソフトウ ェア・テスト 沢田 篤史 (南山大) B 分野 P. 42	教育工学 (2) 宮寺 庸造 (東京学芸大) K 分野 P. 57		ニューロコンピ ューティング 石原 彰人 (中京大) G 分野 P. 49		音声言語処理 菊池 英明 (早大) E 分野 P. 46
アルゴリズム・コン ピューテーション (1) 今堀 慎治 (名大) A 分野 P. 41	パターン・リフ ァクタリング 石尾 隆 (阪大) B 分野 P. 42	教育工学 (3) 中村 勝一 (福島大学) K 分野 P. 57	サイバーワールド 井原 雅行 (NTT) K 分野 P. 58	MEとバイオサイ バネティックス 水戸 和幸 (電通大) G 分野 P. 49	情報システムと 社会 宮西洋太郎 (仙台ソフトウェ アセンター) O 分野 P. 64	音楽情報科学 (1) 矢向 正人 (九大) E 分野 P. 46
11:10-12:30 プログラミング 鶴林 尚靖 (九大) A 分野 P. 41	モデル検査・検 証・信頼性 高田 喜朗 (高知工科大) B 分野 P. 42	教育工学 (4) 藤原 康宏 (岩手県大) K 分野 P. 57		医用画像 金 亨燮 (九工大) G 分野 P. 50	安全安心・環境 畑山 満則 (京大) O 分野 P. 64	言語分析・ リソース 井ノ上直己 (NICT) E 分野 P. 47
アルゴリズム・コン ピューテーション (2) 束嶋 秀治 (九大) A 分野 P. 41	ハイパフォーマンス コンピューティング 西田 晃 (九大) B 分野 P. 43	教育工学 (5) 佐々木 整 (拓大) K 分野 P. 57	福祉情報工学 (1) 大倉 典子 (芝浦工大) K 分野 P. 58	医用画像・ バイオ情報学 関嶋 政和 (東工大) G 分野 P. 50	画像処理応用 山元 規靖 (福岡工大) O 分野 P. 64	音楽情報科学 (2) 帆足啓一郎 (KDDI 研) E 分野 P. 47
	仮想化技術・ セキュリティ 乃村 能成 (岡山大) B 分野 P. 43	マルチメディア・ 仮想環境基礎 遠藤 守 (中京大) K 分野 P. 58	福祉情報工学 (2) 渡辺 寛望 (山梨大) K 分野 P. 58	マネジメント・ モデリング・育成 新川 芳行 (龍谷大) O 分野 P. 63	情報検索・ 情報推薦 窪田 論 (岩手県大) O 分野 P. 64	情報抽出・検索 嶋田 和孝 (九工大) E 分野 P. 47
アルゴリズム・コン ピューテーション (3) 堀山 貴史 (埼玉大) A 分野 P. 41	OS 構成法 大山 恵弘 (電通大) B 分野 P. 43		福祉情報工学 (3) 西本 卓也 (東大) K 分野 P. 58		音声・音響処理 小川 哲司 (早大) E 分野 P. 46	言語処理アプリ ケーション 松本 一則 (KDDI 研) E 分野 P. 47

日	会場 時間	H 総合学習プラザ 2F 工学部 第12講義室	J 総合学習プラザ 2F 工学部 第13講義室	K 総合学習プラザ 2F 工学部 第14講義室	L 総合学習プラザ 2F 工学部 第15講義室	M 総合学習プラザ 2F 工学部 第16講義室	N ウエスト2号館 大講義室
9月7日 (火)	10:00	対話システム	モデリング・レンダリング	パターン認識 応用	文字認識と 画像照合	画像特徴・検出	Web インテリ ジェンス
	12:30	井村 誠孝 (阪大) I 分野 P. 52	高橋時市郎 (電機大) I 分野 P. 53	倉爪 亮 (九大) H 分野 P. 51	堀田 政二 (農工大) H 分野 P. 51	小川原光一 (九大) H 分野 P. 51	大須賀昭彦 (電通大) F 分野 P. 47
	13:30	画像重要度	モーションキャ プチャ	SNS・コミュニケ ーション	P2P・ネットワー クアプリケーション	行動センシング	エージェント
9月8日 (水)	15:30	甲藤 二郎 (早大) I 分野 P. 52	小堀 研一 (大阪工大) I 分野 P. 53	吉野 孝 (和歌山大) M 分野 P. 60	上原 稔 (東洋大) M 分野 P. 61	大内 一成 (東芝) M 分野 P. 62	福田 直樹 (静岡大) F 分野 P. 48
	16:00	画像変換	自由視点	ログ活用・ モバイル	携帯電話・ センサシステム	ユビキタスコン ピューティング	知識処理・ 自然言語処理
	18:00	松田 一郎 (東理大) I 分野 P. 52	藤井 俊彰 (東工大) I 分野 P. 54	高田 秀志 (立命館大) M 分野 P. 60	藤野 信次 (富士通研) M 分野 P. 61	寺田 努 (神戸大) M 分野 P. 62	太田 唯子 (富士通研) F 分野 P. 48
9月9日 (木)	10:00	高画質化処理	画像雑音除去	ネットワークス トレージ	ストリーミング・ 無線通信	VR・モデリング	人工知能一般
	12:30	内藤 整 (KDDI 研) I 分野 P. 52	上倉 一人 (NTT) I 分野 P. 54	杉田 薫 (福岡工大) M 分野 P. 60	田頭 茂明 (九大) M 分野 P. 61	川田 亮一 (KDDI 研) H 分野 P. 51	松原 繁夫 (京大) F 分野 P. 48
	13:30						
9月9日 (木)	14:20						
	14:30						
	15:45						
9月9日 (木)	16:00	画像超解像・ モザイクキング	画像認識・ トラッキング	ブロードバンドネッ トワークと通信プロ トコル	位置情報	人物情報処理 (1)	学習
	18:00	久保田 彰 (中大) I 分野 P. 53	井口 和久 (NHK) I 分野 P. 54	重安 哲也 (広島国際大) M 分野 P. 60	内山 彰 (阪大) M 分野 P. 62	浦西 友樹 (奈良先端大) H 分野 P. 51	横尾 真 (九大) F 分野 P. 48
	10:00	画像符号化	画像特徴抽出	公共交通システ ムと路車間通信	クラウドと モバイル通信	人物情報処理 (2)	知能システムと ゲーム情報学
9月9日 (木)	12:30	高村 誠之 (NTT) I 分野 P. 53	高木 幸一 (KDDI 研) I 分野 P. 54	梅津 高朗 (阪大) M 分野 P. 61	荒川 豊 (九大) M 分野 P. 62	小川原光一 (九大) H 分野 P. 52	中村 貞吾 (九工大) F 分野 P. 48
	13:30	3D モデリング	電子透かし	高度交通システム		物体認識と計測	情報論の学習理 論と機械学習
	16:30	土橋 宜典 (北大) I 分野 P. 53	栗山 繁 (豊橋技科大) I 分野 P. 54	屋代 智之 (千葉工大) M 分野 P. 61		Simon CLIPPINGDALE (NHK) H 分野 P. 52	川喜田雅則 (九大) F 分野 P. 48

プログラム概要

11

P ウエスト2号館 第4講義室	Q ウエスト2号館 第5講義室	R ウエスト2号館 第6講義室	S ウエスト2号館 第7講義室	T ウエスト2号館 第8講義室	U ウエスト2号館 第302講義室
ユビキタス 峯 恒憲 (九大) F 分野 P. 49	広告・推薦と 動画利用 岩井原瑞穂 (早大) D 分野 P. 45	並列システム と応用 柴田裕一郎 (長崎大) C 分野 P. 43	拡張現実と センシング 川又 武典 (三菱) J 分野 P. 54	ネットワークの 設計と評価 村上登志男 (学習院大学) L 分野 P. 59	暗号解析・解読 千田 浩司 (NTT) L 分野 P. 59
群知能・GA 藤田 茂 (千葉工大) F 分野 P. 49	検索とアルゴリ ズム検証 石川 佳治 (名大) D 分野 P. 45	プロセッサ・ アーキテクチャ 甲斐 康司 (パナソニック) C 分野 P. 43	ヒューマンコミュニ ケーション基礎(1) 神田 智子 (大阪工大) J 分野 P. 55	ネットワーク管理 鈴木 聡 (高エネルギー加 速器研) L 分野 P. 59	セキュリティ応用 三宅 優 (KDDI 研) L 分野 P. 59
データマイニング 森川 幸治 (パナソニック) F 分野 P. 49	プライバシー と健全性確保 有次 正義 (熊本大) D 分野 P. 45	コンピュータ システム 久我 守弘 (熊本大) C 分野 P. 44	ヒューマンコミュニ ケーション基礎(2) 竹林 洋一 (静岡大) J 分野 P. 55	異文化コラボ レーション 村上 陽平 (NICT) J 分野 P. 56	ネットワーク セキュリティ 須賀 祐治 (インターネット イニシアティブ) L 分野 P. 59
ネットワーク 栗原 聡 (阪大) F 分野 P. 49	設計技術と再構 成可能システム 吉田 浩章 (東大) C 分野 P. 43	ディベンダブル システム 梶原 誠司 (九工大) C 分野 P. 44	ヒューマン 情報処理(1) 大西 仁 (放送大) J 分野 P. 55	感性 皆月 昭則 (釧路公大) J 分野 P. 56	
電子化知的財産・ 社会基盤 高橋 由泰 (日立) N 分野 P. 63		組込みシステム 沢田 篤史 (南山大) C 分野 P. 44	ヒューマン情報 処理(2) 坂本 修一 (東北大) J 分野 P. 55	分散システム管理 山井 成良 (岡山大) L 分野 P. 59	認証フレーム ワーク 寺田 真敏 (日立) L 分野 P. 60
コンピュータと 教育 坪倉 篤志 (日本文理大) N 分野 P. 63	実世界データ処理 山口 実靖 (工学院大) D 分野 P. 45	情報抽出と 情報検索 堀 幸雄 (香川大) D 分野 P. 46	ヒューマン情報 処理(3) 大西 仁 (放送大) J 分野 P. 55	医療応用 井原 雅行 (NTT) J 分野 P. 56	
人文科学と コンピュータ 後藤 真 (花園大) N 分野 P. 63	クラウドと データ統合 成 凱 (九産大) D 分野 P. 45	ソーシャル データ利用 帆足啓一郎 (KDDI 研) D 分野 P. 46	ネットワーク・ ロボット 秋本 高明 (ATR) J 分野 P. 56	入出力 三浦 元喜 (九工大) J 分野 P. 56	

講演論文集の内容

発行日 平成 22 年 8 月 20 日

講演論文集 第 1 分冊

査読付き論文

- 分野 A : モデル・アルゴリズム・プログラミング
- 分野 B : ソフトウェア
- 分野 C : ハードウェア・アーキテクチャ

一般論文

- 分野 A : モデル・アルゴリズム・プログラミング
- 分野 B : ソフトウェア
- 分野 C : ハードウェア・アーキテクチャ

講演論文集 第 2 分冊

査読付き論文

- 分野 D : データベース
- 分野 E : 自然言語・音声・音楽
- 分野 F : 人工知能・ゲーム
- 分野 G : 生体情報科学

一般論文

- 分野 D : データベース
- 分野 E : 自然言語・音声・音楽
- 分野 F : 人工知能・ゲーム
- 分野 G : 生体情報科学

講演論文集 第 3 分冊

査読付き論文

- 分野 I : グラフィクス・画像
- 分野 J : ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
- 分野 K : 教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

一般論文

- 分野 H : 画像認識・メディア理解
- 分野 I : グラフィクス・画像
- 分野 J : ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
- 分野 K : 教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

講演論文集 第 4 分冊

査読付き論文

- 分野 L : ネットワーク・セキュリティ
- 分野 M : ユビキタス・モバイルコンピューティング
- 分野 N : 教育・人文科学
- 分野 O : 情報システム

一般論文

- 分野 L : ネットワーク・セキュリティ
- 分野 M : ユビキタス・モバイルコンピューティング
- 分野 N : 教育・人文科学
- 分野 O : 情報システム

講演論文集 DVD-ROM

上記全論文およびプログラムを収録

各種イベントのご案内

■船井業績賞受賞記念講演（無料公開） 8日（水）14:30-15:45

第1イベント会場（総合学習プラザ 2F 工学部 大講義室）
 「Defying Gravity: The Art of Tangible Bits 重力に抗して：タンジブルビット」
 石井 裕（マサチューセッツ工科大学 メディアラボ教授 / 副所長）

■特別基調講演（無料公開） 8日（水）16:00-17:00

第1イベント会場（総合学習プラザ 2F 工学部 大講義室）
 「クラウドとクラウド・デバイス」
 丸山 不二夫（早稲田大学）

■FIT 学術表彰式 8日（水）13:30-14:20

第1イベント会場（総合学習プラザ 2F 工学部 大講義室）
 FIT2010 船井業績賞・船井ベストペーパー賞・FIT 論文賞・FIT2009 ヤングリサーチャー賞

■イベント企画

- 第1 イベント会場（総合学習プラザ 2F 工学部 大講義室）
- ・7日（火） 13:30-15:30 サイバーワールドとリアルワールドとの接点－社会に“入り込む”デジタルメディアの展開－
 - ・7日（火） 16:00-18:00 1 + 1 > 3 を目指そう次世代を担う若い情報・システム研究開発者とベテラン研究者の議論が新たな道を切り拓く－
 - ・8日（水） 10:00-12:30 マルウェア対策の実態－ Gumblar の事例に見る最新対策技術－
 - ・9日（木） 10:00-12:00 IPv6 移行時におけるセキュリティ対策の展望－予測不能なサイバー攻撃に備えるためには－
 - ・9日（木） 13:30-16:30 IPv4 アドレス在庫枯渇カウントダウン－その現状と対処方策－
- 第2 イベント会場（西講義棟 2F 工学部 第1 講義室）
- ・7日（火） 13:30-16:30 第14 回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
 - ・8日（水） 10:00-12:30 ポスト情報爆発へ向けて－ Beyond Web の展望－
 - ・8日（水） 16:00-18:00 仮想社会と電子書籍－紙の本はなくなるか？－
- 第3 イベント会場（西講義棟 3F 工学部 第3 講義室）
- ・7日（火） 13:30-15:30 サービスコンピューティングへのアプローチ
 - ・7日（火） 16:00-18:00 学際テーマの研究推進にむけて－学際テーマを研究することの楽しさと難しさ－
 - ・8日（水） 10:00-12:30 Science と Engineering をつなぐ『Art』を求めて－ ERATO 凌離散構造処理系プロジェクトシンポジウム－
 - ・9日（木） 10:00-12:30 組合せパズルの数理とコンピューテーション
 - ・9日（木） 13:30-16:30 見えてきた？ライフログ活用サービスのビジネス化とコア技術

■展示会 7日（火）～8日（水）10:00-17:00 9日（木）10:00-15:30

展示会場（ウエスト 2 号館 2F ゆとりスペース）
 出展企業・団体（順不同）

① 株式会社アイダックス	⑪ 株式会社コア
② 九州大学 大学院システム情報科学研究院 福田・中西・久住研究室	⑫ 株式会社日立製作所 システム開発研究所
③ アイデアル九州株式会社 摂津金属工業株式会社	⑬ 株式会社アールティ
④ 株式会社 N T T ドコモ 九州支社	⑭ 東北大学 大学院情報科学研究科
⑤ 財団法人九州先端科学技術研究所	⑮ 一般社団法人 情報処理学会 ユニバーサルデザイン協創フォーラム
⑥ グラミン・クリエイティブ・ラボ @ 九州大学	⑯ 株式会社 Lafla
⑦ 九州大学 大学院システム情報科学研究院、 福岡大学 工学部、豊橋技術科学大学 大学院工学研究科	⑰ 九州電力株式会社 電子通信部
⑧ 株式会社産学連携機構九州・九州大学 C&C プロジェクト 2010	⑱ タヌキソフトウェア有限公司
⑨ 財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団	⑲ ぶらっとホーム株式会社
⑩ 西日本電信電話株式会社	

会場別スケジュール

第 1 イベント会場 (総合学習プラザ 2F 工学部 大講義室)			
7 日	サイバーワールドとリアルワールドとの接点ー社会に「入り込む」デジタルメディアの展開ー		
	13:30-14:30	講演 1「複合現実型デジタルミュージアム」	廣瀬 通孝 (東大)
	14:30-15:00	講演 2「デジタル展示ケースとデジタルジオラマ」	谷川 智洋 (東大)
	15:00-15:30	講演 3「デジタルミュージアムをめぐるエコシステム」	飯尾 淳 (三菱総研)
	1 + 1 > 3 を目指そうー次世代を担う若い情報・システム研究開発者とベテラン研究者の議論が新たな道を切り拓くー		
(火)	16:00-17:00	講演 1「専用ハードウェアを用いた高効率科学計算システムの研究と展開」	吉見 真聡 (同志社大)
	17:00-18:00	講演 2「TVML による映像コンテンツ制作技術の研究とその応用」	金子 浩之 (NHK)
8 日	マルウェア対策の実態ー Gumblar の事例に見る最新対策技術ー		
	10:00-10:30	講演 1「マルウェアの変遷」	井上 大介 (NICT)
	10:30-11:00	講演 2「Gumblar による感染活動の状況」	齋藤 衛 (インターネットイニシアティブ)
	11:00-11:30	講演 3「Gumblar 感染被害とその対応」	飯田 朝洋 (トレンドマイクロ)
	11:30-12:00	講演 4「Web 誘導型マルウェア被害を低減するための取り組み」	高橋 竜平 (日本データ通信協会)
	12:00-12:30	パネル討論「実施すべき対策のポイント」 司 会: 寺田 真敏 (日立) パネリスト: 井上 大介 (NICT), 齋藤 衛 (インターネットイニシアティブ), 飯田 朝洋 (トレンドマイクロ), 高橋 竜平 (日本データ通信協会)	
	FIT 学術賞表彰式		
	13:30-14:20	FIT2010 船井業績賞・船井ベストペーパー賞・FIT 論文賞・FIT2009 ヤングリサーチャー賞	
	船井業績賞記念講演 (無料公開)		
	14:30-15:45	講演「重力に抗して: タンジブルビット」 石井 裕 (マサチューセッツ工科大学 メディアラボ教授 / 副所長)	
(水)	特別基調講演 (無料公開)		
	16:00-17:00	講演「クラウドとクラウド・デバイス」 丸山 不二夫 (早大)	
	IPv6 移行時におけるセキュリティ対策の展望ー予測不能なサイバー攻撃に備えるためにはー		
9 日	10:00-12:00	司 会: 北口 善明 (金沢大) パネリスト: 衛藤 将史 (NICT), 高倉 弘喜 (名大), 鈴木 伸介 (アラクサラネットワークス), 松崎 吉伸 (インターネットイニシアティブ)	
	IPv4 アドレス在庫枯渇カウントダウンーその現状と対処方策ー		
	13:30-14:20	講演 1「IPv4 アドレス在庫枯渇 - その問題点と対応の概況」 前村 昌紀 (日本ネットワークインフォメーションセンター)	
	14:20-14:50	講演 2「ISP, IXP, キャリア等, 事業者の枯渇対応」 中川 あきら (日本インターネットエクスチェンジ)	
	14:50-15:20	講演 3「コンテンツプロバイダの枯渇対応」	伊勢 幸一 (ライブドア)
	15:20-15:50	講演 4「キャンパスネットワークの枯渇対応」	相原 玲二 (広島大)
	16:00-16:30	パネル討論「IPv4 アドレス在庫枯渇対応の処方箋」 司 会: 前村 昌紀 (日本ネットワークインフォメーションセンター) パネリスト: 中川 あきら (日本インターネットエクスチェンジ) 伊勢 幸一 (ライブドア), 相原 玲二 (広島大)	
第 2 イベント会場 (西講義棟 2F 工学部 第 1 講義室)			
7 日 (火)	第 14 回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト		
	13:30-13:35	開会挨拶	美濃 導彦 (京大)
	13:35-13:45	課題概要説明, 審査結果発表	
	13:45-13:50	入賞者表彰	
	13:50-15:20	入賞者によるアルゴリズム紹介	
	15:30-16:30	講演 1「時空間 MRF モデルによるトラッキングー ITS への応用ー」	上條 俊介 (東大)

第2 イベント会場 (西講義棟 2F 工学部 第1 講義室)		
8 日 (水)	ポスト情報爆発へ向けてー Beyond Web の展望ー	
	10:00-11:00	講演1「インターネットサービス企業における情報爆発とその先」 森 正弥 (楽天)
	11:00-12:30	パネル討論「Beyond Web の展望」 司 会：山名 早人 (早大) パネリスト：森 正弥 (楽天)，後藤 真孝 (産総研)，寺田 努 (神戸大)，土方 嘉徳 (阪大)
	仮想社会と電子書籍ー紙の本はなくなるか？ー	
	16:00-16:30	講演1「情報技術の宝庫：電子図書館」 長尾 真 (国立国会図書館)
	16:30-17:00	講演2「『連想×書棚』で知識の扉を開く」 高野 明彦 (NII)
	17:00-17:30	講演3「Google のデジタル書籍に関する取り組み」 佐藤 陽一 (グーグル)
	17:30-18:00	講演4「インターネット環境下における情報鎖国の可能性」土屋 俊 (千葉大)
第3 イベント会場 (西講義棟 3F 工学部 第3 講義室)		
7 日 (火)	サービスコンピューティングへのアプローチ	
	13:30-13:55	講演1「ソーシャル e サイエンスのためのサービスコンピューティング」 橋田 浩一 (産総研)
	13:55-14:20	講演2「サービス / クラウドコンピューティングへの誘い：技術動向と課題」 青山 幹雄 (南山大)
	14:20-14:45	講演3「マルチエージェントシステムからのサービスコンピューティングへのアプローチ」 松原 繁夫 (京大)
	14:45-15:10	講演4「言語グリッドに見るサービスコンピューティングの課題」 村上 陽平 (NICT)
	15:10-15:30	パネル討論 司 会：石川 冬樹 (NII) パネリスト：橋田 浩一 (産総研)，青山 幹雄 (南山大)，松原 繁夫 (京大)，村上 陽平 (NICT)
	学際テーマの研究推進にむけてー学際テーマを研究することの楽しさと難しさー	
	16:00-18:00	司 会：小松 文子 (情報処理推進機構) パネリスト：西岡 大 (岩手県大)，高木 大資 (東大)，ボンコット ジェンチャラサクン (東大)，高 鵬 (九大)
8 日 (水)	Science と Engineering をつなぐ『Art』を求めてー ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトシンポジウムー	
	10:00-10:30	講演「ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト：概要紹介と最近の話題」 湊 真一 (北大)，津田 宏治 (産総研)，鷲尾 隆 (阪大)
	10:30-12:30	ポスター討論 『Art』な人々たちによる最新の研究紹介と自由討論 ポスター発表者：ERATO ポスドク研究員・共同研究者・連携研究者 (10 件程度)
9 日 (木)	組合せパズルの数理とコンピューテーション	
	10:00-10:25	講演1「ハラリーの一般化三並べの世界」 伊藤 大雄 (京大)
	10:25-10:50	講演2「数理ゲームの必勝法とイカサマの技」 松井 知己 (中大)
	11:10-11:35	講演3「繰り返し模様とタイリング」 堀山 貴史 (埼玉大)
	11:35-12:00	講演4「迷路の自動生成と確率的最適化」 池田 心 (北陸先端大)
	12:00-12:25	講演5「UNO は一人でも難しい」 宇野 裕之 (大阪府大)
	見えてきた？ライフログ活用サービスのビジネス化とコア技術	
	13:35-14:00	講演1「ソニーのライフログサービス Life-X (ライフ・エックス) のご紹介」 中村 馨 (ソニーマーケティング)
	14:00-14:25	講演2「ドコモのエージェントサービス「i コンシェル」について」 那須 寛 (NTT ドコモ)
	14:35-15:00	講演3「ライフログ収集の観点からみた住宅の役割」 吉田 博之 (大和ハウス)
	15:00-15:25	講演4「ライフログのためのウェアラブルセンシング」 寺田 努 (神戸大)
	15:25-15:50	講演5「ライフログのための個人情報管理と法」 松田 貴典 (大阪成蹊大)
	16:00-16:25	パネル討論「ライフログビジネスのビジネスモデル」 司 会：阿部 匡伸 (岡山大) パネリスト：中村 馨 (ソニーマーケティング)，那須 寛 (NTT ドコモ)，吉田 博之 (大和ハウス)，寺田 努 (神戸大)，松田 貴典 (大阪成蹊大)

イベント企画 講演概要

船井業績賞記念講演：重力に抗して：タンジブルビット（無料公開）
9月8日（水）14:30-15:45 第1イベント会場（総合学習プラザ2F 工学部 大講義室）

【講演概要】

MIT メディアラボの「独創・協創・競創」の文化風土の中から生まれたのが、タンジブル・ビットです。デジタル情報に物理的な実体を与えることで、人々が生涯を通じ物質的な世界と関わりあうことで育んできた豊かな感覚と能力を活かし、人間、デジタル情報、そして物理世界をシームレスにつなぐインターフェイスを実現することが、タンジブル・ビットのゴールです。本講演では、デジタル情報を直接的に実感・操作することを可能にするタンジブル・ビットのコンセプトと、タンジブルメディアグループがデザインした多様なインターフェイス、アプリケーション例をご紹介します。ユビキタス GUI を越える未来を提案いたします。さらに MIT をとりまく「競創」の風土を生き抜くための哲学について、お話をさせていただきます。

参考ウェブサイト：<http://tangible.media.mit.edu/>

参考文献：電子情報通信学会誌 2009 年 5 月号に寄稿した記事「米国 MIT の独創・協創・競創の風土」

<http://www.ieice.org/jpn/books/kaishikiji/2009/2009052.pdf>



石井 裕（マサチューセッツ工科大学 メディアラボ教授 / 副所長）

1956 年東京生まれ。1978 年に北海道大学工学部卒業、1980 年に同大学院情報工学専攻修士課程修了、日本電信電話公社（現 NTT）入社。ヒューマンインターフェースとリモートコラボレーション技術の研究に従事。1992 年に北大から博士号取得。1994 年にアトランタでヘッドハンティングされ、1995 年秋に MIT メディアラボ準教授に就任、直接操作・感知可能なタンジブルユーザインタフェースの研究をスタートする。現在 MIT メディアラボ副所長、TTT（Things That Think）コンソシウム・コディレクター、タンジブルメディアグループ・ディレクター、工学博士。2001 年に MIT からテニュア（終身在職権）を授与され、2006 年に ACM SIGCHI より CHI Academy を受賞。

特別基調講演：クラウドとクラウド・デバイス（無料公開）
9月8日（水）16:00-17:00 [第1イベント会場（総合学習プラザ2F 工学部 大講義室）]

【講演概要】

2010 年は、クラウドの本格的な受容へと向かう、大きな変化の年になろうとしています。内外のクラウド・プレーヤが、新しいサービスを続々と市場に投入するばかりではなく、多くのユーザ企業が、真剣に、クラウドの利用を考え始めています。クラウドでの、サーバの大規模な集積に対応するように、クライアント側では、無数のクラウド・デバイスが、地上にあふれようとしています。iPhone や Android といったクラウド・デバイスたちは、携帯電話の形をとっていますが、まったく新しい、パーソナル・メディアとして、グローバルな規模で、深い影響を世界に与えようとしています。両者が開こうとしている未来について話したいと思います。



丸山 不二夫（早大）

東京大学教育学部卒。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。稚内北星学園短期大学教授。同短大の四年制大学移行に伴い、稚内北星学園大学学長を二期務める。その後、早稲田大学情報生産システム研究科客員教授、公立はこだて未来大学情報科学部特任教授。日本 Java ユーザ会会長。クラウド研究会代表。日本 Android の会会長。

サイバーワールドとリアルワールドとの接点—社会に”入り込む”デジタルメディアの展開—
9月7日（火）13:30-15:30 [第1イベント会場（総合学習プラザ2F 工学部 大講義室）]

【企画概要】

本企画では、発展が目覚ましい様々なデジタルメディアに関する動向を探る。

昨今、特別な意識をすることなく、様々なデジタルメディアに接触する機会が増え、またデジタルである特徴を活かした様々な取り組みもなされようとしている。本企画では、文化的な資源をデジタル化することによって、社会の中で幅広く活用しようという。デジタルミュージアムに関する取り組みを取り上げる。社会の中でのデジタルメディアの利用や、メディア文化に関する研究者を講演者として招き、今後のビジネス・技術・研究に関して討論を行う。



全体司会：河野 義広（フリーランス）

2006年茨城大学大学院理工学研究科修士課程了、株式会社インテック・ネットコア入社。2009年同大学院博士課程了、博士（工学）。2010年株式会社インテック・ネットコア退社。分散仮想環境とその応用、eラーニングとTwitterの融合に関する研究に興味を持つ。電子情報通信学会、日本VR学会、ビジネスモデル学会各会員、サイバーワールド時限研究会幹事。

● [13:30-14:30] 講演（1）「複合現実型デジタルミュージアム」

【講演概要】

VRをはじめとする映像メディア技術の有力な応用先として、ミュージアムが考えられている。ミュージアムとは、展示物という「モノ」を媒介として、人類の知恵を後世に伝えていくための装置である。しかしながら、その「モノ」中心の体系からこぼれ落ちる要素、すなわち「コト」があるはずで、そこに映像メディア技術をはじめとする情報系技術の出番があるというわけである。本格的応用に向けてのハードルは必ずしも低いものではないが、技術の充実に助けられて、ここ数年、比較的大きな研究プロジェクトが組織され始めた。ミュージアムにおいて映像メディア技術に何ができるのか、本質的な革命的要素は何か、演者の関わる文科省デジタルミュージアムプロジェクトにおける実証実験での体験を中心に紹介する。



廣瀬 通孝（東大）

1954年鎌倉生まれ。1977年東京大学工学部産業機械工学科卒、1982年東京大学大学院博士課程修了、工学博士。同大学工学部専任講師、1983年同助教授、1999年東京大学先端科学技術研究センター教授を経て、2006年より現職。専門はシステム工学、ヒューマン・インタフェース、バーチャル・リアリティ。情報化月間推進会議議長表彰、東京テクノフォーラム・ゴールドメダル賞、大川出版賞などを受賞。主な著書に「バーチャル・リアリティ」（産業図書）、「空間型コンピュータ」、「ヒトと機械のあいだ」（岩波書店）など。

● [14:30-15:00] 講演（2）「デジタル展示ケースとデジタルジオラマ」

【講演概要】

我々は、「モノ」と「コト」を融合した展示を実現する複合現実型デジタル・ミュージアムを提案している。本研究では、博物館に展示されている物理的実体である「モノ」だけでなく、従来の展示では伝えることの難しい周辺環境や時代背景など背景情報としての「コト」を融合して、鑑賞者に直感的に伝達する展示手法として「デジタル展示ケース」と「デジタルジオラマ」の二手法を提案している。デジタル展示ケースでは、従来から存在する展示ケースに複合現実感技術を導入することで、同時代性や地理的広がり、時間的変化を伝える展示を実現した。またデジタルジオラマでは、展示物が本来置かれていた空間的・歴史的な情報を再現しつつ展示物と重畳することで、歴史的な文脈を伝える展示を実現した。



谷川 智洋（東大）

1997年東京大学工学部産業機械工学科卒業。1999年同大学大学院工学系研究科機械情報工学専攻修士課程修了。2002年同大学博士課程修了。同年通信・放送機構研究員。2004年組織変更により情報通信研究機構研究員。2005年東京大学先端科学技術研究センター講師。2006年同大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻講師。現在に至る。イメージ・ベスト・レンダリング、複合現実感技術に関する研究に従事。

● [15:00-15:30] 講演（3）「デジタルミュージアムをめぐるエコシステム」

【講演概要】

博物館にはデジタル化のニーズがあり、デジタルミュージアムのための要素技術を研究する技術者も魅力的なシーズを保有している。しかしそれらをマッチングさせてデジタルミュージアムを実現するには、まだ解決しなければならない課題も多い。持続的なデジタルミュージアムを実現するためには、博物館の学芸員、技術開発を担う研究者、展示内容を作成するクリエイターが協調するだけでなく、デジタルミュージアムを核として様々なステークホルダーが関与するビジネスモデルを確立させなければならない。本講演では、デジタルミュージアムをめぐる関係者の動向を整理し、デジタルミュージアムを成功させるためにはどのようなプレーヤーが何をすべきかについて述べる。



飯尾 淳（三菱総研）

1994年東京大学大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了。同年、株式会社三菱総合研究所入社。現在、情報技術研究センター主任研究員。2009年から東京農工大学国際センターの客員准教授を兼務。画像処理、ユーザインタフェース、情報システムの最適化等の研究開発に従事。電子情報通信学会、情報処理学会、ヒューマンインタフェース学会、各会員。博士（工学）、技術士（情報工学部門）。

1 + 1 > 3を目指そう一次世代を担う若い情報・システム研究開発者とベテラン研究者の議論が新たな道を切り拓くー

9月7日(火) 16:00-18:00 [第1 イベント会場 (総合学習プラザ 2F 工学部 大講義室)]

[企画概要]

情報・システム分野で斬新なアイデアを発表されている若手の研究・開発者の中から、FIT2009のヤングリサーチャー賞を受賞された2名の方をお迎えし、最近の研究開発成果と共に次の展開となる研究計画について発表頂きます。テーマ設定・アプローチ・成果出し・評価・応用展開などの講演に対し、フェロー団を中心として参加者（フロア）との意見交換を行います。これらを通じて、情報・システム分野における新たな道の開拓に向けた意識を参加者間で共有すると共に、講演者の今後の研究遂行にも寄与することを目指しています。FIT2006、FIT2008、FIT2009においても若手研究者による講演、フェロー団との討論を実施し、大変好評でした。今回は、若手とベテランとの熱い議論を通じて、1 + 1 > 3、を目指したいと思います。皆様、奮ってご参加下さい。



司 会：金子 正秀（電通大）

1976年東京大学工学部電子工学科卒業。1981年同大学院博士課程修了。工学博士。国際電信電話（株）研究所、東京大学工学部助教授を経て、1998年電気通信大学助教授。現在、同大学院情報理工学研究科教授。電子情報通信学会フェロー。顔画像情報処理（顔特徴の抽出と解析、似顔絵の自動生成、類似顔検索、顔認識、表情認識）、ヒューマン・ロボット・コミュニケーション、視聴覚情報の統合に基づくアクティブインタラクションなどの研究に従事。



座 長：安達 淳（NII）

1981年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。東京大学大型計算機センター助手、文部省学術情報センター研究開発部助教授、教授を経て現在国立情報学研究所教授。東京大学大学院情報理工学研究科教授を併任。データベースシステム、情報検索等の開発研究に従事。電子情報通信学会、情報処理学会、IEEE、ACM 各会員。

● [16:00-17:00] 講演 (1) 「専用ハードウェアを用いた高効率科学計算システムの研究と展開」

[講演概要]

専用ハードウェアを用いた計算システムは、その高い性能と低い運用コストから、従来から多様な研究が試みられてきた。なかでもFPGAをはじめとするリコンフィギャラブルシステムは、任意の論理回路をデバイス上に構成することを可能にし、旧来のASIC製造前のプロトタイプ実装用途のみならず、様々なアプリケーション専用ハードウェアが開発されてきた。またその一方で、近年のCell/B.E.やGPUに関する開発環境の整備により、メディア処理専用のハードウェアを応用して構築する高性能計算システムの研究も盛んになっている。Supercomputer Top500ではこれらの専用HWを持つシステムが上位を賑わしている。大学の研究室においては、アイデアの実証や開発環境の抽象化など、多くの野心的なプロジェクトが進められている。本講演では、英国Imperial College Londonで開発中のFPGAクラスタCUBEプロジェクトを実例として紹介し、大学の研究室における研究実践の紹介を通して、ハードウェア、ミドルウェア開発の楽しさとその意義を解説する。



吉見 真聡（同志社大）

同志社大学理工学部助教。2004年慶応義塾大学理工学部卒業。2006年同大学院修士課程修了。2009年同後期博士課程修了。博士（工学）。2006年より日本学術振興会特別研究員（DC1）。現在、リコンフィギャラブルシステム、高性能計算など、専用ハードウェアを用いた高効率計算の研究、および進化計算、知的システムに関する研究に従事。電子情報通信学会、情報処理学会、人工知能学会各会員。

● [17:00-18:00] 講演 (2) 「TVML による映像コンテンツ制作技術の研究とその応用」

〔講演概要〕

TVML (TV Program Making Language) は、テレビ番組を記述するためのスクリプト言語で、番組を構成するスタジオショット、タイトル、スーパー、動画再生、BGM などの各要素に関する動作を記述することができる。TVML で記述した番組台本を TVML プレーヤーと呼ぶソフトウェアに入力することで、CG (コンピューターグラフィックス) と音声合成を用いて、リアルタイムにテレビ番組が再生される。講演者は、TVML を用いて、一般のユーザでも簡単に映像コンテンツを制作でき、さらに、インターネットをインフラとしてコンテンツを扱うことのできる映像コンテンツ制作技術の研究に取り組んでいる。これまでに、インターネットを活用して複数のユーザが、CG スタジオ内の CG キャラクターやカメラ、スイッチャーを操作しながら、インタラクティブに一つの映像コンテンツを共同制作することができるシステムを開発した。本講演では、上記の映像制作システムを紹介するとともに、TVML の応用事例として手話を表現する CG 映像生成技術について紹介する。



金子 浩之 (NHK)

2002 年、上智大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年 NHK 入局。仙台放送局を経て、2006 年より放送技術研究所勤務。現在、映像コンテンツ制作・配信技術の研究に従事。電子情報通信学会、映像情報メディア学会各会員。

マルウェア対策の実態－ Gumblar の事例に見る最新対策技術－ 9 月 8 日 (水) 10:00-12:30 [第 1 イベント会場 (総合学習プラザ 2F 工学部 大講義室)]

〔企画概要〕

2009 年から、Gumblar に代表される、ホームページ誘導型マルウェアが台頭してきている。本セッションでは、これまでのマルウェアの変遷について概観した後、Gumblar による感染活動の状況、Gumblar 感染被害とその対応、ホームページ誘導型マルウェア被害を低減するための取り組みについて報告する。



全体司会：寺田 真敏 (日立)

1986 年千葉大学大学院工学研究科写真工学専攻修士課程終了。同年 (株)日立製作所入社。博士 (工学)。現在、システム開発研究所にてネットワークセキュリティの研究に従事。2004 年から Hitachi Incident Response Team チーフコーディネーションデザイナー、2004 年 4 月から JPCERT コーディネーションセンター専門委員、2004 年 4 月から 2007 年まで中央大学研究開発機構客員研究員、2004 年 8 月から情報処理推進機構セキュリティセンター研究員、2008 年から中央大学大学院客員講師を兼務。

● [10:00-10:30] 講演 (1) 「マルウェアの変遷」

〔講演概要〕

マルウェアとは英語の Malicious (悪意のある) と Software を組み合わせた混成語であり、ユーザの望まない不正な動作を行うプログラムの総称である。マルウェアには数十年に渡る変遷の歴史があり、1970 年代初頭に出現した自己増殖機能を持った“ワーム”を皮切りに、プログラムやファイルに寄生する“ウイルス”、有用なプログラムやファイルを装った“トロイの木馬”、指令者からの遠隔操作によって多岐に渡る活動を行う“ボット”などを経て、2009 年に台頭する Web 媒介型攻撃 Gumblar の出現へと繋がっている。本講演では、これらマルウェアの数十年に渡る変遷を年代ごとに概観し、Gumblar 出現の背景に迫る。



井上 大介 (NICT)

2003 年横浜国立大学大学院工学研究科博士課程後期修了。2003 年通信総合研究所 (現 情報通信研究機構) に入所。新世代モバイル研究開発プロジェクトでのセキュリティ研究を経て、2006 年よりインシデント分析センター nictcr の研究開発に従事。2010 年 6 月より同機構 総合企画部勤務。2002 年 暗号と情報セキュリティシンポジウム論文賞、2009 年 科学技術分野の文部科学大臣表彰 (科学技術賞) 等を受賞。博士 (工学)。

● [10:30-11:00] 講演 (2) 「Gumblar による感染活動の状況」

【講演概要】

2009 年複数回にわたって大規模な被害を出した Gumblar について、実際に対応にあたった立場からその活動状況や被害内容、マルウェア解析により得られた構造上の特徴について示します。この問題は Web の改ざんで有名になりましたが、実際には盗まれた ID とパスワードが循環するエコシステムを構成しています。この流れを断ち切るための、各関連団体における対策活動についてもご紹介します。



齋藤 衛 (インターネットイニシアティブ)

1993 年中央大学大学院 理工学研究科 管理工学専攻修了。1995 年 IIJ 入社。法人向けセキュリティサービス開発等に従事した後、2001 年より IIJ グループの緊急対応チーム IIJ-SECT の代表として活動し、CSIRT の国際団体である FIRST に加盟。国内においては Telecom-ISAC Japan 等複数のセキュリティ関連団体の運営委員を務める。

● [11:00-11:30] 講演 (3) 「Gumblar 感染被害とその対応」

【講演概要】

昨年末から大手企業の Web サイト改ざんがニュースで話題となり、一般にも広く知られるようになった Gumblar (ガンブラー) 攻撃ですが、その実態について解説いたします。また、Gumblar 攻撃への効果的な対策についてご紹介していきます。



飯田 朝洋 (トレンドマイクロ)

2000 年 4 月 IT 企業入社 大手企業の Unix サーバの運用・保守業務および Web, メールサーバ構築業務を担当
2004 年 1 月トレンドマイクロ入社 企業向け有償サポート (プレミアムサポートセンター) のテクニカル
アカウントマネージャとしてウイルス感染被害発生時のインデント・オペレーションを担当

2007 年 1 月 Threat Monitoring Center へ異動 Senior Threat Research Engineer として不正プログラムの
収集・傾向分析を専門に担当

2009 年 7 月現職 (Threat Monitoring Center 課長) に就任

● [11:30-12:00] 講演 (4) 「Web 誘導型マルウェア被害を低減するための取り組み」

【講演概要】

昨今のマルウェア感染の手口は巧妙化されてきている。特に Web 誘導型で感染するマルウェアの脅威は拡大している。その脅威に対する感染の被害を低減するために、TelecomISAC-Japan が検討している取組についてご紹介する。



高橋 電平 (日本データ通信協会)

1996 年日本電信電話 (株) に入社。現在、NTT コミュニケーションズにてセキュリティ対策案件を担当。2009 年から (財) 日本データ通信協会 Telecom-ISAC Japan にてレピュテーション DB-WG の主査としても活動。

● [12:00-12:30] パネル討論 「実施すべき対策のポイント」

【討論概要】

これまでのマルウェアの変遷、2009 年から台頭してきた Gumblar に代表される、ホームページ誘導型マルウェアによる感染活動の状況とその対応を踏まえ、一般利用者が実施すべき対策、サーバ管理者が実施すべき対策のポイントについて検討する。

討論司会：寺田 真敏（日立）

写真および略歴は「マルウェア対策の実態－Gumblar の事例に見る最新対策技術－」 司会紹介を参照。

パネリスト：井上 大介（NICT）

写真および略歴は「講演（1）マルウェアの変遷」を参照。

パネリスト：齋藤 衛（インターネットイニシアティブ）

写真および略歴は「講演（2）Gumblar による感染活動の状況」を参照。

パネリスト：飯田 朝洋（トレンドマイクロ）

写真および略歴は「講演（3）Gumblar 感染被害とその対応」を参照。

パネリスト：高橋 竜平（日本データ通信協会）

写真および略歴は「講演（4）Web 誘導型マルウェア被害を低減するための取り組み」を参照。

IPv6 移行時におけるセキュリティ対策の展望－予測不能なサイバー攻撃に備えるためには－

9月9日（木）10:00-12:00 [第1 イベント会場（総合学習プラザ 2F 工学部 大講義室）]

【企画概要】

IPv4 アドレスの枯渇が現実的な水準に進み、IPv6 への移行は一部の Geeks だけでなく、一般企業・ユーザにおいても加速しています。一方で標準的な OS や電子機器にも IPv6 が標準でサポートされるようになりました。そのためユーザは知らず知らずのうちに IPv6 を使っているという状況になりつつあります。しかし IPv6 におけるセキュリティ対策は十分ではないと言われていいます。本パネル討論は IPv6 導入に伴うリスクを広く認識してもらうことを主な目的とします。そのため官やアカデミックな立場での分析だけでなく、実際に IPv6 の組み込み機器における実装を行ったり、IPv6 に対応するソフトウェア開発やシステム構築を行う企業からのプラクティスについても取り上げます。さらに ISP からの IPv6 セキュリティ対策の事例についても共有します。パネル中には Twitter により聴講者からのコメント・質問も取り込むことを試みます。パネルを通してエンジニアに有益な情報を与えると共に、産学共同でこの課題に立ち向かうアクティビティが生まれることを期待します。

● [10:00-12:00] パネル討論

【討論概要】

IPv6 導入に伴うリスクを広く認識してもらうことを主な目的として議論することを目的としています。詳細な議論内容は後日決定します。



パネル（討論）司会：北口 善明（金沢大）

1997 年新潟大学大学院自然科学研究科修了。同年株式会社インテックに入社し、ネットワークの運用管理や IPv6 の研究開発に従事。2000 年から 2004 年まで通信・放送機構（現 独立行政法人情報通信研究機構）研究員（兼任）。2005 年電気通信大学より博士号取得。2009 年より金沢大学総合メディア基盤センター助教。博士（工学）



パネリスト：齋藤 将史（NICT）

2005 年、情報通信研究機構入所。以来、ネットワーク運用管理技術、アプリケーショントレースバック技術、nicter プロジェクトなど、情報通信セキュリティ技術の研究開発に従事。nicter プロジェクトでは主にマクロ－ミクロ相関分析技術、スペクトラム解析を応用したマルウェアの類似性検証手法の研究開発に取り組む。



パネリスト：高倉 弘喜 (名大)

1990 年九州大学工学部情報工学科卒業，1992 年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了，1995 年京都大学工学研究科情報工学専攻博士課程修了，1995 年イリノイ州立大学アーバナシャンペーン校計算機学科訪問研究員，1995 年奈良先端科学技術大学院大学助手，1997 年京都大学講師，2000 年京都大学助教授，2010 年名古屋大学教授，現在に至る。ゼロデイ攻撃等の未知の不正プログラムを抽出する研究、次世代ネットワークにおけるセキュリティ対策の研究に従事。



パネリスト：鈴木 伸介 (アラクサラネットワークス)

1997 年東京大学工学系研究科修士課程修了。同年 (株) 日立製作所入社。同社システム開発研究所・中央研究所にて、IPv6 関連の研究開発に従事。2005 年アラクサラネットワークス (株) 出向。同社にてルータ・スイッチ関連の技術マーケティングに従事。KAME Project コアメンバー (2000-2006 年)。JGN-II 特別研究員 (2006-2008 年)。WIDE Project メンバー。



パネリスト：松崎 吉伸 (インターネットイニシアティブ)

1998 年 IIJ 入社、2000 年 同社バックボーン運用に参加。以降、あれこれ楽しそうなことを見つけては頑張る日々。NSP-SEC-JP Moderator、APNIC IPv6 Technical SIG chair、The Asia Pacific OperatorS Forum co-chair、JPCERT/CC 専門委員

IPv4 アドレス在庫枯渇カウントダウンその現状と対処方策ー

9 月 9 日 (木) 13:30-16:30 [第 1 イベント会場 (総合学習プラザ 2F 工学部 大講義室)]

【企画概要】

IPv4 アドレス枯渇の枯渇日まであと一年を切っており、対策の検討、対処の実施が急務である。この枯渇の状況と対処の国内・国外動向について、枯渇対応に第一線で取り組んでいる JPNIC による講演、ネットワーク構築者、コンテンツ事業者、キャンパスネットワーク構築・運用者による対応の紹介を実施する。また、セッション参加者が、今後不可避である IPv4 アドレス在庫枯渇に対して各自での対応ができるよう、パネル討論による対処方策の議論を実施する。



全体司会：藤崎 智宏 (NTT)

日本電信電話株式会社 情報流通プラットフォーム研究所
慶応大学大学院 メディアデザイン研究科 後期博士課程
1990 年 日本電信電話株式会社 ソフトウェア研究所 入所
1997 年ころより、IPv6 関連技術の研究に従事現在、IPv6/IPv4 共存ネットワーク安定利用技術の研究に従事。
(財) 日本インターネット協会 IPv6 ディプロイメント委員会 議長
日本オープンポリシーフォーラム ポリシーワーキンググループ 議長

● [13:30-14:20] 講演 (1) 「IPv4 アドレス在庫枯渇 - その問題点と対応の概況」

【講演概要】

パネルディスカッションに対する基礎知識の整理のために、2012 年と言われている IPv4 アドレスの在庫枯渇に関して、在庫枯渇自体の問題点、対応状況の現況などを概括する。



前村 昌紀 (日本ネットワークインフォメーションセンター)

1994 年国内大手 ISP の事業立ち上げにネットワーク技術者として参画。以降ネットワーク設計と対外接続部運用・技術渉外に従事。

2000 年外資通信事業者に移り、国内 IP 技術、アジア地域 IP 製品管理、研究開発に従事。

この間、JANOG (日本ネットワークオペレーターズグループ) 立ち上げ、JPNIC (社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター) における IP アドレス管理の方針策定など、インターネット運営に関する活動に関与し、2007 年役員を務めていた JPNIC の事務局に、専従の IP 事業部長として着任。2009 年インターネット推進部長。

APNIC(Asia Pacific Network Information Centre) 理事会議長、国際大学 GLOCOM 客員研究員、麗澤大学経済学部経営学科非常勤講師。

● [14:20-14:50] 講演 (2) 「ISP, IXP, キャリア等, 事業者の枯渇対応」

〔講演概要〕

近年のインターネット環境にはいくつかの大きな環境変化がある。

国際的には、IPv4 アドレスの枯渇に伴う環境変化がある。また、コンテンツを持つ事業者の成長や情報家電などが現実になってきている。

一方、国内特有の環境変化としては、2011 年度に NTT-NGN という大きな IPv6 ネットワークが準備される。

これらの環境変化に向けて、各プレーヤーはどのようなことを考えるべきかを俯瞰して議論したい。



中川 あきら (日本インターネットエクスチェンジ)

東京通信ネットワーク (TTNet) にてフレームリレー・ATM・インターネットバックボーン設計 / 大規模改修などを実施。

パワードコムにてインターネット 3 社統合 (AS 統合)・経営企画等。

KDDI にて au の国際ローミング開発・IPv4 枯渇 / IPv6 対応等を担当。

日本インターネットエクスチェンジ株式会社 (JPIX) にて、新規事業企画 (現職)

社外においては、JPNIC Policy-WG、IPv6 普及高度推進協議会 家庭用ルータ SWG、日本インターネット協会 IPv6-DC などで活動中。

● [14:50-15:20] 講演 (3) 「コンテンツプロバイダの枯渇対応」

〔講演概要〕

IPv4 アドレス枯渇が囁かれてから 2 年が経過しているが、インターネット通信事業界とソーシャルメディアを中心とするインターネットコンテンツ業界との危機感には未だに隔たりがある。その問題と原因を明らかにすると同時に、コンテンツプロバイダの枯渇対応の実情を示し、IPv6 対応の必然性、そして今後の課題と方針について発表する。



伊勢 幸一 (ライブドア)

1962 年生まれ。1986 年室蘭工業大学工学部卒業。2005 年に (株) スクウェア・エニックスを退職し株式会社ライブドアへ入社。2008 年、技術研究室を設立し、2008 年 10 月情報環境技術研究室室長に就任。以後、新世代ネットワークアーキテクチャやオーバーレイネットワーク技術の研究業務を統括。

● [15:20-15:50] 講演 (4) 「キャンパスネットワークの枯渇対応」

〔講演概要〕

IPv6 対応が叫ばれて久しく、多くの大学等においてキャンパスネットワークの仕様に IPv6 対応という項目が入ったシステム更新を 2 回程度は経験しているはずである。しかし、実際に外部ネットワークと IPv6 接続を実施している組織は一部であり、さらに学内どこからでも IPv6 が利用可能な大学は稀である。その原因のひとつとして、セキュリティ上の要請から IPv4 において複雑なアクセス制限を実現している一方、それと同様の構成を IPv6 で実現することが技術的に困難である点が挙げられる。本講演では、キャンパスネットワークにおける IPv6 対応状況と問題点について実例を交えて述べる。



相原 玲二 (広島大)

広島大学情報メディア教育研究センター長・教授。1986 年広島大学大学院工学研究科博士課程後期修了。(工学博士) 同大工学部助手、同大集積化システム研究センター助教授などを経て 2009 年より現職。マルチプロセッサシステム、インターネット、ネットワークアーキテクチャ、動画像伝送システムなどの研究に従事。キャンパスネットワークの構築・運用などの業務に従事。

● [16:00-16:30] パネル討論 「IPv4 アドレス在庫枯渇対応の処方箋」

〔討論概要〕

このセッションで発表した登壇者全員で、目前に迫った IPv4 アドレス在庫枯渇に関して討議する。

インターネットは「ネットワークのネットワーク」であり、ユーザ、学術ネットワーク、商用接続事業者、オンラインサービスやコンテンツ提供を実現するサーバ・データセンターなどが相互に接続されて構成されている。IPv4 アドレスの在庫枯渇は、IPv6 への移行、NAT やトランスレータの導入などいくつかの対応策があるが、ここで難しいのは、自分が管理するネットワークに属している利用者が接続する対地は世界各地に散らばっており、それら対地がそれぞれの対応策を実施していることである。このパネルディスカッションでは、接続事業者、コンテンツ事業者、キャンパスネットワークそれぞれの立場から IPv4 アドレス在庫枯渇における問題を語っていただき、インターネット全体として好ましい対策のあり方を探りたい。

討論司会：前村 昌紀（日本ネットワークインフォメーションセンター）

写真および略歴は「講演（1）IPv4 アドレス在庫枯渇 - その問題点と対応の概況」を参照。

パネリスト：中川 あきら（日本インターネットエクスチェンジ）

写真および略歴は「講演（2）ISP, IXP, キャリア等, 事業者の枯渇対応」を参照。

パネリスト：伊勢 幸一（ライブドア）

写真および略歴は「講演（3）コンテンツプロバイダの枯渇対応」を参照。

パネリスト：相原 玲二（広島大）

写真および略歴は「講演（4）キャンパスネットワークの枯渇対応」を参照。

第14回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト 9月7日（火）13:30-16:30 [第2イベント会場（西講義棟 2F 工学部 第1講義室）]

【企画概要】

本イベント企画では、「ターゲットをロックオンせよ！ 移動物体の追跡」と題した第14回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテストの入賞者の発表、表彰式、および受賞者自身によるアルゴリズム発表を行う。本コンテストは、パターン認識・メディア理解（PRMU）研究専門委員会が、当該研究分野における若手研究者の育成と研究会活動の活性化を目的として、1997年度より秋の大会併催事業として実施している。本事業は、若手研究者およびこれから研究者を目指す学生（主に、高専、学部・大学院生）を主たる対象に、具体的な課題を解決することの楽しさを通して研究の面白さを体験してもらうことを目指している。募集にあたってはコンテストのホームページ（<http://www.murase.mis.nagoya-u.ac.jp/alcon2010/>）でサンプルプログラム・画像データを公開してアルゴリズムを実装したプログラムの提出を求め、このプログラムの処理結果や計算時間等を参考に、審査委員会でアルゴリズムの新規性や性能を審査し、優秀なプログラムを選定している。応募対象者が若手研究者や学生であることから、アルゴリズムの完璧さや実装の工夫よりも、若手研究者や学生ならではの素朴なアイデアを積極的に評価する方針を採っている。



全体司会：出口 大輔（名大）

2001年名古屋大学工学部電気電子情報工学科卒。2006年同大学院博士後期課程修了。2004年～2006年まで日本学術振興会特別研究員。2006年名古屋大学大学院工学研究科研究員、2008年より同大助教。現在に至る。博士（情報科学）。主に画像処理・パターン認識技術の開発とそのITSおよび医用応用に関する研究に従事。

● [13:30-13:35] 開会挨拶



開会挨拶：美濃 導彦（京大）

京都大学工学部助手、京都大学工学部附属高度情報開発実験施設助教授を経て、京都大学学術情報メディアセンター教授。昭和62年～63年マサチューセッツ州立大学客員研究員。平成18年4月より平成22年3月まで同センター長。平成20年10月より京都大学総長室副室長を兼任。画像処理、人工知能、知的コミュニケーション関係の研究に従事。工学博士。IEEE、ACM、情報処理学会、電子情報通信学会、画像電子学会、日本ロボット学会、日本バーチャルリアリティ学会各会員。

● [13:35-13:45] 課題概要説明、審査結果発表

● [13:45-13:50] 入賞者表彰

● [13:50-15:20] 入賞者によるアルゴリズム紹介

● [15:30-16:30] 講演 (1) 「時空間 MRF モデルによるトラッキングー ITS への応用ー」

〔講演概要〕

道路交通の円滑化を目的として、信号制御やカーナビを通した情報提供が既に行われている。近年では、事故回避を目的として、ドライバーへの情報提供や警告を行う路車協調型の安全運転支援システムが実用化されようとしている。これらのサービスのためには、道路上の車や歩行者をのセンシングとそれに基づく状況判断が不可欠であり、画像トラッキング技術はその要である。また、車載センサーによる歩行者検知技術においても、画像認識技術への期待が高い。本講演では、講演者が開発してきた画像トラッキング技術と、その ITS（高度交通システム）への応用例について紹介しながら、ITS における画像センシングの役割について考える。



上條 俊介（東大）

1992 年 3 月 東京大学大学院理学系研究科修士課程・物理学専攻終了 1992 年 4 月 富士通株式会社入社、組み込みプロセッサの開発に従事 1998 年 4 月～2001 年 3 月 東京大学大学院光学系研究科博士課程・情報工学専攻 博士（工学）2001 年 4 月 東京大学生産技術研究所着任、現在准教授

ポスト情報爆発へ向けてー Beyond Web の展望ー

9 月 8 日（水）10:00-12:30 [第 2 イベント会場（西講義棟 2F 工学部 第 1 講義室）]

〔企画概要〕

Web は、その出現から約 20 年を経たいま、ネットワーク社会を支える情報基盤として多大な役割を果たしている。世界規模でのコミュニケーションや、「情報爆発」と称される膨大な情報の処理や活用が求められる状況は、Web なくしてはあり得なかった。しかし、今日の Web は、動画等の多様なメディアの配信や、Web 上で展開される社会的インタラクションなど、多方面への拡大を続けている。また、モバイル・ユビキタス環境における利用やセンサ情報との統合など、実世界におけるユーザの行動等との連携も進んでいる。本企画では、このような現状を踏まえ、講演およびパネル討論により、今後の Web の展開を占う。



全体司会・討論司会：山名 早人（早大）

平成元～5 年早大情報科学研究教育センター助手。平成 5～12 年電子技術総合研究所。平成 8～9 年通産省機械情報産業局電子機器課課付。平成 12 年理工学部助教授。平成 17 年理工学術院教授。平成 17 年国立情報学研究所客員教授。現在に至る。情報検索、検索エンジン信頼性解析、計算機アーキテクチャ等の研究に従事。平成 22 年より DBS 研究会主査。

● [10:00-11:00] 講演 (1) 「インターネットサービス企業における情報爆発とその先」

〔講演概要〕

インターネットはますます拡大し、多様化するとともに巨大化している。その中でインターネットサービス企業の提供するサービス規模も拡大してきており、ユーザー数、利用率、トランザクションは日々増加し、様々な履歴やログ情報も爆発している。しかし、これら爆発するデータの活用が、サービスの利便性向上や新しいエクスペリエンスの提案に役立っていることも確かである。本講演では、インターネットにおける主要な技術的課題について触れながら、インターネットサービス企業がこの情報爆発に対してどのような対応を行っているのかについてを解説し、今後の方向性について考察する。



森 正弥（楽天）

1998 慶應慶應義塾大学・経済学部卒。アクセンチュア株式会社を経て、2006 楽天株式会社入社。現在、同社執行役員 兼 楽天技術研究所長として、研究開発組織のマネジメントに従事。情報処理学会 DBS 研究会 運営委員。電子情報通信学会 データ工学研究専門委員会 専門委員。IPA Ruby 標準化 WG 委員。Ruby アソシエーション 運営委員。著作に「クラウド大全」（日経 BP 社、共著）、「ウェブ大変化 パワーシフトの始まり」（近代セールス社）がある。

● [11:00-12:30] パネル討論「Beyond Web の展望」

【討論概要】

Web は、その出現から約 20 年を経て、世界規模でのコミュニケーションや、「情報爆発」と称される膨大な情報の処理や活用が求められる状況を創り出した。そして、ありとあらゆる情報を簡単に入手できるようになった。「情報爆発時代」にいる我々は、5 年後、10 年後を見据え今何をすべきか、本パネルでは「Beyond Web」をテーマに、まず 4 人のパネラーに、それぞれの立場から講演をしていただく。具体的には、ビジネスにおける様々な履歴・ログデータの活用、急速にその重要性が増しているソーシャルメディアの活用、さらには、情報爆発時代が可能とした音声情報検索、ウェアラブルコンピューティングといった新しい情報活用の視点から「Beyond Web」を考える。「情報爆発からの恩恵を最大化することができるのか」「Web を超える新しい情報活用とは何か」「今はじめなければならない研究は何か」等々、様々な角度からの議論を会場の皆様と共に進めていく。

討論司会：山名 早人（早大）

写真および略歴は「ポスト情報爆発へ向けて－Beyond Web の展望－」司会紹介を参照。

パネリスト：森 正弥（楽天）

写真および略歴は「講演（1）インターネットサービス企業における情報爆発とその先」を参照。



パネリスト：後藤 真孝（産総研）

1998 年早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。博士（工学）。同年、電子技術総合研究所に入所し、2001 年に改組された産業技術総合研究所において、現在、情報技術研究部門メディアインタラクション研究グループ長。統計数理研究所 客員教授、筑波大学大学院 准教授（連携大学院）、IPA 未踏ユース PM を兼任。ドコモ・モバイル・サイエンス賞 基礎科学部門 優秀賞、科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞、情報処理学会 長尾真記念特別賞等、25 件受賞。



パネリスト：寺田 努（神戸大）

1997 年大阪大学工学部卒業。1999 年同大学院理工学研究科博士前期課程修了。2000 年同大学院理工学研究科博士後期課程退学。同年より大阪大学サイバーメディアセンター助手。2005 年より同講師。2007 年神戸大学大学院理工学研究科准教授。現在に至る。2004 年より特定非営利活動法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構理事、2005 年には同機構事務局長を兼務。2004 年には英国ランカスター大学客員研究員を兼務。博士（工学）。アクティブデータベース、ウェアラブルコンピューティング、ユビキタスコンピューティングの研究に従事。



パネリスト：土方 嘉徳（阪大）

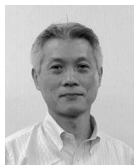
1996 年大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻修士課程修了。同年、日本アイ・ビー・エム（株）東京基礎研究所 入社。2002 年より、大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻、特別研究員、助手、講師を経て、現在准教授。知的 Web システム、パーソナライゼーション、テキストマイニングなどの研究に従事。博士（工学）。インタラクション 2005 ベストペーパー賞、ACM IUI Best Paper Award などを受賞。

仮想社会と電子書籍一紙の本はなくなるか？－

9 月 8 日（水）16:00-18:00 [第 2 イベント会場（西講義棟 2F 工学部 第 1 講義室）]

【企画概要】

ここ数年書籍の電子化／コンテンツ化についての話題が絶えない。Google 社のサービスであるブック検索とその権利問題、あるいは国立国会図書館所蔵資料のデジタルアーカイブ整備など話題はつきない。この企画では書籍の電子化やそれを前提としたサービスなどに関連する最新動向を各分野の一線でご活躍の方々にお話しいただき、ネットワーク時代の書籍や図書館のあり方について議論する場を提供する。



全体司会：全 へい東（千葉大）

平成元年慶応大学大学院理工学研究科修了。同年より東京大学生産技術研究所・助手。平成 5 年東京商船大学（現東京海洋大学）助教授。平成 13 年千葉大学教授。画像処理、コンピュータビジョンなどの研究に従事。工学博士。

● [16:00-16:30] 講演 (1) 「情報技術の宝庫：電子図書館」

【講演概要】

情報技術の発展によって非常に多くのものがバーチャル・スペース、情報空間の世界に移りつつある。電子図書館もその1つであるが、理想の電子図書館を建設しようとする様々な情報技術の開発が必要である。書物のスキャナー、あらゆる文字の判別と高精度のOCR、ページレイアウトの判断、表題、目次、見出し、本文、図、表、写真、奥付けなどの自動認識、書誌情報の自動付与、主題分析、分類、抄録等の自動作成、本文テキストの構造化と高度な検索、書誌検索から目次検索、事実検索へ、また大量の電子図書のデータベース化と長期保存技術、Web サイト情報に対する同種の技術の開発、世界中の電子図書館を高速通信網で一体化する技術などがある。こういった問題について論じる。


長尾 真 (国立国会図書館)

1959 年京都大学工学部卒業。1966 年工学博士。1973 年京都大学教授。1997 年京都大学総長。2004 年独立行政法人情報通信研究機構理事長。2007 年国立国会図書館長 (現在に至る)。京都大学名誉教授。1997 年紫綬褒章。2005 年日本国際賞、フランス共和国レジオンドヌール勲章シュバリエ章。2008 年文化功労者。

● [16:30-17:00] 講演 (2) 「『連想×書棚』で知識の扉を開く」

【講演概要】

本年 6 月、8 年ぶりにリニューアルした WebcatPlus は、図書館、新刊書店、古書店、電子書籍ライブラリなどから書籍に関わる情報を広く収集して、それらを本・作品・人物を軸として読み解くための情報サービスである。自分のお気に入り「連想×書棚」に立てると、それをカギに関連する本を連想検索で収集することができる。自分の興味を核として、確かな知を得るためのサービスを目指している。このサービスを紹介しながら、連想の情報学の可能性について論じる。


高野 明彦 (NII)

国立情報学研究所連想情報学研究開発センター長・教授。1980 年東大数学科卒。日立製作所に 20 年勤務の後、2001 年より現職。理学博士。専門は、関数プログラミング、プログラム変換、連想の情報学。研究成果の GETA を活用して、Webcat Plus、新書マップ、文化遺産オンライン、想-IMAGINE Book Search など「連想する情報サービス」の構築に情熱を燃やしている。NPO 連想出版理事長。

● [17:00-17:30] 講演 (3) 「Google のデジタル書籍に関する取り組み」

【講演概要】

Google の書籍電子化の取り組みである Google ブックスは、現在全世界で、出版社から提供された 200 万タイトル、パブリックドメイン 200 万タイトルを含む 1200 万タイトルのデジタル化を完了している。これまでは、書籍のコンテンツがインターネット上のコンテンツと同様に検索を通じて読者に「発見」される仕組みとして利用されてきたが、2010 年夏からは電子書籍プラットフォームとしての機能である「Google エディション」の提供を予定している。Google ブックスの最新状況とそれを支えるクラウド・コンピューティングとの関わりについてご紹介したい。


佐藤 陽一 (グーグル)

早稲田大学第一文学部卒。東洋経済新報社を経て、1998 年から 2006 年までマイクロソフトでマイクロソフトプレス (マイクロソフト公式解説書) の出版事業の日本担当マネージャー。2006 年に Google 入社。主に Google ブックスに関する出版社・図書館とのパートナーシップ構築を担当。

● [17:30-18:00] 講演 (4) 「インターネット環境下における情報鎖国の可能性」

【講演概要】

現在われわれは、計算機とネットワークの技術的進歩を前提として、文明、文化、学術、学術出版の実践において大きな変化の局面に遭遇している。電子ジャーナル、電子ブック、「紙の本」という現象的話題はさておき、知的活動、知的生活そのものがデジタル化されつつ事態をわれわれは目撃しつつある。これらの情報流通の基盤は本質的にライフスタイルを変えつつあるといえる。その変化はさらに、知識と知的活動とは何かという根本的反省を促すと同時に卑近には国 (日本) という単位の無意味化をもたらしつつあると理解するのが普通である。しかし、国内的な情報流通の産業構造はインターネットと携帯電話網に支えられたテクノロジーとビジネスによって大きく変化しつつあり、そこではグローバル化が進行しつつあるようにも見えるが、同時に規制と推進の名のもとに国の役割、国際関係の重要性も顕在化しつつある。このような問題の複雑な構造について、「本」という観点から検討する。



土屋 俊 (千葉大)

1975 年東京大学教養学部卒、1980 年同大学院人文科学研究科哲学専攻博士課程単位取得退学、1980 年日本学術振興会奨励研究員、1982 年千葉大学助教授文学部、1994 年同教授、1996 年総合情報処理センター長、1998 年から 2002 年まで、2005 年から 2007 年まで同附属図書館長、2009 年総合メディア基盤センター長。哲学、論理学、認知科学などについて研究、教育してきた。

サービスコンピューティングへのアプローチ

9 月 7 日 (火) 13:30-15:30 [第 3 イベント会場 (西講義棟 3F 工学部 第 3 講義室)]

[企画概要]

サービスを単位としてインターネット上にソフトウェアを構築し利用するサービスコンピューティングは、エージェント、ソフトウェア工学、サービス科学など既存の複数の技術に跨る横断的な学際分野である。本企画では、各技術の視点からサービスコンピューティングへのアプローチについて講演を行うことで、サービスコンピューティングというビジョンが投げかける新たなチャレンジ、そして横断的な技術分野の面白さを感じ取ってもらう。さらに、パネル討論では、各技術の関係を整理することで、近年注目を集めているクラウドコンピューティングやサービス科学への貢献や位置づけの違いも明らかにしながら、サービスコンピューティングという分野の役割、向かう方向について議論する。

● [13:30-13:55] 講演 (1) 「ソーシャル e サイエンスのためのサービスコンピューティング」

[講演概要]

サービス科学を方法論として突き詰めると「ソーシャル e サイエンス」という概念に到達する。ソーシャル e サイエンスとは e サイエンスの社会化、すなわち社会の日常的な営みと融合した時空間的に大きな仮説検証サイクルによる知識創造である。これを普及させることは、科学的根拠に基づく社会 (evidence-based society) を構築する、つまり社会的な意思決定を経験や勘や多数決ではなく科学的根拠に帰着させる世の中にするということである。ソーシャル e サイエンスにおける情報技術への主要請は、・実用上の利便性と研究上の有用性を同時に高めるようなデータの構造化と相互連携・社会的に共有された目的 (価値) に基づくサービス (社会の機能) の設計であり、これらはサービスコンピューティングとの親和性が高いと考えられる。本講演ではソーシャル e サイエンスの研究事例の紹介を交えながらこれらの要請について考察する。



橋田 浩一 (産総研)

1981 年東京大学理学部情報科学科卒業。1986 年同大学院理学系研究科博士課程修了。理学博士。1986 年電子技術総合研究所入所。1988 年から 1992 年まで (財) 新世代コンピュータ技術開発機構に出向。2001 年から産業技術総合研究所。情報処理学会山下記念研究賞、日本認知科学会優秀論文賞、情報処理学会情報規格開発賞等を受賞。専門は自然言語処理、人工知能、認知科学。日本認知科学会会長、言語処理学会会長。

● [13:55-14:20] 講演 (2) 「サービス / クラウドコンピューティングへの誘い : 技術動向と課題」

[講演概要]

クラウドコンピューティングや SaaS (Software as a Service) が国内でも普及しつつあるが、多くの課題がある。サービス / クラウドコンピューティングに関する国際会議では研究成果が活発に議論されているが、国内からの参加者が極めて少なく、国内と世界の研究にギャップも見られる。また、現場ではクラウド間連携や既存システムとクラウドとの連携などの課題が提起されている。ここでは、国際会議における研究動向も含め、サービス / クラウドコンピューティングの技術動向、研究と実践の両面における課題、今後の方向を紹介する。あわせて、本分野の研究へ参画して頂くためのアプローチを紹介する。



青山 幹雄 (南山大)

1980 年～1995 年富士通にて分散ソフトウェアの開発と管理に従事。1995 年～2001 年新潟工科大学教授。2001 年より現職。ソフトウェア工学、サービス指向アーキテクチャ (SOA)、クラウドサービスなどの研究に従事。サービスコンピューティングに関する国際会議では、これまで、ICSOC、ICWS、CLOUD などのプログラム委員を務める。第 2 回 ICSOC プログラム委員長。

● [14:20-14:45] 講演 (3) 「マルチエージェントシステムからのサービスコンピューティングへのアプローチ」

【講演概要】

サービスコンピューティングの特徴の一つは、複数の原子サービスを組み合わせて複合サービスを構築することで、利用者の多様な要求を満たす点にある。一方、マルチエージェントシステム研究では、複数の意思決定主体（エージェント）の協調・交渉といった問題を扱ってきており、両技術は親和性が非常に高いと言える。本講演では、エージェントアプローチによるサービスコンピューティング解決の一事例として、複合サービス合成問題の制約充足問題として定式化し、解決する研究を紹介する。つぎに、個々の原子サービスが複数のステークホルダーによって提供されている場合に生じる、提携安定性や収益配分の問題をエージェント技術の視点から議論する。



松原 繁夫（京大）

1992年京都大学大学院工学研究科精密工学専攻修士課程修了。同年NTTに入社。2007年より、京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻准教授。情報経済学に興味を持つ。博士（情報学）。2002年度人工知能学会論文賞、2003度情報処理学会研究開発奨励賞、2005年度日本ソフトウェア科学会論文賞受賞。人工知能学会、日本ソフトウェア科学会、情報処理学会会員。

● [14:45-15:10] 講演 (4) 「言語グリッドに見るサービスコンピューティングの課題」

【講演概要】

言語グリッドとは、世界中の言語資源（辞書や翻訳ソフト等）をサービスコンピューティングを用いてインターネット上で共有し、連携させる多言語サービス基盤である。現在、120組織が参加し、16種類約80個の原子サービスが共有されている。本講演では、この言語グリッド上の事例を用いて、サービス合成やQoS、ポリシー制御などのサービスコンピューティング分野の中心な課題を説明し、現在取り組んでいる研究について紹介するとともに、今後の方向性やコミュニティが発展するために必要な枠組みについて考察する。



村上 陽平（NICT）

2003年京都大学大学院社会情報学専攻修士課程修了。2006年同大学院社会情報学専攻博士課程修了。博士（情報学）。現在、（独）情報通信研究機構研究員。電子情報通信学会サービスコンピューティング時限研究専門委員会委員長を務める。世界中の言語資源をインターネット上でサービスとして共有する言語グリッドプロジェクトに従事。

● [15:10-15:30] パネル討論

【討論概要】

サービスを単位としてインターネット上にソフトウェアを構築し利用するサービスコンピューティングは、エージェント、ソフトウェア工学、サービス科学など既存の複数の技術に跨る横断的な学際分野である。本パネルでは、近年注目を集めているクラウドコンピューティングやサービス科学への貢献や位置づけの違いも明らかにしながら、サービスコンピューティングという分野の役割、向かう方向について議論する。



討論司会：石川 冬樹（NII）

2007年東京大学大学院情報理工学研究科博士課程修了。博士（情報理工学）。2007年より国立情報学研究所助教、総合研究大学院大学複合科学研究科助教兼任。現在に至る。サービスコンピューティング、ソフトウェア工学の研究に従事。電子情報通信学会 情報・システムサイエティ サービスコンピューティング時限専門研究委員会 副委員長。

パネリスト：橋田 浩一（産総研）

写真および略歴は「講演 (1) 「ソーシャルサイエンスのためのサービスコンピューティング」」を参照。

パネリスト：青山 幹雄（南山大）

写真および略歴は「講演 (2) サービス / クラウドコンピューティングへの誘い：技術動向と課題」を参照。

パネリスト：松原 繁夫（京大）

写真および略歴は「講演 (3) マルチエージェントシステムからのサービスコンピューティングへのアプローチ」を参照。

パネリスト：村上 陽平（NICT）

写真および略歴は「講演 (4) 言語グリッドに見るサービスコンピューティングの課題」を参照。

学際テーマの研究推進にむけてー学際テーマを研究することの楽しさと難しさー

9月7日(火) 16:00-18:00 [第3 イベント会場 (西講義棟 3F 工学部 第3 講義室)]

[企画概要]

情報セキュリティ研究は、情報システムが適用される社会システムにおいて、安全・安心で信頼ある環境を推進することを目的とした研究領域である。このために、技術のみならず、社会学、経済学、心理学などの領域との学際的な研究が必要とされている。SPT 研究グループは前述した研究を推進しているが、研究者はしばしば他領域の研究作法との違いなどを認識することになる。しかしながら、学際領域の研究の推進が、我が国の情報処理研究に多大な貢献をすることは明白で、課題を共有、解決し今後の研究推進を図ることは有意義である。本パネルでは、留学生、社会人を含む学生パネリストを予定し、実際の研究の概要を発表するとともに、研究の楽しさ、難しさを討論することをもって、聴衆に対し新たに学際領域への興味・意欲を喚起し、よって研究を推進することとしたい。

● [16:00-18:00] パネル討論



全体司会：小松 文子 (情報処理推進機構)

日本女子大学卒。NEC にて、汎用コンピュータの OS 開発、情報ネットワークプロトコルの国際標準化活動、情報セキュリティの研究開発、企業・政府のセキュリティ関連システムへの技術支援に従事。専門は、PKI、アイデンティティ管理、プライバシー保護システム。2008 年より (独) 情報処理推進機構 IPA セキュリティセンター情報セキュリティ分析ラボラトリー ラボラトリー長。人間の行動科学の観点から情報セキュリティ対策推進を目的とした、研究を進めている。



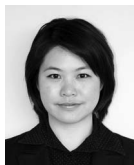
パネリスト：西岡 大 (岩手県大)

1984 年生。2006 年岩手県立大学ソフトウェア情報学部卒業。2008 年同大学大学院ソフトウェア情報学研究科博士前期課程修了、2008 年同大学大学院ソフトウェア情報学研究科博士後期課程入学、現在に至る。情報セキュリティに関する安心感の研究に従事。情報処理学会学生会員 ACM 学生会員



パネリスト：高木 大資 (東大)

1982 年 香川県に生まれる 2008 年 明治学院大学大学院心理学研究科修士課程修了現在 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程 (心理学修士)・日本学術振興会特別研究員 (DC2) 所属学会 日本社会心理学会主な研究内容は、地域コミュニティ内におけるソーシャル・キャピタルと犯罪被害の関連について、郵送調査データなどを用いて明らかにすることである。とくに、近年では地理情報システム (GIS) と空間統計学の郵送調査データへの適用に関心があり、地域内の住民同士のダイナミクスが犯罪発生にどのような影響を与えるのかをより詳細に記述することを目指している。



パネリスト：ボンコット ジェンチャラッサクン (東大)

2006 年 King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang、情報工学 卒業。2006 - 2009 年 Toyota Motor Asia Pacific Engineering and Manufacturing Co., Ltd. にてソフトウェアエンジニアとして従事。2010 年 東京大学情報理工学系研究科電子情報学専攻 修士課程 入学 (松浦研究室)、2009 年 東京大学情報理工学系研究科電子情報学専攻 研究生。現在、情報セキュリティの立場から地域間産業連関データと日本産業生産性データ (産業部門間データ) を分析して、情報セキュリティにおける相互依存性を実証することを目的とした研究を行っている。



パネリスト：高 鵬 (九大)

1982 年 10 月 (中国) 江蘇省連雲港市生、2005 年 6 月 (中国) 南京工業大学電子通信工学部卒業、2005 年 7 月 (中国) 江蘇自動化研究所 電子デバイス信頼性テストセンター エンジニアとして従事。2008 年 10 月 九州大学大学院システム情報科学府 研究生、2009 年 4 月 九州大学大学院システム情報科学府 修士課程 情報学専攻 入学後、現在に至る。研究興味は、セキュリティインターネットプロトコル。

Science と Engineering をつなぐ『Art』を求めてー ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトシンポジウムー

9月8日(水) 10:00-12:30 [第3 イベント会場 (西講義棟 3F 工学部 第3 講義室)]

【企画概要】

近年、論理や集合のような基本データ構造を効率よく処理する「BDD」「ZDD」と呼ばれるデータ構造とアルゴリズムが様々な分野で活用されている。このような技法をベースとして、種々の離散構造を統合的に演算処理する技法を体系化し、分野横断的かつ大規模な実問題を高速に処理する技術基盤を構築することを目標として、「ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト」が2009年10月にJSTにより採択された。本企画では、湊研究総括によるプロジェクト概要説明に続いて、プロジェクト関係者による研究紹介をポスターセッション形式で開催する。本シンポジウムにより、情報科学技術分野の多数の研究者に関心を持っていただき、離散構造処理系をベースとした分野横断的な研究者コミュニティの交流を深めたい。

● [10:00-10:30] 講演「ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト：概要紹介と最近の話題」

【講演概要】

計算機は、産業プロセスの最適化や解析、マーケティング、バイオインフォマティクスなど、様々な情報処理に活用されているが、近年の爆発的に増大している大規模データを処理するためには、計算機ハードウェアの高速化だけでなく、膨大な離散構造データを数学的に簡約化し効率よく計算する技術の重要性が高まっている。今年度より開始されたERATO 湊離散構造処理系プロジェクトでは、基本的な離散構造である論理関数を処理するBDD (Binary Decision Diagram) と、その進化形であるZDD (Zero-Suppressed BDD) を基盤とした離散構造処理系の研究に取り組んでいる。本講演では、BDD や ZDD に代表されるアプローチに加え、今後想定される分野横断的かつ大規模な実問題を高速に処理するための技術基盤の構築を狙いとする本プロジェクトの概要を紹介し、関連する最近の話題について述べる。



湊 真一 (北大)

1988年京都大学工学部情報工学科卒業、1990年同大学院大学院修士課程、1995年博士課程(社会人)修了。1990年日本電信電話(株)入社。NTT研究所にて大規模論理データ処理アルゴリズムの研究に従事。2004年より北海道大学 大学院情報科学研究科 准教授。2009年10月よりJST ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト研究総括(兼務)。BDD(二分決定グラフ)を用いた離散構造の処理に興味を持つ。情報処理学会、電子情報通信学会、人工知能学会、IEEE各会員、博士(工学)。



津田 宏治 (産総研)

1994年京都大学工学部情報工学科卒業。1996年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。1998年同博士課程修了、電子技術総合研究所入所。2000年独GMD FIRST 客員研究員。2003-2004年独Max Planck研究所研究員。2006-2008年同チームリーダー。現在、産業技術総合研究所生命情報工学研究センター機械学習研究班長、主任研究員。JST-ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトサブリーダー兼任。国立情報学研究所客員准教授(最先端研究開発プログラム)。博士(工学)。



鷺尾 隆 (阪大)

1983年東北大学工学部原子核工学科卒業。1988年東北大学大学院原子核工学専攻博士課程修了。1988年～1990年マセチューセッツ工科大学原1983年東北大学工学部原子核工学科卒業。1988年東北大学大学院原子核工学専攻博士課程修了。1988年～1990年マセチューセッツ工科大学原子炉研究所客員研究員。1990年(株)三菱総合研究所入社。1996年退社、大阪大学産業科学研究所助教授(知能システム科学研究部門)。2006年大阪大学産業科学研究所教授(知能システム科学研究部門)。現在に至る。原子力システムの異常診断手法に関する研究、定性推論に関する研究を経て、現在は知識発見、データマイニングの研究に従事。AAAI, IEEE Computer Society, 人工知能学会、情報処理学会、電子情報通信学会、計測自動制御学会、各会員、工学博士。

● [10:30-12:30] ポスター討論『Art』な人々による最新の研究紹介と自由討論

【討論概要】

ERATO ポスドク研究員・共同研究者・連携研究者による最新の研究成果(10件程度)をポスターセッションにて発表する。まず各発表者より1人5分程度の研究紹介を行い、その後ポスターにて自由討論とする。シンポジウム来場者および発表者相互の活気ある自由討論により、それぞれの研究の発展を狙うとともに、離散構造処理系をベースとした分野横断的な研究者コミュニティの一層の強化を図る。

組合せパズルの数理とコンピューテーション

9月9日(木) 10:00-12:30 [第3 イベント会場 (西講義棟 3F 工学部 第3 講義室)]

[企画概要]

迷路やクロスワード、数独など、パズルは人間の知性の結晶であるが、その背後にある理論は組合せ理論を基盤にした計算理論の範疇にある。近年、これらを含むパズルの計算量の研究が進み、更に計算の立場から、パズルの求解や生成の困難性が数理的に議論できるようになってきた。世界的にも数理、計算、さらにアートを融合したプロジェクトが注目を集めている。わが国でも例えば出力が任意の絵になるような迷路の生成、与えられた図形を組み上げる折り紙の自動生成などの困難に見える問題を解くアルゴリズムの開発も進み、計算理論のコミュニティーでも組合せパズルのプロジェクトが立ち上がっている。本企画では、これらの組合せパズルの最先端研究の一部をわかりやすく、実演を含めて紹介する。



全体司会：上原 隆平（北陸先端大）

1998年電気通信大学論文博士（理学）。キヤノン（株）研究員、東京女子大学助手、駒澤大学講師、駒澤大学助教授を経て2004年より北陸先端科学技術大学院大学助教授（のち准教授）。理論計算機科学、特にグラフアルゴリズム、計算量の理論、データ構造などの研究に従事。これらの応用としての「折り紙」に傾倒し、『幾何的な折りアルゴリズム』を翻訳。EATCS, ACM, IEEE の各会員。

● [10:00-10:25] 講演 (1) 「ハラリィの一般化三並べの世界」

[講演概要]

三並べという二人ゲームは、「三目並べ」や「まるばつ」等、地方によって呼び名は色々かもしれないが、誰しも一度は見たことがあるだろうし、子供のころに遊んだ記憶がある方も多いと思う。20世紀後半に活躍した数学者フランク・ハラリィはこれを一般化して、数学的にたいへん面白い問題を作り上げた。正方形のセルを辺と辺、頂点と頂点が合わるようにいくつか繋げてできた図形（ポリオミノ）を「動物」と呼ぶ。先手と後手が交互に基盤目状の盤面のセルを一つずつ選んでいき、自分の選んだセルによって、事前に指定されている動物（ただし回転と裏返しも認める）を先に作った方を勝ちとするゲームである。両者が最前を尽くしたときに先手が勝つ様な動物のことを「勝ち型」、そうでないものを「負け型」と呼ぶ。本講演では、この問題に関する既存研究や未解決問題を紹介する。



伊藤 大雄（京大）

1985年京大・工・数理卒。1987年大学院修士課程了。1995年京都大学博士（工学）取得。1987年から1996年までNTT研究所。1996年より2001年まで豊橋技術科学大学。2001年より京都大学大学院情報学研究科通信情報システム専攻、助教授～准教授。グラフ・ネットワークアルゴリズム、組合せ問題、離散幾何学、組合せゲーム・パズルの研究に従事。著書「パズル・ゲームで楽しむ数学」（森北出版）、「ネットワーク設計理論（共著）」（岩波書店）等。電子情報通信学会、情報処理学会、日本OR学会、EATCS会員。

● [10:25-10:50] 講演 (2) 「数理ゲームの必勝法とイカサマの技」

[講演概要]

本発表では、数理ゲームとして3目並べ、山崩し、HEXといった、完全情報有限2人ゲームを取り上げ、その理論的性質と、必勝法の存在について概観する。また、数理的な側面を離れ、ゲームのイカサマ技についても、簡単に紹介する。



松井 知己（中大）

1990年 東京理科大学 理工学部 経営工学科 助手
1992年 東京大学 工学部 計数工学科 講師
1996年 東京大学大学院 工学系研究科 計数工学専攻 助教授
2001年 東京大学大学院 情報理工学系研究科 数理情報学専攻 助教授
2006年 中央大学 理工学部 情報工学科 教授

● [11:10-11:35] 講演 (3) 「繰り返し模様とタイルング」

[講演概要]

タイルングは、基本図形に平行移動、回転、すべり鏡映などの単純な操作を繰り返し適用することにより、隙間なく重なりなく平面を埋め尽くすことを指す。タイルングは、たとえばエッシャーの絵画や正倉院裂などの織物に芸術的モチーフとして見られるだけでなく、壁紙やカーテン、着物のデザインなど、身のまわりに広く見受けられる。本講演では、デザイナーの知的支援を目標に、タイルング可能な基本図形を列挙する手法を、特に回転操作によるタイルングに注目して紹介する。



堀山 貴史 (埼玉大)

1995年 京都大学工学部情報工学科卒業。1997年 同大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。1999年 同大学大学院工学研究科数理工学専攻博士後期課程退学。同年 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助手。2002年 京都大学大学院情報学研究科助手。2007年 埼玉大学大学院理工学研究科准教授。現在に至る。博士（情報学）。組合せ問題，オンラインアルゴリズム，計算幾何などの研究に従事。

● [11:35-12:00] 講演 (4) 「迷路の自動生成と確率的最適化」

【講演概要】

迷路は古くから存在するパズルであり，近年その自動生成に関する研究が進んでいる。プレイヤーにとって魅力的な迷路を作るために，解いた結果が絵画的であることが注目され，講演者のものも含めいくつかの厳密構成法が提案された。本講演ではさらにこれを発展させ，分岐の頻度や行き止まりまでの長さなど，迷路の面白さに影響するその他の特徴を制御しうる確率的構成法を提案する。



池田 心 (北陸先端大)

1999 東京大学理学部数学科卒業，2003 東京工業大学総合理工学研究科博士課程修了，博士（工学）。同年京都大学メディアセンター助手，2010 北陸先端科学技術大学院大学准教授。進化計算，機械学習，エージェントシミュレーション，創発システム，囲碁プログラム，ゲーム情報学などの研究に従事。

● [12:00-12:25] 講演 (5) 「UNO は一人でも難しい」

【講演概要】

オセロやチェス，テトリスなどのゲームやパズルの研究は，古典的なゲーム理論と区別しアルゴリズムの組合せゲーム理論と呼ばれ，その目的はゲームの複雑さや必勝パターンなどを調べることにある。本講演では，世界的にもよく知られたカードゲームの一つである UNO を取り上げ，アルゴリズムの組合せゲーム理論の立場からの研究結果を説明する。具体的には，はじめに UNO を二通りにモデル化し，その上でそれらの計算の複雑さを明らかにする。その結果の一つとして，UNO は一人でプレイしても難しいことを紹介する。



宇野 裕之 (大阪府大)

1987年 京都大学工学部数理工学科卒業。1989年 同工学研究科修士課程修了。1992年 同工学研究科博士課程退学。大阪府立大学総合科学部助手，カナダ国サイモンフレイザー大学応用科学部コンピュータ科学科客員研究員などを経て，現在大阪府立大学大理学系研究科准教授。主として離散構造とアルゴリズム，組合せ最適化，およびそれらの手法の現実問題への適用に関する研究に従事するとともに，ゲームやパズルに興味を持つ。工学博士（京都大学）。編著書「離散数学のすすめ」（現代数学社，共編著）。

見えてきた？ライフログ活用サービスのビジネス化とコア技術 9月9日（木）13:30-16:30 [第3 イベント会場（西講義棟 3F 工学部 第3 講義室）]

【企画概要】

ライフログは，狭義には人間の言動をデジタルデータとして記録に残すことといえるが，最近では，パソコンの小型化や携帯電話機の高機能化，GPS による位置情報取得の容易化などと相まって，人間の営みの記録をより高次元に集約することで，知的・創造的活動の強力なツールとして注目されつつある。本企画は，上記観点から，具体的なサービスの提供者，研究者の中から，ライフログの推進的役割を担っている方々を招き，注目すべき最新サービス・技術の現状と今後の行方について，ご講演いただくとともに，議論をする場を提供するものである。



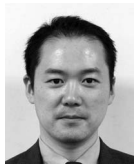
全体司会：西 宏之 (崇城大)

1979年 九州大学大学院修士課程了（電子工学）。同 日本電信電話公社（現 NTT）入社。音声対話システム，音声認識，ホームネットワーク，企業向け情報通信システムの研究開発に従事。2002年より崇城大学工学部講師 2006年より同大情報学部情報学科教授。博士（工学）。電子情報通信学科、音響学会、情報処理学会、IEEE 各会員。

● [13:35-14:00] 講演 (1) 「ソニーのライフログサービス Life-X (ライフ・エックス) のご紹介」

[講演概要]

ソニーマーケティング株式会社が2008年よりサービスを開始した「Life-X」についてご紹介致します。ソニーマーケティングはコンシューマーエレクトロニクス機器を販売する立場からライフログを捉え、サービスを提供して参りました。我々の視点から見たコンシューマーにとってのライフログの価値について経験と共に伝えてできれば幸いです。



中村 馨 (ソニーマーケティング)

1995年慶應義塾大学総合政策学部卒業。SI企業にてインターネット接続プロバイダやEコマースの構築等を手がける。2004年より商社シリコンバレーオフィスに駐在員として勤務しベンチャービジネスディベロップメントに従事する。2007年シード・ベンチャーを経て2008年より現職。

● [14:00-14:25] 講演 (2) 「ドコモのエージェントサービス「i コンシェル」について」

[講演概要]

「i コンシェル」とは、ケータイがまるで執事やコンシェルジュのように消費者一人ひとりの生活エリアや趣味嗜好にあわせて、情報を適切なタイミング・方法でお届けするプラットフォームに近いサービスである。本講演では、「i コンシェル」サービスの概要と誕生の背景、パーソナライズ実現の仕組み、および今後のサービスの発展の方向について解説する。また、「i コンシェル」をプラットフォームとして活用した顧客囲い込みと販売促進具体的事例を紹介する。



那須 寛 (NTT ドコモ)

1998年 外資系コンピュータ会社よりNTT ドコモへ転職。その後、iモードサービス立上げ・iモードサービス開発業務・iモードシステム開発業務・iモード系設備計画業務に従事。2007年より現職、コンテンツベースのサービス企画業務を担当。

● [14:35-15:00] 講演 (3) 「ライフログ収集の観点からみた住宅の役割」

[講演概要]

日本版スマートグリッドの構築に向け、家庭内のエネルギー情報を収集し最適制御を行なうスマートハウスが再評価されている。同時に、収集した情報をライフログとして活用し、新たなビジネスを創出する動きも進んでいる。当社ではエネルギー情報に限らず、家電や設備機器から汎用的にデータを収集、制御する汎用的なホームゲートウェイや通信ミドルウェアの開発を進めてきた。本講演では昨年経済産業省「スマートハウス実証プロジェクト」で開発した「住宅 API」という技術を中心に、家庭内の情報を活用した新サービスの可能性について紹介したい。



吉田 博之 (大和ハウス)

1988年熊本大学工学部生産機械工学科卒業、同年大和ハウス工業入社。工場にてFA導入業務に従事した後、本社デザイン室にて商品開発を担当。1994年総合技術研究所設立後スマートハウスの研究に着手。2002年D'sスマートハウス建設、2005年インテリジェンストイレ開発、2006年緊急地震速報活用・IT自動防災システム実証試験など、ITを活用した生活サービスの研究開発を担当

● [15:00-15:25] 講演 (4) 「ライフログのためのウェアラブルセンシング」

[講演概要]

ライフログは、人間のデータを蓄積すると同時に、いかにデータに有用なラベルを付与するかが重要になる。本講演では、装着型センサから得られた情報からいかに装着者の状況を認識するかについて述べる。また、ライフログを行うためにもっとも重要な要素の一つである、状況認識のための低消費電力化技術についても述べる。



寺田 努 (神戸大)

1997年大阪大学工学部卒業。1999年同大学院工学研究科博士前期課程修了。2000年同大学院工学研究科博士後期課程退学。同年より大阪大学サイバーメディアセンター助手。2005年より同講師。2007年神戸大学大学院工学研究科准教授。現在に至る。2004年より特定非営利活動法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構理事。2005年には同機構事務局長を兼務。2004年には英国ランカスター大学客員研究員を兼務。博士(工学)。アクティブデータベース、ウェアラブルコンピューティング、ユビキタスコンピューティングの研究に従事。

● [15:25-15:50] 講演 (5) 「ライフログのための個人情報管理と法」

【講演概要】

携帯電話端末の普及や高度化にともなう、携帯端末は単なる情報発信機能から情報閲覧機能や生活を支援する高機能（電子決済や地図情報の提供等）まで持つようになってきた。しかし、そこから発信される購買情報やサイト閲覧情報、移動行動情報等は、ライフログ（Life Log：生活記録）として収集され、利用者には、属性情報に応じたコンテンツや広告の提供を受けるサービスに進展してきた。そして、これらの新たなサービスの提供は、通信の秘密、個人情報やプライバシーの保護といった法的側面で問題が指摘される。しかし、情報収集や情報活用等の法や取扱い方法を厳しく制限することは、新たなサービスの芽を摘むことになりかねない。そこで、こうした問題を配慮しつつ、利用者の視点で法や制度の問題を整理し具体的な方策を考えていかなければならない。


松田 貴典（大阪成蹊大）

1968 年同志社大学法学部卒。1998 年大阪大学大学院国際公共政策研究科博士課程修了。博士（国際公共政策）。技術士（情報工学部門）。公認システム監査人他。日本ユニシス株式会社を経て、2003 年大阪市立大学大学院創造都市研究科教授、現在大阪成蹊大学教授。専門は、知的財産権、ビジネス・セキュリティ、情報法、システム監査他。著書に「ビジネス情報の法とセキュリティ」他。2010 年に ISS 誌「情報通信技術者のための知的財産権」で ISS 活動功労賞受賞。

● [16:00-16:25] パネル討論「ライフログビジネスのビジネスモデル」

【討論概要】

ライフログが収集できる環境は着々と整いつつあり、それを利用したサービスの可能性を探ることは意義深い。最近では、個人のライフログを利用した特定の個人向けサービスや、多人数のライフログを統計的に処理して利用するサービスなど、幾つかの方向性が出てきている。本パネルディスカッションでは、招待講演者の方々のお話をベースに、今後のライフログ活用サービスやビジネスの可能性について議論する。


討論司会：阿部 匡伸（岡山大）

1982 年早大理工。電気卒。1984 年同大大学院修士課程了。同年日本電信電話公社入社。

1987 年から 1991 年まで、ATR 自動翻訳電話研究所出向。1989 年 MIT 滞在研究員

2007 年から 2010 年 6 月まで、NTT サーバーソリューション研究所ヒューマンアプライアンスプロジェクトマネージャ。7 月から岡山大学。工博。

現在、ライフログ処理技術、ライフログを用いたサービス、ホームネットワークの研究に従事。

日本音響学会、電子情報通信学会、IEEE、ACM 各会員。

パネリスト：中村 馨（ソニーマーケティング）

写真および略歴は「講演（1）ソニーのライフログサービス Life-X（ライフ・エックス）のご紹介」を参照。

パネリスト：那須 寛（NTT ドコモ）

写真および略歴は「講演（2）ドコモのエージェントサービス「i コンシェル」について」を参照。

パネリスト：吉田 博之（大和ハウス）

写真および略歴は「講演（3）ライフログ収集の観点からみた住宅の役割」を参照。

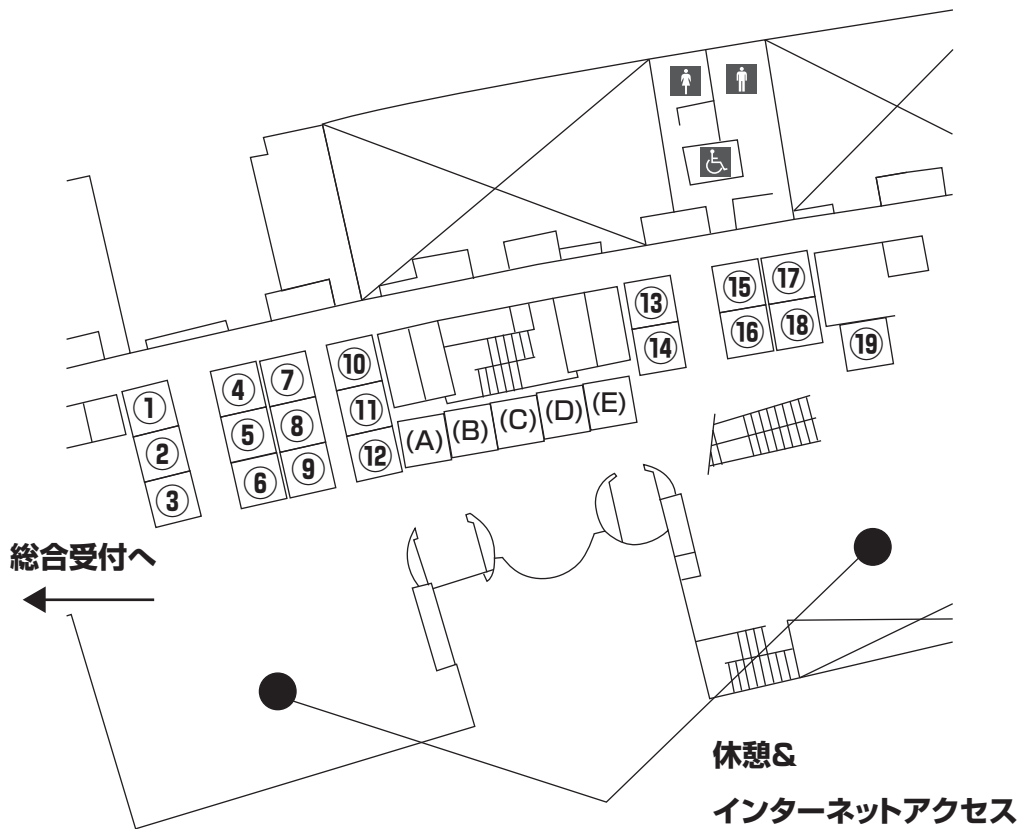
パネリスト：寺田 努（神戸大）

写真および略歴は「講演（4）ライフログのためのウェアラブルセンシング」を参照。

パネリスト：松田 貴典（大阪成蹊大）

写真および略歴は「講演（5）ライフログのための個人情報管理と法」を参照。

展示会場 ウェスト 2 号館 2F ゆとりスペース



- | | |
|--|--------------------------------------|
| ① 株式会社アイダックス | ⑪ 株式会社コア |
| ② 九州大学 大学院システム情報科学研究所
福田・中西・久住研究室 | ⑫ 株式会社日立製作所
システム開発研究所 |
| ③ アイデアル九州株式会社 摂津金属工業株式会社 | ⑬ 株式会社アールティ |
| ④ 株式会社NTTドコモ 九州支社 | ⑭ 東北大学 大学院情報科学研究科 |
| ⑤ 財団法人九州先端科学技術研究所 | ⑮ 一般社団法人 情報処理学会
ユニバーサルデザイン協創フォーラム |
| ⑥ グラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学 | ⑯ 株式会社Lafila |
| ⑦ 九州大学 大学院システム情報科学研究所、
福岡大学 工学部、豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 | ⑰ 九州電力株式会社 電子通信部 |
| ⑧ 株式会社産学連携機構九州・九州大学C&Cプロジェクト2010 | ⑱ タヌキソフトウェア有限公司 |
| ⑨ 財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団 | ⑲ おらっとホーム株式会社 |
| ⑩ 西日本電信電話株式会社 | |

FIT2010 展示会のご案内

FIT2010 では会期中、以下の団体・企業・大学等による展示会を開催致します。

展示会場：ウエスト 2 号館 2F ゆとりスペース

展示日時：9 月 7 日（火）、8 日（水）10：00-17：30 9 日（木）10：00-15：30

ブース 番号	出展者名・出展者 Web サイト・展示名 展示概要
①	株式会社アイダックス http://www.idaqs.jp FPGA コンピューティング FPGA(Field Programmable Gate Array, Xilinx)を HPC 分野に応用したボード製品及び開発環境を紹介します。ナラテック社の FPGA ボードは PCIe やメモリなどのハード IP が充実し、DIMEtalk と呼ばれる GUI ツールでバスやメモリを接続する簡単操作で FPGA が動作します。またニューロロジックも HDL を使わずに C 言語の記述がパラレル、パイプラインの高速ロジックに変換されます。画像処理、流体力学、無線信号処理などに実績があります。アクセラレータとして FPGA ボードの可能性をご説明致します。 詳細：http://www.nallatech.com
②	九州大学 大学院システム情報科学研究所 福田・中西・久住研究室 http://www.f.ait.kyushu-u.ac.jp コンテキストウェアシステム 将来のユビキタス社会では、人の状態を考慮したコンテキストウェアシステムが重要となってくる。その基盤技術として、1) センサーを用いた行動認識アプリケーションを容易に構築可能なドメイン特化型言語や、2) ネットワークと連携したコンテキストウェアな日本語変換システム、の研究を行っている。 詳細：http://www.f.ait.kyushu-u.ac.jp
③	アイデアル九州㈱ 摂津金属工業㈱ http://www.settsu.co.jp/ 静かな研究環境をご提供するサーバー用「防音ラック」 排気ファンの騒音も含め、最大 19db もの防音化を実現したサーバー用防音ラックの他に、光通信時代に必要なスプライシングボックス(光成端箱)や各種ケース・機器収納用トランクケースなどを展示致します。弊社ブースにて是非、防音効果をご体感下さい。 詳細：http://www.settsu.co.jp/catalogs/sersrc/1144
④	㈱NTTドコモ 九州支社 http://www.nttdocomo.co.jp/ 携帯電話での行動支援型サービス紹介(i コンシェル)／次世代携帯電話網(LTE) 携帯電話向けのユーザーエージェント機能、レコメンド型サービスである i コンシェルのサービス内容及び技術要素を紹介いたします。 また、次世代携帯電話網である「LTE(Long Term Evolution)」へのドコモの取組みについてもご紹介いたします。 詳細：http://www.nttdocomo.co.jp/
⑤	財団法人九州先端科学技術研究所 http://www.isit.or.jp/ 財団法人九州先端科学技術研究所(ISIT)の研究紹介 財団法人九州先端科学技術研究所は、産学官連携の下、システム情報技術をはじめナノテクノロジーなど先端科学技術分野などの研究開発などを行なっております。 展示では、研究所の概要紹介、下記の3研究室の研究開発内容についてご紹介いたします。 ・システム LSI 研究室: システムLSI の要素技術開発と社会への普及 ・情報セキュリティ研究室: 社会システムにおける情報セキュリティの確保 ・生活支援情報技術研究室: 人間生活を支援するインタフェース環境の実現 詳細：http://www.isit.or.jp/
⑥	グラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学 http://imaq.kyushu-u.ac.jp/~gcl/japanese/index.html 開発途上国の社会ニーズに基づいたデバイスとサービスの開発 九州大学では、バングラデシュのグラミン・グループと共同研究に取り組んでいる。この国際共同研究では、情報通信技術を用いて開発途上国の人々の社会経済的な自立を支援するデバイスとサービスを開発している。具体的には、貧困層向けの少額融資であるマイクロファイナンスに用いる電子通帳「ePassbook」、携帯電話を用いた農作物情報システム、健康情報管理システムなど開発に取り組んでおり、それらのプロジェクト成果を展示する。 詳細：http://www.ssp.isee.kyushu-u.ac.jp/~ashir/ssp.kyudai/Research.html

ブース 番号	出展者名・出展者 Web サイト・展示名 展示概要
⑦	九州大学 大学院システム情報科学研究所、福岡大学 工学部、豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 http://www.c.csce.kyushu-u.ac.jp/SOC/index_j.html http://uarch.jimdo.com/ http://www.emb.ics.tut.ac.jp/ 統合的高信頼化設計のためのモデル化と検出・訂正・回復技術 ST(科学技術推進機構)CREST「ディベンダブル VLSI システムの基盤技術」研究領域における『九大・福岡大・豊橋技科大で構成する安浦チーム』の研究課題と研究内容を紹介しします。 本研究では、ディジタル VLSI のディベンダビリティを確保するためのシステム・RT レベルにおける設計フローの確立を目指します。種々のエラーのモデル化とディベンダビリティの評価指標を定義し、指標の評価技術、ディベンダビリティを向上させる設計技術を開発します。これらの成果をツール化し、既存の設計フローに組込んで、コスト・性能・消費電力とディベンダビリティのトレードオフを考えた設計ができるフローのプロトタイプを構築します。 本展示では、ソフトウェア耐性の評価指標及び評価ツールを中心に研究成果を紹介しします。 詳細:http://dvlsi.c.csce.kyushu-u.ac.jp/
⑧	映像学連携機構九州・九州大学 C&C プロジェクト 2010 http://www.k-uip.co.jp/ スマートフォンを用いた小型電圧波形計測器 本展示では、スマートフォンを媒体とした、オシロスコープや FFT アナライザ等の小型電圧波形計測器の展示を行う。「スマートフォンを用いた小型電圧波形計測器」は、対象の電圧波形を計測し、計測データをスマートフォンに転送するための「電圧波形計測用外部モジュール(ハードウェア)」と、外部モジュールから受信した計測データを、信号処理してスマートフォンの画面に波形データとして表示する「波形表示アプリケーション(ソフトウェア)」とで構成される。
⑨	財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団 http://www.ist.or.jp/lsi/index.html シリコンシーベルト福岡プロジェクト～福岡先端システム LSI 開発クラスターの構築～ 福岡県では、世界の半導体生産の一大拠点であるアジア地域(韓国、九州、上海、台湾、香港、シンガポール等)を結ぶ半導体生産のベルト地帯「シリコンシーベルト」における先端的なシステムLSI開発拠点の構築を目指す「シリコンシーベルト福岡プロジェクト(SS Bプロジェクト)」を推進しており、その取り組みをご紹介させていただきます。
⑩	西日本電信電話株式会社 http://www.ntt-west.co.jp/ 高齢・障がい者も安心な歩行ナビ 高齢者や目が不自由な方にも配慮した音声による歩行ナビゲーションシステム。 IT の低利用層である高齢者や障がい者への新たなビジネスの実現に向けて取り組みはじめています。
⑪	株式会社コア http://www.core.co.jp T-Kernel + .NET Micro Framework によるソリューション Microsoft が開発した組込み機器向けのアプリケーション開発・実行環境の .NET Micro Framework を、T-Kernel 上で使用できるようになりました。これにより、 ● Windows の持つリッチなユーザインタフェースを利用する ● .NET アプリケーションを T-Kernel の資産として活用することが可能になります。 上記の他に、弊社の組み込みソリューションを紹介します。 詳細:http://www.core.co.jp/product/embedded/products/net_tk/nettk_index.html
⑫	株式会社日立製作所 システム開発研究所 http://www.hitachi.co.jp/rd/sdl/ ソフトウェアによる制御システム向け Fault Tolerant Computer の提案 社会インフラを支える制御システムでは、ごく短時間のサービス停止が大きな影響を及ぼすため、高い信頼性・可用性とリアルタイム性が必要とされる。そのため、制御システムを構成する計算機を冗長構成とし、障害時に故障部位を直ちに切り離し、無停止で制御を継続するフォールトトレラント(FT)構成が注目されている。 本試作においては、複数の一般的な PC サーバをネットワークで疎結合し、ソフトウェアによる同期機構を特徴とする FT 構成と、制御のデモを展示する。
⑬	株式会社アルティ http://www.rt-net.jp インタラクティブ用ロボット&ツール 人型ロボット RIC 人型ロボット NAO フィジカルコンピューティングツール Gainer mini 詳細:http://www.rt-net.jp

ブース 番号	出展者名・出展者 Web サイト・展示名 展示概要
⑭	東北大学 大学院情報科学研究科 http://www.is.tohoku.ac.jp/ 個人情報の安全な利活用のための分散型情報交換アーキテクチャ 本展示では、次世代コピキタス情報社会に向け、身体的特徴や趣味嗜好等の個人情報を積極的に活用し、より高度でパーソナライズされたサービスを提供するための、分散型個人情報交換アーキテクチャを紹介します。 本展示は、KDDI 研究所と東北大学が独立行政法人情報通信研究機構からの委託を受けて行っているダイナミックネットワーク技術の研究開発成果の一部です。 詳細: http://www.shiratori.riec.tohoku.ac.jp/projects/nict-j.html
⑮	一般社団法人情報処理学会 ユニバーサルデザイン協創フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/universal_design/index.html Barcode-Talker: 目が見えなくても中身が分かる! そんなシステムを創りませんか。 視覚障害者がスキャナや携帯電話で自らバーコードをスキャンする“だけ”で、人の目を借りずに音声で商品名がわかるようにする、産学官民に開かれたプロジェクトの展示です。「スキャンする“だけ”って簡単に言うけど、目の見えない人にバーコードの位置を教えるには高コストの特殊印刷が…」いえ、量産コストに追加負担が生じるような方法は、広く継続的には実施できません。あっと驚く端末や、パッケージのアイデアをご紹介します、プロジェクトの仲間を募ります。 詳細: http://hal.inf.shizuoka.ac.jp/tegoro/
⑯	株式会社 Lafla http://www.lafla.co.jp/ 大量の文書情報を宝の山に変えます! (テキストマイニングとクラウドの融合) ・LPO MINDEX インターネットや社内で情報を探すと、適切なキーワードが思い浮かず、なかなか目的の情報にたどり着かないことはありませんか? ズバリそのもののキーワードを思い浮かなくとも、九州大学発のテキストマイニング技術により、関係の深いキーワードを言葉のつながりとして提示して、思わぬ「気づき」を与えて検索をサポートします。 ・有報 LenZ 有価証券報告書に記載されている「業績の概要」「対処すべき課題」「事業等のリスク」など各セクションに対し、そこに現れる言葉のつながりを提示しています。市場トレンドや企業の戦略的方向性を比較分析するためのシステムです。 ※有報 LenZ は株式会社矢野経済研究所と共同で開発・サービス提供しております。 ・株式会社 LAFLA では、Google Apps, Salesforce, Amazon Web Services など様々なクラウドインフラを最適に組み合わせたソリューションを提供します。 例えば、1.Salesforce と Google Apps を連携させた日報システム、2.企業情報を瞬時にメール内に挿入する等の Google Apps 連携部品など積極的に商品展開しております。 詳細: http://www.lafla.co.jp/service/
⑰	九州電力株式会社 電子通信部 http://www.kyuden.co.jp/ スマートグリッド実現のための通信ネットワークについて 現在、低炭素社会の実現に向け、「スマートグリッド」が注目されており、遠隔自動検針や分散型電源の大量導入に対応するため、電力会社とお客さま宅を結ぶ双方間通信環境の構築が期待されています。九州電力電子通信部では、スマートグリッド実現のための通信ネットワークについて検討しており、その取組みについて紹介します。
⑱	タヌキソフトウェア有限会社 http://www.tanukisoftware.com/ja/index.php Java アプリケーションの安定性を確保する Java タヌキソフトウェア有限会社は、Java アプリケーションの信頼性、移植性を向上させる製品開発のリーダーとして成長してきました。弊社のメイン製品、Java Service Wrapper は、Java アプリケーションを Windows サービスや UNIX daemon プロセスの様にインストールし、コントロールを可能にします。また、常にアプリケーションをモニタリングしながら、事前に障害を感知したり、状況を管理者へ報告したり、必要に応じてアプリケーションを安全シャットダウン・再起動したり、様々な便利機能も含まれている非常にすぐれたツールです。 Java Service Wrapper はクラッシュ、フリーズ、メモリー不足、その他例外事象を検知して問題がある場合には Email で管理者へ通達します。問題通達後は自動的にアプリケーションをシャットダウンし、最小時間内で再起動します。これらの Java Service Wrapper の機能はご利用のアプリケーションやサーバーを必要最大限に活用できる様役立つものと確信しております。Java Service Wrapper は様々なプラットフォーム上のソリューションを基盤にしている Java アプリケーションを迅速に配備することを可能にします。 詳細: http://www.tanukisoftware.com/ja/wrapper.php
⑲	ぶらっとホーム株式会社 http://www.plathome.co.jp 「破棄レス」クラウドストレージ CloudStation dSS 大容量研究データの「破棄レス」なアーカイブ運用を実現する、クラウドストレージ「CloudStation dSS」。 マスターノードレス方式を採用で、容量やスループットをリニアに拡張できるほか、異世代モデルを追加接続しての簡単なストレージプール拡張が可能で、長期運用でもシステム入替の発生しない「破棄レス」な大容量アーカイブストレージ環境を実現します。 詳細: http://www.plathome.co.jp/products/server/cloudstation/dss/

査読付き論文について

電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループおよび情報処理学会が共同開催する情報科学技術フォーラム (FIT: Forum on Information Technology) は、2002 年に創設され今回が第 9 回となる日本の情報科学分野最大の学会大会である。査読採択論文は各分野の講演論文集に収録されている。

FIT2010 では、本フォーラムで最も特徴となる FIT 査読付き論文について、情報分野のより一層の活性化を目指すべく、前回と同様の「コンファレンスペーパー」としての査読に加えて、優秀な論文を FIT として電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する「論文誌推薦制度」を継続した。査読はこれまでと同様、各分野に分野責任者を置き、各研究会から推薦された担当委員と協力して、それぞれの分野および研究会で独立に論文査読を行った。

以上の過程を踏まえて、6 月 11 日に、査読会議を開催し、採択論文の決定、船井ベストペーパー賞・FIT 論文賞候補論文候補の決定、論文誌への推薦論文候補を決定し、それに引き続きプログラム編成会議で FIT2010 プログラムを策定した。論文査読を行った各分野の投稿数、採択件数、採択率は次の通りである。

	投稿数	採択件数	採択率
A: モデル・アルゴリズム・プログラミング	16	7	43.8%
B: ソフトウェア	8	2	25.0%
C: ハードウェア・アーキテクチャ	17	12	70.6%
D: データベース	6	4	66.7%
E: 自然言語・音声・音楽	10	4	40.0%
F: 人工知能・ゲーム	23	8	34.8%
G: 生体情報科学	2	1	50.0%
H: 画像認識・メディア理解	-	-	-
I: グラフィクス・画像	22	9	40.9%
J: ヒューマンコミュニケーション&インタラクション	17	11	64.7%
K: 教育工学・福祉工学・マルチメディア応用	13	3	23.1%
L: ネットワーク・セキュリティ	8	6	75.0%
M: ユビキタス・モバイルコンピューティング	21	12	57.1%
N: 教育・人文科学	2	2	100.0%
O: 情報システム	9	7	77.8%
合計	174	88	50.6%

以下の 10 編は、FIT2010 学術賞選定委員会が採択された査読付き論文の中から所定の選定手続きを経て選んだ船井ベストペーパー賞 3 編・FIT 論文賞 7 編である。

船井ベストペーパー賞

- ・環境配慮型データセンタ向け空調連係 IT 負荷配置最適化方式 沖津 潤 (日立) 他
- ・HTML 要素に着目した違法・有害サイト検出手法の提案と評価 池田和史 (KDDI 研) 他
- ・高密度情報化を可能とする QR コード符号化方式について 遠藤祐介 (神戸大) 他

FIT 論文賞

- ・ヘルスケアロボットへのパーソナリティ付与による説得効果 中川佳弥子 (ATR/ 阪大) 他
- ・架空名義操作不可能な施設配置メカニズムの特徴づけ 東藤大樹 (九大) 他
- ・関数呼び出しの分析による頻出学習パターンの導出 谷川絃平 (立命館大) 他
- ・LED Traffic Light Detection Using a High-speed-camera for a Road-to-vehicle Visible Light Communication System Halpage Chinthaka Nuwandika Premachandra (名大) 他
- ・架空名義操作不可能な組合せオークションメカニズム: VCG メカニズムの改良 毛利貴之 (九大) 他
- ・マルチエージェントにより問題空間の分割を行う階層化複素強化学習の検討 山崎惇広 (横浜国大) 他
- ・植生指標の精度とスペクトル再現性を考慮したハイパースペクトル画像符号化 篠田一馬 (東工大) 他

最後になったが、多忙の中、査読プロセスの運営および論文賞候補選考にご尽力頂いた FIT2010 プログラム委員会および FIT2010 学術賞選定委員会の方々、限られた短期間で論文査読の責務を果たして頂いた査読者の方々に深く感謝する。

FIT2010 プログラム委員会
FIT2010 学術賞選定委員会
委員長 村山 優子

一般講演プログラム

A 分野：モデル・アルゴリズム・プログラミング（第1分冊）

[数理モデル化と問題解決 (1)]

- 9月7日(火) 10:00～12:40 1A会場(総合学習プラザ1F 第5講義室) 座長 小林 聡(電通大)
- A-001 マルチコア計算機クラスタ上における段階的一般化法の並列処理○田村慶一・北上 始(広島市大)
- A-002 電荷モデルを利用した競合共進化アルゴリズムによる詰碁の解獲得◎大島 真・山田孝治・遠藤聡志(琉球大)
- A-003 大域的最適化に対する逆正接型トンネリング・アルゴリズムの提案◎田邊雅明・金川明弘・小野孝男・山内 仁(岡山県大)
- A-004 移動体の通過順序付けにおける遺伝的アルゴリズムの交叉法の比較評価◎澤田めぐみ・白石 将・尾崎敦夫・松村寛夫(三菱)
- A-005 照度分布計測システムの構築および知的照明システムにおける照度収束の評価三木光範・◎笠原佳浩・廣安知之・吉見真聡(同志社大)
- A-006 可視光通信による知的照明システムの照度収束の改善三木光範・◎伊藤博高・廣安知之・吉見真聡(同志社大)
- A-007 狭い放射角をもつ照明を用いた知的照明システム三木光範・廣安知之・吉見真聡・◎土井貴俊・谷口由佳(同志社大)
- A-008 照度を個別制御する知的照明システムにおける自動障害検出手法◎加来史也・三木光範・廣安知之・吉見真聡(同志社大)

[数理モデル化と問題解決 (2)]

- 9月7日(火) 13:30～15:30 2A会場(総合学習プラザ1F 第5講義室) 座長 小林 聡(電通大)
- A-009 ランダム行列との比較による株価日中変動の相関行列解析田中美栄子・◎木戸丈剛(鳥取大)
- A-010 ランダム行列の固有値分布との比較による米国株価日次変動のトレンド抽出◎木戸丈剛・田中美栄子(鳥取大)
- A-011 Multi-solution Trend Analysis of Stock Price Change by Textual Inforamtion◎范 薇・渡邊豊英(名大)・朝倉宏一(大同大)
- A-012 製品利用環境を考慮した部品寿命分布による保守部品の需要予測◎宗形 聡・手塚 大・飯塚新司・浦邊信太郎(日立東日本ソリューションズ)
- RA-001 スモールワールドネットワークにおけるストリング形式によるq次の隔たりと一般化クラスタリング係数の考察◎豊田規人(北海道情報大)
- RA-002 線形半無限計画法による通過域平坦阻止域等リプル振幅特性をもつ安定な平坦群遅延 IIR フィルタの最適設計◎松本拓也・陶山健仁(電機大)

[アルゴリズム・コンピューテーション (1)]

- 9月7日(火) 16:00～18:00 3A会場(総合学習プラザ1F 第5講義室) 座長 今堀 慎治(名大)
- A-013 小児感染症：流行現況の早期検出と流行予測のアルゴリズム○長谷川伸作(北海道立衛生研究所)・井上 仁(鳥取大)・陶山昭彦(放射線影響研究所)
- A-014 Balanced (C_5C_{20}) -2t-Foil Decomposition Algorithm of Complete Graphs○Kazuhiko Ushio (Kinki Univ.)
- A-015 Significant Fourier Transform アルゴリズムの実装と評価◎坪 和樹・Thomas Zeugmann(北大)
- A-016 Verifying a Parameterized Border Array in $O(n^2)$ Time◎井 智弘・稲永俊介・坂内英夫・竹田正幸(九大)
- A-017 実環境数値モデルとFDTD並列計算による大規模電磁波シミュレーション○園田 潤・及川貴英・小山田拓司(仙台大)・金澤 靖(豊橋技科大)・佐藤源之(東北大)
- A-018 (講演取消)

[プログラミング]

- 9月8日(水) 11:10～12:30 4A会場(総合学習プラザ1F 第5講義室) 座長 鶴林 尚靖(九大)
- A-019 DirectXを用いた3Dゲーム製作用ライブラリの構築◎望月正弥・鈴木拓也・井上道哉・長澤可也(湘南工科大)
- A-020 実行可視化機能を備えた図形ベースプログラミング学習支援ツール◎平尾太加士・野口健一郎(神奈川大)
- RA-003 日本語らしい日本語プログラムを書くために◎馬場祐人・笥 捷彦(早大)
- A-021 グラフ書換え言語 REGREL における並行グラフ操作クエリの表現◎東 達軌・武田正之(東理大)

[アルゴリズム・コンピューテーション (2)]

- 9月8日(水) 16:00～18:00 5A会場(総合学習プラザ1F 第5講義室) 座長 来嶋 秀治(九大)
- A-022 圧縮された接尾辞配列を用いた近似文字列照合◎田中洋輔・小野廣隆(九大)・定兼邦彦(NII)・山下雅史(九大)
- A-023 接尾辞木に対する二分木化と簡潔データ構造による圧縮◎馬場雅大・小野廣隆(九大)・定兼邦彦(NII)・山下雅史(九大)
- A-024 信頼区間上限の不確実性サンプリングへの応用◎斎藤淳哉・篠原 歩(東北大)
- A-025 非可逆圧縮を用いた類似性指標と画像検索への応用◎坂内恒介・成澤和志・Felix Brodkorb・篠原 歩(東北大)
- RA-004 振幅を制限した無誤り量子計算について◎築地立家(電機大)
- A-026 インターネット上の遊休PCを利用した量子探索シミュレータの開発◎内藤昌彦・築地立家(電機大)

[アルゴリズム・コンピューテーション (3)]

- 9月9日(木) 13:30～16:30 7A会場(総合学習プラザ1F 第5講義室) 座長 堀山 貴史(埼玉大)
- RA-005 Enumerating bottom-left stable positions for rectangles with overlap○Shinji Imahori・Yuyao Chien・Yuma Tanaka・Mutsunori Yagiura (Nagoya University)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。(2010年12月31日時点で32歳以下)

※講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- RA-006 3次元箱詰め問題に対する構築型解法の効率的実現法◎川島大貴・田中勇真・今堀慎治・柳浦睦憲 (名大)
 A-027 Sufficient Condition for Open Rectangle-of-Influence Drawings of Inner Triangulated Plane Graphs
 ○ Kazuyuki Miura・Fumiya Kimura (Fukushima University)
 RA-007 【FIT 論文賞受賞論文】
 架空名義操作不可能な施設配置メカニズムの特徴付け◎東藤大樹・岩崎 敦・横尾 真 (九大)
 A-028 不完全情報渋滞ゲームの近似的ナッシュ遷移の収束性◎山田陽介・来嶋秀治・山下雅史 (九大)
 A-029 通信を考慮したタスクスケジューリング問題の探索解法のための高速化手法
◎宇都宮雅彦・塩田隆二・甲斐宗徳 (成蹊大)
 A-030 摂動を用いた近傍解を記録した評価表に基づく局所探索手法の提案
 ◎成田龍也・ケネス マッキン・永井保夫 (東京情報大)
 A-031 最大利益根付木問題のヒューリスティックアルゴリズム○千葉英史・古林 隆・福馬敏子 (法大)

B 分野：ソフトウェア (第1分冊)

【ソフトウェア工学・デジタルドキュメント】

- 9月7日 (火) 10:00 ~ 12:00 1B 会場 (総合学習プラザ 1F 第6講義室) 座長 野田 夏子 (NEC)
 RB-001 進捗管理のための頭部の動きに着目した集中度判定◎林 利毅・原田史子・島川博光 (立命館大)
 B-001 大規模オンラインシステムの負荷テスト対象業務選定手順○渡名喜元史・遠藤 浩・宮崎肇之 (日立)
 B-002 モデル駆動要求分析におけるエンドユーザの入力制約モデルの導入◎小形真平・松浦佐江子 (芝浦工大)
 B-003 強マイグレーションモバイルエージェントシステム AgentSphere におけるエージェントの活動管理
◎山口大祐・白谷浩次郎・市川 顕・甲斐宗徳 (成蹊大)
 B-004 教材ファイル配布のための P2P 型ソフトウェアの開発◎芦田盛輔・真田博文・竹沢 恵・岡崎哲夫 (北海道工大)
 B-005 電子書籍および電子書籍端末のこれまでの動向と新たな利用シーンの提案◎亀子貴裕・関亜紀子 (日大)

【組込みソフトウェア・テスト】

- 9月7日 (火) 13:30 ~ 15:30 2B 会場 (総合学習プラザ 1F 第6講義室) 座長 沢田 篤史 (南山大)
 RB-002 MARTE プロファイルを適用した UML モデルによる組込みシステムの性能評価シミュレーション
◎河原 亮・小野康一・中田武男・豊田 学・坂本佳史 (日本 IBM)・福岡直明 (京セラミタ)
 B-006 UML MARTE Profile を用いた性能シミュレーション手法の提案○磯田 誠・田村直樹 (三菱)
 B-007 組込みオープンソースソフトウェアの移植工程に対する信頼性評価ツールの開発と性能評価
◎中道 徹・田村慶信 (山口大)・山田 茂 (鳥取大)
 B-008 組込みシステムのオープンソースソフトウェア移植工程に対する信頼性評価のための一般化ハザードレートモデルと適合性評価
◎吉田祐貴・田村慶信 (山口大)・山田 茂 (鳥取大)
 B-009 テスト観点分析によるソフトウェア要求仕様の品質向上
◎石井俊直・細谷泰夫・吉岡克浩・前田融磁・石原 鑑 (三菱)
 B-010 XML によるソースコード表現に基づく統合ソフトウェアテスト支援環境の構築
◎佐々木亮太・末広暁久・芳賀博英 (同志社大)

【パターン・リファクタリング】

- 9月7日 (火) 16:00 ~ 18:00 3B 会場 (総合学習プラザ 1F 第6講義室) 座長 石尾 隆 (阪大)
 B-011 既開発部分の解析によるレイアウト調整済み GUI の生成
 ◎白井盛太郎 (早大)・白銀純子 (東京女子大)・岩田 一 (神奈川工科大)・深澤良彰 (早大)
 B-012 デザインパターン検出のための識別要素の設計◎鶴飼公平・酒井三四郎 (静岡大)
 B-013 YAML を用いた Java プログラムコードのリファクタリングの提案◎菊池大輔・小飼 敬・滝沢陽三 (茨城高専)
 B-014 オブジェクト指向開発における事例ベース推論適用の試み
 ◎斉藤恭彦・吉村 晋 (サレジオ高専)・白鳥則郎 (東北大)
 B-015 フィールドとメソッド間の依存関係に着目したリファクタリング適用箇所抽出方法
◎若林智徳・松浦佐江子 (芝浦工大)
 B-016 クラス図によるクラス図構造検索の評価◎長谷川明史・塚本享治 (東京工科大)

【モデル検査・検証・信頼性】

- 9月8日 (水) 10:00 ~ 12:30 4B 会場 (総合学習プラザ 1F 第6講義室) 座長 高田 喜朗 (高知工科大)
 B-017 時間制約を持つ仕様に対する UML/SysML モデルの動的検査手法
 ○小野康一・河原 亮・中村宏明・石川 浩 (日本 IBM)
 B-018 状態遷移を持つオブジェクト間通信のモデル検査技術◎大貫智洋・上野浩一郎・磯田 誠 (三菱)
 B-019 UML モデルの振舞いのモデル検査における表現方法について◎八鍬 豊・野田夏子 (NEC)
 B-020 UML 記述の仕様から SPIN モデル検査用 PROMELA モデルへの自動変換◎宮本直樹・和崎克己 (信州大)
 B-021 Happened-before 関係による非分散マルチタスクプログラムに対する排他制御機構デッドロックの定義
◎土江晋哉・大森 晃 (東理大)
 B-022 ソースコード解析を利用したモデル検査に基づく欠陥抽出手法による組込みシステムの検証
 ○Yoshitaka Aoki・Saeko Matsuura (芝浦工大)
 B-023 Software Reliability Measurement with Effect of Change-Point by Using Environmental Function
◎井上真二・山田 茂 (鳥取大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。(2010年12月31日時点で32歳以下)

※講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

[ハイパフォーマンスコンピューティング]

- 9月8日(水) 16:00～17:40 5B会場(総合学習プラザ1F 第6講義室) 座長 西田 晃(九大)
- B-024 M&Sの準リアルタイム実行方式の検討○尾崎敦夫・渡部修介・白石 将(三菱)
- B-025 評価関数の精度による階層的挟み撃ち探索の性能評価○中村あすか・富永浩文・前川仁孝(千葉工大)
- B-026 ローカルメモリを越える大容量データを扱う逐次処理のためのCコンパイラ
.....○吉村 礎・緑川博子・甲斐宗徳(成蹊大)
- B-027 CPUとGPUの協調による組合せ最適化アルゴリズムの並列実装に関する研究○渡部晴人・加藤 聡(松江高専)
- B-028 ストリーミングSIMD拡張命令を用いた電子回路シミュレータSPICE3の高速化
.....○篠塚研太・中村あすか・富永浩文・前川仁孝(千葉工大)
-

[仮想化技術・セキュリティ]

- 9月9日(木) 10:00～11:40 6B会場(総合学習プラザ1F 第6講義室) 座長 乃村 能成(岡山大)
- B-029 ハイバイザによる広告表示○大山恵弘(電通大)
- B-030 複数仮想計算機環境におけるI/Oスケジューラの動作と性能に関する考察○新居健一・山口実靖(工学院大)
- B-031 ライブマイグレーション仮想計算機の性能に関する考察○久野陽介・山口実靖(工学院大)
- B-032 I/O処理の動作を考慮した仮想計算機メモリ割当量に関する考察○渡邊有貴・山口実靖(工学院大)
- B-033 組込みOS用暗号化ロードモジュール機能及びセキュアファイルサーバの試作○望月祐希・野口健一郎(神奈川大)
-

[OS構成法]

- 9月9日(木) 13:30～15:10 7B会場(総合学習プラザ1F 第6講義室) 座長 大山 恵弘(電通大)
- B-034 マルチプロセッサ向け先読み同期プロトコル○石川洋輔・山崎信行(慶大)
- B-035 PCサーバ用Linuxのリアルタイム性能評価○金城 聖・鶴 薫・飯塚 剛(三菱)
- B-036 Kexecによるコア別Linuxカーネルの起動方式○中原大貴・乃村能成・谷口秀夫(岡山大)
- B-037 マルチコアプロセッサにおいて複数のLinuxカーネルを走行させる方式の設計
.....○千崎良太・乃村能成・谷口秀夫(岡山大)
- B-038 周期実行制御における超過処理防止法の実現方式○古川友樹・山内利宏・谷口秀夫(岡山大)
-

C分野：ハードウェア・アーキテクチャ(第1分冊)

[設計技術と再構成可能システム]

- 9月8日(水) 10:00～12:30 4Q会場(ウエスト2号館3F 第5講義室) 座長 吉田 浩章(東大)
- RC-001 論理合成における面積・遅延最適化のためのフォールスバスの活用について
.....○三上雄大・吉川祐樹・市原英行・井上智生(広島市大)
- C-001 ブロックベース設計を用いた統合環境による効率的なハードウェア開発手法の評価○松田昭信・石原 亨(九大)
- C-002 上位ハードウェア設計言語Melasy+によるVHDLコード生成と動作検証○白鳥航亮・和崎克己(信州大)
- RC-002 A Novel Low Power FPGA Architecture○李 策(早大)
- C-003 (講演取消)
- RC-003 高速なテキスト検索のための近似正規表現マッチングアルゴリズムとそのFPGA実装
.....○宇丹裕一郎・若林真一・永山 忍(広島市大)
- C-004 Camellia暗号回路の鍵固定によるハードウェア特殊化
.....○松岡俊佑(旭川高専)・日野善規(中部電力)・市川周一(豊橋技科大)
-

[並列システムと応用]

- 9月7日(火) 10:00～12:30 1R会場(ウエスト2号館3F 第6講義室) 座長 柴田裕一郎(長崎大)
- C-005 NoCにおける動的仮想チャネル分割によるQoSの実現とその評価
.....○伊藤雄太・チュオンソン グェン・小柳 滋(立命館大)
- C-006 (講演取消)
- C-007 多値1色符号に基づく非同期通信方式とそのネットワークオンチップへの応用
.....○松本 敦・鬼沢直哉・羽生貴弘(東北大)
- C-008 InfiniBandネットワークを用いた並列処理装置のリアルタイム性向上
.....○桜井祐市・鳥羽忠信・平 重喜・伊藤建志(日立)・
安本英樹・鈴木康祐・飯泉 謙(日立ハイテクノロジーズ)
- RC-004 インタラクティブシミュレーションへの応用を前提としたマルチコアプロセッサ上でのSMW公式を用いた高速並行列計算
.....○岩永翔太郎・福岡慎治・森真一郎(福井大)
- C-009 シングルCUDA互換GPUを用いたFDTD法の計算高速化
.....○高田直樹(湘北短大)・下馬場朋禄・増田信之・伊藤智義(千葉大)
- C-010 SAGAによるグリッドアプリケーションとその性能評価
.....○河井 裕・岩井 剛・佐々木節・渡瀬芳行(高エネルギー加速器研)
-

[プロセッサ・アーキテクチャ]

- 9月7日(火) 13:30～15:30 2R会場(ウエスト2号館3F 第6講義室) 座長 甲斐 康司(パナソニック)
- C-011 スーパースカラプロセッサにおけるALU chainingとロード値予測を併用したデータ依存の軽減手法
.....○市野 慧・上田和哉・小柳 滋(立命館大)
- C-012 Control Independenceアーキテクチャに適した分岐合流点の動的予測手法
.....○西川直樹・孟 林・小柳 滋(立命館大)
- RC-005 スレッドレベル並列化のためのスレッド間依存関係の分類
.....○森田清隆・布目 淳・平田博章・柴山 潔(京都工繊大)
-

- RC-006 マシン命令レベルでのプログラム実行モニタリングによる手続き呼び出し関係の正確な検知方式
.....○平田博章・山田 徹・布目 淳・柴山 潔 (京都工繊大)
- RC-007 プログラム保護を行なうプロセッサの保護能力評価と改良◎松田稔彦・山下純一・北村俊明 (広島市大)
- C-013 システム LSI の試作に活用できる MIPS-I 互換オープンソフトコアプロセッサ○山脇 彰・芹川聖一 (九工大)

[コンピュータシステム]

- 9月7日(火) 16:00～18:00 3R会場(ウエスト2号館3F 第6講義室) 座長 久我 守弘(熊本大)
- RC-008 環境配慮型データセンタ向けIT連係空調最適化制御方式○朝 康博・中島忠克・沖津 潤・
加藤 猛・齊藤達也(日立)・頭島康博(日立プラントテクノロジー)
- RC-009 【船井ベストペーパー賞受賞論文】
環境配慮型データセンタ向け空調連係IT負荷配置最適化方式
.....○沖津 潤・平島陽子・朝 康博・加藤 猛・齊藤達也(日立)
- C-014 データベース参照のスケジューリングによる電子商取引サイトの最適化
.....◎赤坂謙二郎・布目 淳・平田博章・柴山 潔 (京都工繊大)
- C-015 風デザインシステムの開発○神谷佳祐・白杵 深・三浦憲二郎(静岡大)
- C-016 ペイズ情報量規準に基づくK-Meansクラスタリングのためのアーキテクチャ
.....◎Tse-Wei Chen (名大)・Chih-Hao Sun・Hsiao-Hang Su・
Shao-Yi Chien (National Taiwan University)・出口大輔・井手一郎・村瀬 洋(名大)
- C-017 ホログラフィを用いた三次元流速計測専用計算システム○増田信之・伊藤智義(千葉大)・佐竹信一(東理大)・
功刀資彰(京大)・佐藤一穂(豊田自動織機)

[ディベンダブルシステム]

- 9月8日(水) 10:00～12:30 4R会場(ウエスト2号館3F 第6講義室) 座長 梶原 誠司(九工大)
- RC-010 組込み自己テストにおける救済可能テスト生成器
.....◎志水 昂・深沢祐樹・吉川祐樹・市原英行・井上智生(広島市大)
- C-018 n-フォールトトレラントシステムの提案○岩井仁司(所属なし)
- C-019 ソフトウェアによる制御システム向けFault Tolerant Computerの提案
.....○大島 訓・青木英雄・関山友輝・吉田雅徳・長井昭裕・大平崇博(日立)
- C-020 ソフトウェアによる制御用FTCの実現に向けたオペレーティングシステム同期機能の開発
.....◎関山友輝・吉田雅徳・大島 訓・大平崇博(日立)
- C-021 フォールトトレラントコンピュータにおける計算機再組込みのためのメモリ再同期手法
.....◎吉田雅徳・関山友輝・大島 訓・大平崇博(日立)
- C-022 工業製品自動検査用フェイルセーフシステムの開発◎佐藤俊幸(岩手県大)・寒川陽美・大和田功(イグノス)・
高木正則・山田敬三・佐々木淳(岩手県大)
- C-023 投機的ビザンチナルアルゴリズムのP2Pシステムへの適用◎松本祐亮・小林 洋(東海大)

[組込みシステム]

- 9月8日(水) 16:00～18:00 5R会場(ウエスト2号館3F 第6講義室) 座長 沢田 篤史(南山大)
- RC-011 仮想キューによるRTOSのハードウェア化○丸山修孝(カーネロンシリコン)・石原 亨・安浦寛人(九大)
- C-024 組込みシステムのソフトウェア障害予兆検出に適した挙動情報収集手法の検討○長野岳彦・亀山達也(日立)
- RC-012 システム同定による倒立二輪ロボットの制御設計○佐藤宏明・佐藤幸太・恒川佳隆・長田 洋・本間尚樹(岩手大)
- C-025 Ethernetを利用した、IDタグ情報収集システムの検討◎後藤建二・佐々木宏幸・松田勝敬(東北工大)
- C-026 携帯端末とネットワーク上計算資源の協調によるカメラセンサアプリ高速化の検討
.....◎高橋信宏・入江英嗣・吉永 努・寺西良太・清水裕基(電通大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。(2010年12月31日時点で32歳以下)

※講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

D 分野：データベース（第2分冊）

【広告・推薦と動画利用】

- 9月7日（火） 10:00～12:30 1Q 会場（ウエスト2号館3F 第5講義室） 座長 岩井原瑞穂（早大）
- D-001 個人の性格データに応じたアニメーション表現を伴った Web バナー広告生成システムの提案
.....◎浦野圭一郎・坂本美佳・鷹野孝典（神奈川工科大）
- D-002 スポンサーサーチにおける近似辞書検索アルゴリズム◎潘 献宇・福岡正教・成 凱（九産大）
- D-003 個別広告提供のための精緻化見込みモデルに基づいた広告メッセージの決定
.....◎小河真之・原田史子・島川博光（立命館大）
- D-004 衣服購入時の色とアイテムに基づくコーディネート提示◎吉井美幸・小河真之・原田史子・島川博光（立命館大）
- D-005 口コミ情報の価値に対する時間的指標の表現方法とその評価◎高田秀志・久高 健（立命館大）
- D-006 ブログへの自動画像付与のためのソーシャル Annotations の有用性の検証
.....◎今野智明・明堂絵美・高木幸一・川田亮一（KDDI 研）
- D-007 モバイル環境における隙間時間視聴に適した動画ニュース番組の自動構成◎松藤淳一・藤村直美・牛尾剛聡（九大）

【検索とアルゴリズム検証】

- 9月7日（火） 13:30～15:30 2Q 会場（ウエスト2号館3F 第5講義室） 座長 石川 佳治（名大）
- D-008 類似検索の高速化を目的とした Pivot 選択手法の実験評価
.....◎倉沢 央（東大）・深川大路（同志社大）・高須淳宏・安達 淳（NII）
- D-009 ZDD を用いた頻出ボタン演算による Web テキストデータからの知識発見とその評価
.....◎岡崎佑太・湊 真一（北大）
- D-010 （講演取消）
- D-011 数式とその周辺情報を利用した数式概念検索の実現
.....◎横井啓介（東大）・Minh NGHIEM（総研大）・松林優一郎・相澤彰子（NII）
- D-012 ランダムウォークによるグラフデータのサンプリング手法◎仲前晋太郎・中村三四郎・成 凱（九産大）
- D-013 TRIZ と生き方における対立物の構造と根源的網羅思考◎高原利生（所属なし）

【プライバシーと健全性確保】

- 9月7日（火） 16:00～18:00 3Q 会場（ウエスト2号館3F 第5講義室） 座長 有次 正義（熊本大）
- RD-001 語の共起情報に基づく有害サイトフィルタリング手法◎菊池琢弥・内海 彰（電通大）
- RD-002 【船井ベストペーパー賞受賞論文】
HTML 要素に着目した違法・有害サイト検出手法の提案と評価
.....◎池田和史・柳原 正・松本一則・滝嶋康弘（KDDI 研）
- D-016 オンラインディスカッションの健全度定量化手法の提案◎武吉朋也・帆足啓一郎・松本一則・滝嶋康弘（KDDI 研）
- D-017 ソーシャルネットワークサービスにおけるプライバシー設定の収集と集約◎宗政俊一・岩井原瑞穂（早大）
- D-018 Evaluating Risks for Card-style Identity Management◎丁 嘯塵・岩井原瑞穂（University of Waseda）
- D-019 位置情報サービスのためのプライバシーを考慮した匿名化処理について◎眞野将徳・石川佳治（名大）

【実世界データ処理】

- 9月9日（木） 10:00～12:30 6Q 会場（ウエスト2号館3F 第5講義室） 座長 山口 実靖（工学院大）
- D-020 斜面防災システムにおけるセンサのカテゴリ分けを用いた運用コストの削減
.....◎加藤和弥・原田史子・島川博光（立命館大）
- D-021 斜面防災のための基準値変動を考慮したセンサ値の飽和領域抽出◎中小路公通・島川博光・原田史子（立命館大）
- D-022 センサデータのための分散サンプリングストレージとそのサンプルサイズ制御手法
.....◎佐藤浩史・井上 武・山崎敬広・片山陽平・清水敬司（NTT）・小柳恵一（早大）
- D-023 データベースによって制御される協調エージェントを用いた実空間状況獲得手法◎金子祥貴・富井尚志（横浜国大）
- D-024 スマートグリッド環境における電力コスト最適化のための生活スケジュールの提示
.....◎中西晴紀・中小路公通・原田史子・島川博光（立命館大）
- D-025 閲覧用カードに対する仮想マッピングを利用した携帯電話用コンテンツ閲覧インタフェースの評価
.....◎山下大二・金 大雄・牛尾剛聡（九大）
- D-026 携帯電話検索ログデータに基づく行動特性の分析
.....◎鎌形 孟・徳永幸生（芝浦工大）・杉山 精（東京工芸大）・貝谷實榮・木村義彦（エフルート）

【クラウドとデータ統合】

- 9月9日（木） 13:30～16:30 7Q 会場（ウエスト2号館3F 第5講義室） 座長 成 凱（九産大）
- D-027 小規模サイトにおける情報推薦を目的としたデータ統合手法◎清水伸晋・奥野 拓（はこだて未来大）
- D-028 異種分散情報源の統合による書籍情報の統括的検索の実現◎金子 護・成 凱（九産大）
- D-029 相関値差分比較方式によるマッピングモデル Split 判定◎細田聖人・楓 仁志・高山茂伸・菅野幹人（三菱）
- D-030 オンメモリ型ストレージ間データマイグレーションの負荷に関する考察◎小山芳樹・山口実靖（工学院大）
- D-031 Preserving Integrity and Confidentiality of a Directed Acyclic Graph Model of Provenance
.....◎ Amril Syalim・Takashi Nishide・Kouichi Sakurai（Kyushu University）
- D-032 MapReduce による大規模データ解析環境の構築と評価◎村上 卓・和泉信生（崇城大）
- D-033 データ解析におけるクラウド基盤 Hadoop の利用
.....◎大石哲也（九大）・橋本 司（大亜電子）・越村三幸・藤田 博・長谷川隆三（九大）
- D-034 大規模空間情報処理のための分散コンピューティング基盤に関する検討◎横山拓也・石川佳治（名大）

【情報抽出と情報検索】

- 9月9日(木) 10:00～12:30 6R会場(ウエスト2号館3F 第6講義室) 座長 堀 幸雄(香川大)
- D-035 クエリログから抽出した関連語集合を用いたウェブページ検索
.....◎藤田ナオキ・高橋大和・宮原伸二・片岡典史・片岡良治(NTT)
- D-036 テレビ番組放送内容に連動した Web 情報選択手法の提案
.....◎中澤昌美・帆足啓一郎・松本一則・滝嶋康弘(KDDI 研)
- D-037 形式概念を用いた倒産情報の分析システム馬場隆寛・呉 小斌・○中藤哲也・廣川佐千男(九大)
- D-038 技術文書からの数値属性の抽出○小林義行(日立)
- D-039 KeyFlow: Viewpoint Extraction based on Word Frequency and Dependency Relations
.....◎YanTing Li・Kai Cheng(Kyushu Shangyo University)
- RD-003 コミュニティ QA における良質な回答の選定タスク: 評価方法に関する考察
.....酒井哲也(Microsoft Research Asia)・石川大介(NII)・○栗山和子(白百合女子大)・関 洋平(筑波大)・神門典子(NII)
- D-041 適合性と具体性を考慮したキーワードのランキング◎吉田大我・入江 豪・佐藤 隆・小島 明(NTT)

【ソーシャルデータ利用】

- 9月9日(木) 13:30～16:30 7R会場(ウエスト2号館3F 第6講義室) 座長 帆足啓一郎(KDDI 研)
- D-042 影響伝播に基づく投稿型コンテンツのランキング手法と評価◎金子鷹弥・藤村直美・牛尾剛聡(九大)
- D-043 ソーシャルブックマークにおける方向性を持った推薦システムの提案○中根慶恵・山田剛一・絹川博之(電機大)
- RD-004 Web ページへのタグ付けによる類似ユーザ群を利用した意味情報の抽出
.....◎伊藤真也・小河真之・原田史子・島川博光(立命館大)
- D-045 Real-Time Support Rate Estimation Based on Social Sensors◎シュン コウ・岩井原瑞穂(University of Waseda)
- D-046 (講演取消)
- D-047 あしあど記録を用いたウェブコンテンツ探索知識の再活用と共有
.....◎田村美帆・佐藤慶三・中島 誠・伊藤哲郎(大分大)
- D-048 (講演取消)

E 分野：自然言語・音声・音楽(第2分冊)

【音声・音響処理】

- 9月9日(木) 13:30～15:30 7F会場(総合学習プラザ1F 第10講義室) 座長 小川 哲司(早大)
- E-001 音響エコーキャンセラにおける変動忘却係数を用いた ECLMS アルゴリズム
.....◎名取隆廣・田畑雅崇・田邊 造(諏訪東理大)・古川利博(東理大)
- RE-001 遅延とアレー法を用いた複数移動音源追尾の性能改善◎押田賢浩・大和田昇・陶山健仁(電機大)
- RE-002 音声の局在時間を考慮した複数音源定位◎前田隼一朗・染谷貴徳・陶山健仁(電機大)
- E-002 高フロアリング係数を用いた反復スペクトルサブトラクションによるミュージカルノイズの低減の検討
.....◎福森隆寛・森勢将雅・西浦敬信(立命館大)・南條浩輝(龍谷大)
- E-003 擬音語 HMM に基づく音場ディクテーションシステムの評価
.....◎林田亘平・溝口 遊・小川純平・森勢将雅・西浦敬信・山下洋一(立命館大)
- E-004 母音合成のための手の動きを利用した声道形状設定ツールの開発◎松村洗平・緒方公一(熊本大)

【言語解析】

- 9月7日(火) 10:00～12:30 1G会場(総合学習プラザ1F 第11講義室) 座長 佐藤 理史(名大)
- E-005 共起頻度を用いた略語の自動推定◎三輪貴大・大工廻史裕・浦谷則好(東京工芸大)
- E-006 Using Feature Selection with Support Vector Machines for Japanese Word Segmentation
.....◎柳原 正・池田和史・松本一則・滝嶋康弘(KDDI 研)
- E-007 A Rule-based Approach for Khmer Word Extraction◎Channa Van・Wataru Kameyama(早大)
- E-008 Web における単語出現分布情報を用いた名詞のカテゴリ推定◎宮村祐一・清水勇詞・鈴木 優(東芝)
- E-009 自然言語からの属性情報を考慮したオブジェクト抽出手法に関する検討
.....◎渡邊裕一・服部 哲・西村広光・速水治夫(神奈川工科大)
- E-010 クラスタリングを利用した評価文のアスペクト推定◎波多野匡・嶋田和孝・遠藤 勉(九工大)
- E-011 物語の中の文における感情分類手法◎吹越弘崇・杉本富利(東洋大)

【音声言語処理】

- 9月7日(火) 13:30～14:50 2G会場(総合学習プラザ1F 第11講義室) 座長 菊池 英明(早大)
- E-012 音声ウェブシステムを用いて収集した実環境子供発話に関する調査
.....◎栗原理沙・西村竜一・宮森翔子・河原英紀・入野俊夫(和歌山大)
- E-013 音声ドキュメント検索における分割したドキュメントを用いる Web 収集の効果
.....◎杉本樹世貴・西崎博光・関口芳廣(山梨大)
- E-014 誤認識を含む音声認識テキストからの連想検索によるキーワード抽出の検討○前岡 淳・木村淳一(日立)
- E-015 発話文における意図識別に有効な音響特徴の検討◎伊藤大介・酒向慎司・北村 正(名工大)

【音楽情報科学(1)】

- 9月7日(火) 16:00～18:00 3G会場(総合学習プラザ1F 第11講義室) 座長 矢向 正人(九大)
- E-016 (講演取消)
- E-017 独立成分分析を用いた楽曲ジャンル分類◎松田拓也・六井 淳(島根大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。(2010年12月31日時点で32歳以下)

※講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- E-018 カオスニューラルネットワークを応用した自動リズム生成システム
.....◎杉井ひかり・石亀昌明・伊藤慶明・小嶋和徳（岩手県大）
- E-019 心拍数を使った音楽検索システム
.....◎荻野 正（三菱電機インフォメーションテクノロジー）・中村智史・野地 保（東海大）
- E-020 心拍数を用いる音楽療法向け検索システムの構築
.....◎荻野 正（三菱電機インフォメーションテクノロジー）・児山佳大・野地 保（東海大）
- E-021 ピアノ演奏自動評価支援のための音違い検出手法◎山田和広・中平勝子（長岡技科大）

[言語分析・リソース]

- 9月8日（水） 10:00～12:30 4G会場（総合学習プラザ1F 第11講義室） 座長 井ノ上直己（NICT）
- E-022 死因究明におけるテキストマイニングの活用に関する研究◎谷藤隆信・山村麻理子・津田和彦（筑波大）
- E-023 テキストマイニングを用いたサッカー勝敗分析記事からの評判分析◎平野裕作・蜂谷和士・橋本和夫（東北大）
- E-024 Twitter 上で行われる議論要約のための、文脈を表現する指標構築のための検討
.....◎与儀涼子・當間愛晃・赤嶺有平・山田孝治・遠藤聡志（琉球大）
- RE-003 「意外や意外」回文だー文章中に知られざる回文はあるか◎佐藤理史（名大）
- E-025 合意形成を導くファシリテーション機能拡張のための議論コーパス作成支援システム
.....◎高崎 隼・Tatiana Zidrsco・白松 俊・大冨忠親・新谷虎松（名工大）
- E-026 Difficulties and Solutions of Sogd, Manichaean, Uyghur (SMU) Character-code implementation and developing
.....◎ウスマン ウメルジアン（Nagaoka University of Technology）
- E-027 幼児の日常生活を収録したビデオデータの分析と名詞概念獲得システム SINCA の評価
.....◎内田ゆず（青学大）・荒木健治（北大）

[音楽情報科学 (2)]

- 9月8日（水） 16:00～18:00 5G会場（総合学習プラザ1F 第11講義室） 座長 帆足啓一郎（KDDI 研）
- E-028 A System for the OMR of Ancient Musical Manuscripts◎Carolina Ramirez・Jun Ohya（Waseda University）
- E-029 状態共有型 HMM に基づく音楽音響信号からの自動和音認識の検討◎伊藤 綾・酒向慎司・北村 正（名工大）
- E-030 Doubly Nested Circle of Fifths を用いた和音認識の特性改善◎植村あい子・甲藤二郎（早大）
- E-031 DP マッチングを用いた演奏の現在位置解析手法の提案◎赤本仁史・武田正之（東理大）
- E-032 歌詞の構造に基づく楽曲の繰り返し区間推定◎大野将樹（電通大）・小川卓人
- E-033 音楽のムード分類結果を利用したホームビデオへの自動 BGM 付与・同期手法
.....◎小野佑大（早大）・石先広海・帆足啓一郎・滝嶋康弘（KDDI 研）・甲藤二郎（早大）

[情報抽出・検索]

- 9月9日（木） 10:00～12:30 6G会場（総合学習プラザ1F 第11講義室） 座長 嶋田 和孝（九工大）
- E-034 概念辞書を利用した日本語テキストのエンティティ間の意味役割分類◎井口宜久・石塚 満（東大）
- E-035 係り受け関係を利用した一般新聞記事を子供向けに言い換える知識の抽出◎藤沢祐輔・安藤一秋（香川大）
- E-036 表現の特徴に着目したインシデントレポートからの知識抽出◎寺井政文・原田史子・島川博光（立命館大）
- E-037 Wikipedia 出典・脚注情報の媒体分類の自動付与◎北村大樹・山田剛一・絹川博之（電機大）
- E-038 文書構造を考慮した近接度スコアを用いた文書検索結果ランキング方式◎鈴木克典・湯川高志（長岡技科大）・戸田浩之（NTT コミュニケーションズ）・数原良彦・片岡良治（NTT）
- E-039 ユーザの要望に対する Web 探索型推薦システム◎稲井 聡（同志社大）
- E-040 Wikipedia 翻訳のための多言語議論の支援◎石田憲幸・高崎俊之・石松昌展・石田 亨（京大）

[言語処理アプリケーション]

- 9月9日（木） 13:30～16:30 7G会場（総合学習プラザ1F 第11講義室） 座長 松本 一則（KDDI 研）
- E-041 携帯電話での文字入力における誤り自動訂正手法の性能評価
.....◎菊地直樹・松原雅文・Goutam Chakraborty・馬淵浩司（岩手県大）
- E-042 符号誤り訂正を用いた携帯端末向け日本語入力手法の有効性について
.....◎鈴木悟史・松原雅文・Chakraborty Goutam・馬淵浩司（岩手県大）
- RE-004 文章構造解析に基づく小論文の論理性についての自動採点◎藤田 彬・田村直良（横浜国大）
- E-043 インターネット動画コンテンツへのテレビジョンの自動付与◎水岡良彰・鈴木 優（東芝）
- E-044 ソーシャルブックマークにおけるコメントの分類方式◎高田 彰・山田剛一・絹川博之（電機大）
- E-045 同一事象に対する異新聞社記事間の類似点・相違点の検出◎三橋靖大・山田剛一・絹川博之（電機大）
- E-046 ニュース記事の国別クラスターの作成と多国間対応◎吉野太郎・斉藤雄介・山田剛一・絹川博之（電機大）
- E-047 特許書類の可視化とハイパーテキスト化◎高木慎也・新森昭宏（インテックスシステム研究所）

F 分野：人工知能・ゲーム（第2分冊）

[Web インテリジェンス]

- 9月7日（火） 10:00～12:20 1N会場（ウエスト2号館3F 大講義室） 座長 大須賀昭彦（電通大）
- F-001 ソーシャルブックマーク分析のユーザへの影響と先行性による解決◎太田飛鳥・松澤智史・武田正之（東理大）
- F-002 共感度検索のための動画アノテーション分析◎村上直至・伊東栄典（九大）
- F-003 意外性ある推薦のための非有益性に基づく情報フィルタリング
.....◎近藤 司・伊藤真也・原田史子・島川博光（立命館大）
- F-004 タグによる嗜好抽出を用いた観光イベント推薦システムの提案
.....◎吉田耕陽・遠藤聡志・當間愛晃・赤嶺有平・山田孝治（琉球大）

- F-005 サーバ所在区分別で見た Web グラフ構造の分析～outdegree 成長図の利用～
.....◎難波弘行・中平勝子・三上喜貴（長岡技科大）
- F-006 日本十進分類法と Wikipedia のカテゴリを用いた蔵書検索クエリの拡張：蔵書検索結果を用いた語彙構造化
.....◎本間 維・永森光晴・杉本重雄（筑波大）
- F-007 編集距離を組み込んだ Wrapper による Web からの情報抽出◎坪島恭平・大和田勇人（東理大）

[エージェント]

- 9月7日（火） 13:30～15:30 2N会場（ウエスト2号館3F 大講義室） 座長 福田 直樹（静岡大）
- F-008 発展型エージェントシステムのための監視アーキテクチャの設計◎金子智哉・打矢隆弘・内匠 逸（名工大）
- F-009 エージェントリポジトリを用いた異種エージェント組織化手法◎中島悠太・打矢隆弘・内匠 逸（名工大）
- F-010 ユビキタス環境用帰還型エージェントフレームワークの設計◎伊藤翔太・打矢隆弘・内匠 逸（名工大）
- F-011 DASH-JADE 間におけるエージェント相互運用機構の開発◎奥村文雄・打矢隆弘・内匠 逸（名工大）
- F-012 粗視化を用いない Profit Sharing による強化学習の効率化◎細井健輔・松井丈弥・能登正人（神奈川大）
- F-013 ABLA におけるノード情報伝達に基づくモバイルエージェントの移動先決定方式◎野地脩宏・加藤貴司・Bhed Bahadur Bista・高田豊雄（岩手県大）

[知識処理・自然言語処理]

- 9月7日（火） 16:00～18:00 3N会場（ウエスト2号館3F 大講義室） 座長 太田 唯子（富士通研）
- RF-001 親から子への語りかけによる言語の学習モデル◎古川直彦・鈴木輝彦・太原育夫（東理大）
- F-014 無意識的引き込み模倣により母音を獲得する模倣学習モデル◎大段智広・鈴木輝彦・太原育夫（東理大）
- F-015 要求文からの意図推測による道具連想システムの構築◎柴山拓也・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
- F-016 （講演取消）
- F-017 演繹・帰納・発想のメカニズムを利用した雑談型の自由対話システム◎高柳俊祐・久野由隆・石川 勉（拓大）
- F-018 造語に特化した固有表現抽出◎荒井 徹・大和田勇人（東理大）

[人工知能一般]

- 9月8日（水） 10:00～12:00 4N会場（ウエスト2号館3F 大講義室） 座長 松原 繁夫（京大）
- RF-002 【FIT 論文賞受賞論文】
架空名義操作不可能な組合せオークションメカニズム：VCG メカニズムの改良
.....◎毛利貴之・東藤大樹・岩崎 敦・横尾 真（九大）
- F-019 BOINC による SAT ソルバーの並列実行◎力 規晃（徳山高専）・越村三幸・藤田 博・長谷川隆三（九大）
- F-020 （講演取消）
- F-021 基数制約を用いた MaxSAT ソルバーの試作◎張 形・越村三幸・藤田 博・長谷川隆三（九大）
- F-022 人間関係を利用した誤送信メール防止システムの試作◎辻野友孝・白松 俊・大園忠親・新谷虎松（名工大）
- F-023 制約充足問題のためのランク付け機能を有する ACO の局所探索による解候補育成
.....◎早川大貴・水野一徳・佐々木整（拓大）・西原清一（筑波大）・小野智司（鹿児島大）

[学習]

- 9月8日（水） 16:00～18:00 5N会場（ウエスト2号館3F 大講義室） 座長 横尾 真（九大）
- RF-003 将棋における評価関数自動生成の高速化◎久保亮介・六沢一昭（千葉工大）
- RF-004 【FIT 論文賞受賞論文】
マルチエージェントにより問題空間の分割を行う階層化複素強化学習の検討◎山崎惇広・濱上知樹（横浜国大）
- F-024 ベイジアンネットワークを表現する ZDD からの高速計算プログラムの自動生成とその評価
.....◎高橋 渉・湊 真一（北大）
- F-025 （講演取消）
- F-026 Swing による視覚化を利用した肝細胞癌再発予測支援◎中田和宏・大和田勇人（東理大）
- F-027 （講演取消）

[知能システムとゲーム情報学]

- 9月9日（木） 10:00～12:00 6N会場（ウエスト2号館3F 大講義室） 座長 中村 貞吾（九工大）
- F-028 GPU を用いた見通し判定の高精度化方法について◎倉本健介（防衛省技術研究本部）
- F-029 自己組織化マップを用いた動径基底関数ネットワークの性能評価
.....◎山下和彦・Goutam Chakraborty・馬淵浩司・松原雅文（岩手県大）
- F-030 新しい時系列データクエリの記述方法をもちいた知識発見◎杉村 博・松本一教（神奈川工科大）
- F-031 複雑ネットワークの特徴量に基づく Hex ゲーム戦略の解析◎本庄将也・鈴木育男・山本雅人・古川正志（北大）
- F-032 対戦型ビデオゲーム用ゲーム AI におけるチューリングテストの有効性検証
.....◎安武 諒・山口嵩志・ケネス マッキン・永井保夫（東京情報大）
- F-033 Interactive Music: Teaching People Guitar Through Gaming Software
.....◎John Del Gaizo・大谷 淳（Waseda University）

[情報論的学習理論と機械学習]

- 9月9日（木） 13:30～16:30 7N会場（ウエスト2号館3F 大講義室） 座長 川喜田雅則（九大）
- F-034 コルモゴロフ複雑性を用いた MIDI ファイルのマイニングの実装◎川須一生・Zeugmann Thomas（北大）
- F-035 Detecting Natural Similarities in Scientific Documents - Author versus Content
.....◎宇野友洋・Thomas Zeugmann（北大）
- F-036 Online Rank Aggregation◎安武翔太・畑楚晃平・瀧本英二・竹田正幸（九大）
- F-037 Sparse Substring Pattern Set Discovery using Linear Programming Boosting
.....◎櫻原和昭・畑楚晃平・坂内英夫・竹田正幸（九大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）

※著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。（2010年12月31日時点で32歳以下）

※講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

【ユビキタス】

- 9月7日(火) 10:00～12:20 1P会場(ウエスト2号館3F 第4講義室) 座長 峯 恒憲(九大)
- F-038 センサネットワークにおける隣接関係の推定◎渡辺友太(早大)・栗原 聡(阪大)・菅原俊治(早大)
- F-039 行動情報に基づく広告価値マップ分析◎小池亜弥・白井康之(三菱総研)
- F-040 Vehicle-borne Pedestrian Detection by Fusing Horizontal Laser Data and Video Images
..... ◎Quanshi Zhang (University of Tokyo)・Huijing Zhao (Peking University)・
Xiaowei Shao・Ryosuke Shibasaki (University of Tokyo)・Hongbin Zha (Peking University)
- F-041 ロボカップレスキューにおけるエージェント間協調のためのグループ形成手法
.....◎呉 珊・松井文弥・能登正人(神奈川大)
- F-042 (講演取消)
- F-043 マルチエージェント避難シミュレータを用いた最適誘導灯配置法の検討◎辻 優介・尾崎昭剛・原尾政輝(崇城大)
- F-044 銘柄の特徴に基づく指標の重み付けを用いた自動株式取引システム◎大石正志・尾崎昭剛・原尾政輝(崇城大)

【群知能・GA】

- 9月7日(火) 13:30～15:30 2P会場(ウエスト2号館3F 第4講義室) 座長 藤田 茂(千葉工大)
- F-045 多様性維持を目的としたParticle Swarm Optimizationの改良◎松井文弥・能登正人(神奈川大)
- RF-005 二倍体遺伝的アルゴリズムにおけるネットワーク荷重の学習◎齊藤竜矩・濱上知樹(横浜国大)
- F-046 コストの変動する重み付きグラフにおけるヒューリスティック経路探索手法の評価
..... ◎島影秀征・山口崇志・ケネス マッキン・永井保夫(東京情報大)
- F-047 PDGAにおける階層コーン型トポロジの探索空間拡大に伴う探索性能の影響に関する考察
.....◎今 康德・小嶋和徳・伊藤慶明・石亀昌明(岩手県大)
- F-048 フェロモン調節によるACOアルゴリズムの改良◎梁 賢徳・松井文弥・能登正人(神奈川大)
- F-049 ACOによる分割統治型TSP近似解法とその評価について◎梶野大輔・原 元司(松江高専)

【データマイニング】

- 9月7日(火) 16:00～18:00 3P会場(ウエスト2号館3F 第4講義室) 座長 森川 幸治(パナソニック)
- F-050 特定ジャンルのブログに対する共起とユーザ別特徴語抽出を用いた話題抽出
..... ◎山本尚央(早大)・佐藤進也(NTT 未来ねっと研究所)・菅原俊治(早大)
- F-051 重回帰分析とSEMによるゲームソフトのヒット要因の定量化◎北見孝大・佐賀亮介・松本一教(神奈川工科大)
- F-052 Clustering the Normalized Compression Distance for Biological Data
.....◎Yu Zhu・Thomas Zeugmann・Kimihiro Ito (Hokkaido University)
- F-053 動画共有サイトへのコメントを利用したアノテーション◎吉村貴星・藤田 茂(千葉工大)
- F-054 WWWのテキスト情報を利用した関連企業の自動抽出◎前田 亮・大和田勇人(東理大)
- F-055 Contrasting correlations based on double constraints on cliques◎李 愛香・原口 誠(北大)

【ネットワーク】

- 9月8日(水) 10:00～12:00 4P会場(ウエスト2号館3F 第4講義室) 座長 栗原 聡(阪大)
- F-056 ネットワーク構造による類似探索性能の分析法の提案◎外岡達也・小出明弘・斉藤和巳(静岡県大)・
青山一生・澤田 宏・上田修功(NTT)
- F-057 SNSの特徴を考慮に入れたネットワークモデルの評価◎工藤匡浩・松澤智史・武田正之(東理大)
- RF-006 一様採用付きVoter Modelの提案
..... ◎伏見卓恭・斉藤和巳(静岡県大)・木村昌弘(龍谷大)・大原剛三(青学大)・元田 浩(阪大)
- RF-007 オブジェクト集合に依存したRNGの特性分析◎小出明弘・外岡達也・斉藤和巳(静岡県大)・
青山一生・澤田 宏・上田修功(NTT)
- RF-008 単一拡散系列からの期待影響度曲線の推定
..... ◎吉川友也・斉藤和巳(静岡県大)・元田 浩(阪大)・木村昌弘(龍谷大)・大原剛三(青学大)
- F-058 口コミ型情報推薦システムのシミュレーションによる解析◎保科一明・武田利浩・平中幸雄(山形大)

G分野：生体情報科学(第2分冊)

【ニューロコンピューティング】

- 9月7日(火) 13:30～15:30 2E会場(総合学習プラザ1F 第9講義室) 座長 石原 彰人(中京大)
- G-001 網膜外網状層の生理学的モデルによるFootstep錯視の解析◎鷲野希望・石原彰人(中京大)
- G-002 ニューラルネットワークを用いた配色の見やすさの予測
..... 田幸 淳(NTTコミュニケーションズ)・○篠沢佳久(慶大)
- G-003 脳磁界計測による視覚性運動の変化に対する予測と認知の関係の検討
.....◎三尾恭史・林 伴明・青山 敦・小山裕徳・川澄正史(電機大)
- G-004 自己組織化マップと情報量規準によるクラスタ数の推定法に関する基礎的研究◎加藤 聡・堀内 匡(松江高専)
- G-005 高次自己相関モデルの連想記憶における類似度とマスキング手法◎吉元宏幸(鹿児島高専)
- G-006 高次微分相関型モデルの連想記憶における類似度とマスキング手法◎飛佐洋平・濱川恭央(鹿児島高専)

【MEとバイオサイバネティクス】

- 9月7日(火) 16:00～18:00 3E会場(総合学習プラザ1F 第9講義室) 座長 水戸 和幸(電通大)
- G-007 時間領域3次元散乱体の光学パラメータ推定の検討◎前田祐輔・谷藤忠敏(北見工大)
- G-008 時間領域法のヒト脳光学パラメータ感度の検討◎西尾直也・田畑頌吾・沖松一弥・谷藤忠敏(北見工大)
- G-009 (講演取消)

- G-010 呼吸周波数比による呼吸器疾患の病態変化検出 ○蘭田光太郎（長崎大）・田中健一朗（特別養護老人ホーム恵珠苑）・滝川 雄・喜安千弥・千住秀明・宮原末治（長崎大）
- G-011 多重解像度解析による肺音からの呼吸周期検出 ○滝川 雄・濱崎圭輔・蘭田光太郎・喜安千弥・宮原末治（長崎大）・大藤 貴・岡三喜男（川崎医科大）

【医用画像】

- 9月8日（水） 10:00～12:30 4E会場（総合学習プラザ1F 第9講義室） 座長 金 亨燮（九工大）
- G-012 伊藤過程に基づくLSFの推定とそれを用いた鮮鋭度評価 ○今井國治（名大）・遠地志太（阪大医学部附属病院）・森 政樹（名大）・藤田尚利（名大医学部附属病院）・池田 充（名大）・新美孝永（名古屋第二赤十字病院）
- G-013 肝病理組織標本画像のN/C比算出システム ◎松下伸光・高橋正信（芝浦工大）・中野雅行（大船中央病院）
- G-014 電子顕微鏡トモグラフィのためのマーカーフリーアライメント手法の検討 ◎御堂義博・鷹岡昭夫・森博太郎・中前幸治（阪大）
- G-015 CTおよびCRによる3次元関節モデルの推定手法 ○伊藤史人（一橋大）
- G-016 腹部3次元形状の特徴解析と内臓脂肪面積の推定 ◎谷口広樹（慶大）・亀嶋英人（スペースビジョン）・佐藤幸男（慶大/スペースビジョン）・本田郁二（慶大）
- G-017 An Improved KFCM Algorithm in the Segmentation of Brain MRIs ◎Rong Xu・Jun Ohya（Waseda University）

【医用画像・バイオ情報学】

- 9月8日（水） 16:00～18:00 5E会場（総合学習プラザ1F 第9講義室） 座長 関嶋 政和（東工大）
- G-018 画像閲覧履歴の学習による医用画像の重要度評価法の提案 ◎丸谷美織・土橋宜典・山本 強（北大）
- RG-001 染色体画像中での部分領域探索法 ○阿部 亨・濱田智栄子（東北大）
- G-019 データ分布に基づく階層型多クラス分類を用いたタンパク質の細胞内局在部位予測 ◎久須田樹哉・渡邊真也・施 建明（室蘭工大）・Paul Horton（産業総合研究所）
- G-020 ペイジアンネットワークを用いた生活習慣の分析 ◎吉見将太・黒川悦子・橋本和夫（東北大）
- G-021 モチーフ抽出によるエピジェネティクス関連領域の予測 ○東原正智（法大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）

※著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。（2010年12月31日時点で32歳以下）

※講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

H 分野：画像認識・メディア理解（第3分冊）

【パターン認識応用】

- 9月7日（火） 10:00～12:30 1K会場（総合学習プラザ2F 第14講義室） 座長 倉爪 亮（九大）
- H-001 両方向ゼロ比較に基づくノイズベクトルの除去○横山貴紀・渡辺俊典（電通大）
- H-002 実運用に向けたメタデータ制作フレームワークのリファレンスソフトウェアの改良
.....○佐野雅規・住吉英樹・藤井真人・柴田正啓・八木ノブユキ（NHK 技研）
- H-003 周波数スペクトル解析を用いた肺音の異常検出
.....○小森田健・滝川 雄・蘭田光太郎・喜安千弥・宮原末治・飯田哲也・河野 茂（長崎大）
- H-004 ガウス過程事前分布を用いた時系列多重整列法○秋本真治・末松伸朗・林 朗・岩田一貴（広島市大）
- H-005 撮像画像による床素材の静摩擦係数の推定○田村 仁（日本工大）
- H-006 Water Body Detection in High-resolution Stereo Aerial Images
.....○王 晶・小泉博一・神谷俊之（NEC システムテクノロジー）
- H-007 自動色再現のための色票位置推定手法の検討○山内俊明（神奈川工科大）

【文字認識と画像照合】

- 9月7日（火） 10:00～12:30 1L会場（総合学習プラザ2F 第15講義室） 座長 堀田 政二（農工大）
- H-008 街並画像DBを利用したビル壁面の窓面積比の推定手法○上野智史・川田亮一（KDDI 研）
- H-009 手書き文字の崩れを推論する確率的な字形評価○中井 満・加藤 静（富山県大）
- H-010 Preliminary Experiment On Khmer OCR○Vanna Kruey・Wataru Kameyama（早大）
- H-011 射影不変量とホモグラフィ行列を用いた文字列画像検索方式の提案○秋山達勇・西脇大輔（NEC）
- H-012 仮説検証型アプローチを用いた定義レス帳票認識技術○平山淳一・新庄 広・高橋寿一・永崎 健（日立）
- H-013 映像とクローズドキャプションの解析に基づく自動番組要約に関する検討
.....○河合吉彦・住吉英樹・藤井真人（NHK）
- H-014 均等分割型 EMD によるロバスト画像照合○橋本陽祐・川上 肇（龍谷大）

【画像特徴・検出】

- 9月7日（火） 10:00～12:30 1M会場（総合学習プラザ2F 第16講義室） 座長 小川原光一（九大）
- H-015 （講演取消）
- H-016 勾配方向差分特徴量を用いた物体検出○細井利憲・石寺永記（NEC 情報システムズ）
- H-017 前景／背景の局在性の相違に着目した高精度前景抽出○鈴木哲明・宮野博義・石寺永記（NEC 情報システムズ）
- H-018 単眼ノーズビューカメラによる車載向け側方接近物検知の開発○清原将裕（日立）・加藤賢治・川野羊三（日立アドバンスデジタル）・村松彰二・内田吉孝（クラリオン）
- H-019 夜間ヘッドライト自動制御のための車両検知—自転車挙動を利用した高精度トラッキング—
.....○竹村雅幸（日立）・大塚裕史（日立オートモティブシステムズ）・志磨 健（日立）
- H-020 移動物体を含む環境における移動ステレオカメラの姿勢推定と空間の3次元復元の検討
.....○立松直倫（早大）・謝 英弟（前早大）・大谷 淳（早大）
- H-021 ファッション雑誌を用いたコーディネート推薦システム○岩田具治・渡部晋治・澤田 宏（NTT）

【VR・モデリング】

- 9月8日（水） 10:00～12:30 4M会場（総合学習プラザ2F 第16講義室） 座長 川田 亮一（KDDI 研）
- H-022 写実的レンダリングに向けた Time-Varying Mesh の表面属性推定○畢 微・山崎俊彦・相澤清晴（東大）
- H-023 不透明物体を内包する透明物体の形状計測のためのシルエット分離抽出
.....○鈴木悠輝・浦西友樹・眞鍋佳嗣・千原国宏（奈良先端大）
- H-024 複数の水平合焦点を用いた距離推定における精度向上の検討○妹尾美芳・池岡 宏・浜本隆之（東理大）
- H-025 食事ログシステムの解析の個人への適応の検討○丸山悠斗・チャミンダ デシルヴァ・山崎俊彦・相澤清晴（東大）
- H-026 単眼カメラと AR マーカによる低演算自由視点映像生成○中野 学（NEC）
- H-027 映像コンテンツの構図及び時間変動に基づいた情報オーバレイの一検討
.....○高橋知彦・菅野 勝・酒澤茂之（KDDI 研）
- H-028 スマートフォンを用いた強化現実型コミュニケーションシステムの実現
.....○田中秀明・廣野大地・富澤勇介・高井昌彰（北大）・野本義弘（NTT）

【人物情報処理 (1)】

- 9月8日（水） 16:00～18:00 5M会場（総合学習プラザ2F 第16講義室） 座長 浦西 友樹（奈良先端大）
- H-029 装着型センサによる農作業認識システム構築に向けて○谷口倫一郎・南石晃明（九大）・有田大作（九州先端科学技術研究所）・島田敬士・長原 一（九大）
- H-030 テンソル分解に基づく多視点映像を用いた人物の動作認識の一検討
.....○堀 隆之・大谷 淳（早大）・棚沢 順（千葉商科大）
- H-031 多峰型解析的 DP を用いた動画中の物体追跡○川野裕希・藤村一行・ヤオカイ フォン・内田誠一（九大）
- H-032 複数の候補領域を用いた歩行者検知システムの検討
.....○高橋 圭・藤谷脩平・猿田和樹・寺田裕樹・武田和時（秋田県大）
- H-033 Particle Swarm に基づく人物追跡の一検討○藤崎陽一・陶山健仁（電機大）
- H-034 公共空間における多人数の追跡と属性解析○松濤智明・山崎俊彦・相澤清晴（東大）

【人物情報処理 (2)】

- 9月9日(木) 10:00～12:30 6M会場(総合学習プラザ2F 第16講義室) 座長 小川原光一(九大)
- H-035 映像から三次元顔モデルへのテクスチャマッピングにおけるテクスチャ画像のアライメント手法
.....○Simon CLIPPINGDALE・藤井真人・柴田正啓(NHK)
- H-036 Subtle Facial Expression Recognition Based on Expression Category-dependent Motion Magnification
.....○Lumei Su(Tokyo University)・Shiro Kumano・Kazuhiro Otsuka・Dan Mikami・Junji Yamato・Eisaku Maeda(NTT)・Yoichi Sato(Tokyo University)
- H-037 一般化学習ベクトル量子化と顔形状モデルを用いた顔特徴点検出○森下雄介・今岡 仁(NEC)
- H-038 顔検出器のスweep範囲限定による高速化とその評価○青木崇浩・中島克人(電機大)
- H-039 手軽に利用できるハンドジェスチャーインタフェースの考察と提案○坪田尚洋・中島克人(電機大)
- H-040 クエリー画像描画による画像検索の構図テンプレートを用いた高速化
.....○望月貴裕・住吉英樹・藤井真人(NHK 技研)
- H-041 画質評価を用いる指紋画像強調手法○池田奈美子・中西 衛・羽田野孝裕・重松智志・森村浩季(NTT マイクロシステムインテグレーション研究所)

【物体認識と計測】

- 9月9日(木) 13:30～16:30 7M会場(総合学習プラザ2F 第16講義室) 座長 Simon CLIPPINGDALE(NHK)
- H-042 位置情報と大規模画像データベースを利用した撮影対象特定に関する検討
.....○阿部尚之・大神 渉・島田敬士・長原 一・谷口倫一郎(九大)
- H-043 試料傾斜角の異なる複数枚SEM画像からのLSI三次元形状推定の検討○林 史也・御堂義博・中前幸治(阪大)
- H-044 3Dスキャンによる物体認識の基礎実験○田中麻美・堂園 浩・築地 浩(佐賀大)
- H-045 屋内情景識別システムの構築○吉岡勇希・土屋誠司・渡部広一(同志社大)
- H-046 一般物体認識におけるクラス内変化を考慮した認識手法に関する基礎研究
.....○下地竜雄馬・當間愛見・赤嶺有平・山田考治・遠藤聡志(琉球大)
- H-047 ステレオ画像と語概念連想を用いた複数物体認識○大江裕紀・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一(同志社大)

I分野：グラフィクス・画像(第3分冊)

【対話システム】

- 9月7日(火) 10:00～12:30 1H会場(総合学習プラザ2F 第12講義室) 座長 井村 誠孝(阪大)
- I-001 雲を考慮した空のインタラクティブな編集システム○小野亜由美・土橋宜典・山本 強(北大)
- I-002 A System that Allows Human Hand's Short Range Movements to Point a Virtual Object in a Large Screen by Tracking the Hand by Computer Vision Based Approach○吳 明翰・大谷 淳(早大)
- I-003 写真からの対話的イラスト生成○岩田大輝・豊浦正広・茅 暁陽(山梨大)
- I-004 立体視テーブルトップを用いた銅板レリーフのシミュレーション○大竹杏奈(中京大)・浦 正広(名大)・山田雅之・遠藤 守・宮崎慎也(中京大)・安田孝美(名大)
- I-005 拡張現実感技術を用いた対面コミュニケーションにおける感情表現および話題提供システムの開発
.....○倉長拓海・吉野 孝(和歌山大)
- I-006 ComicLiveChat: 静止画とテキストを用いたコミュニケーションツールの可能性
.....○松田実咲・Ivan Tanev・下原勝憲(同志社大)
- I-007 仮想彫刻における6軸モーションセンサを用いた切削手法○蛭間宏明・武田正之(東理大)

【画像重要度】

- 9月7日(火) 13:30～15:30 2H会場(総合学習プラザ2F 第12講義室) 座長 甲藤 二郎(早大)
- I-008 モザイクのコントラストによる視覚的影響における一検討○森屋舞子・鉄谷信二(電機大)
- I-009 Attention-based Clustering for Grouping Photo Collections by Quality of Composition
.....○Gamhewage de Silva・Kiyoharu Aizawa(東大)
- I-010 Video2Manga: A Comic-like Video Summary○傳 晨・山崎俊彦・相澤清晴(東大)
- I-011 (講演取消)
- RI-001 低重要度の行と列の削除と挿入による画像リサイジング○傳 暁宇・○井上光平・浦浜喜一(九大)
- I-012 符号付変化量最大化反復バイラテラルフィルタによる塗り絵の下絵線画の生成○井上光平・浦浜喜一(九大)

【画像変換】

- 9月7日(火) 16:00～18:00 3H会場(総合学習プラザ2F 第12講義室) 座長 松田 一郎(東理大)
- RI-002 Post-processing of YCbCr4:2:0 Compressed Image for Color Enhancement
.....○伊藤裕二・小野 東(Tsukuba University of Technology)
- RI-003 An Inter-color CFA Interpolation using Local Map○伊藤裕二(Tsukuba University of Technology)
- I-013 冗長DCTを用いたシャープニング・デモザイキング法の提案○小松 隆・上田康隆・齊藤隆弘(神奈川大)
- I-014 Soft Color-Shrinkageを用いた非線形カラー画像分解法の実験的評価
.....○坂東優介・山中 潤・小松 隆・齊藤隆弘(神奈川大)
- I-015 画像局所性を考慮した領域ベース適応補間フィルタ○松尾翔平・坂東幸浩・高村誠之・如澤裕尚(NTT)

【高画質化処理】

- 9月8日(水) 10:00～12:30 4H会場(総合学習プラザ2F 第12講義室) 座長 内藤 整(KDDI研)
- I-016 雑音強調を抑制するアンシャープマスキング処理○小野直樹・浦浜喜一(九大)
- I-017 非周期充填を用いた自然物生長のモデリング○平岡佑規・齊藤 剛(電機大)
- I-018 両面印刷物のスキャン画像の裏写り補正○小嶋洗佑・高橋正信(芝浦工大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチ賞」受賞候補の資格対象であることを示します。(2010年12月31日時点で32歳以下)

※講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- RI-004 ぼけと雑音を含む劣化画像復元のための有色性駆動源を持つ2次元カルマンフィルタアルゴリズム
..... ◎長保 龍・田邊 造 (諏訪東理大)・古川利博 (東理大)
- I-019 カラー顔画像の簡易アルベド推定に基づく高画質化 ○塚田正人・石山 晃・舟山知里 (NEC)・
新井雅年 (NEC 情報システムズ)・Charles Dubout (Idiap Research Institute)
- I-020 色情報とグレースケール保存を考慮したデジタル画像のモノクロ変換 ...◎田中 豪・末竹規哲・内野英治 (山口大)
- I-021 Colorization Using Landmark Pixels
..... ◎Shiya Mori・Weiwei Du・nobuyuki Nakamori (Kyoto Institute of Technology)

【画像超解像・モザイクング】

- 9月8日 (水) 16:00 ~ 18:00 5H 会場 (総合学習プラザ2F 第12講義室) 座長 久保田 彰 (中大)
- I-022 フリーハンド撮影画像のカメラ運動を考慮したモザイクング◎佐藤靖之・山本 強・土橋宜典 (北大)
- I-023 フリーハンド撮影画像群からの低歪超広角画像の合成法◎笹本亮介・山本 強・土橋宜典 (北大)
- I-024 両眼立体視用パノラマ画像の合成法◎横田泰斗・山本 強・土橋宜典 (北大)
- I-025 多視点画像間の対応点推定が不要な超解像方式の一検討: 2層シーンへの適用◎園造彩範・久保田彰 (中大)
- I-026 ウェーブレット係数の主成分分析を用いた学習型超解像
.....◎中矢知宏・近松慎伍・黒木修隆・廣瀬哲也・沼 昌宏 (神戸大)
- I-027 逐次モンテカルロ法による画像復元とその超解像への適用 ○三須俊枝・境田慎一・鹿喰善明 (NHK)

【画像符号化】

- 9月9日 (木) 10:00 ~ 12:30 6H 会場 (総合学習プラザ2F 第12講義室) 座長 高村 誠之 (NTT)
- RI-005 高密度時間サンプリングに基づく時間方向適応フィルタ設計 ○坂東幸浩・高村誠之・如澤裕尚 (NTT)
- I-028 (講演取消)
- RI-006 【FIT 論文賞受賞論文】
植生指標の精度とスペクトル再現性を考慮したハイパースペクトル画像符号化
.....◎篠田一馬・村上百合・山口雅浩・大山永昭・小杉幸夫 (東工大)
- I-029 高解像度映像に対する超高圧縮符号化方式の開発
..... ○杉本和夫・峯澤 彰・関口俊一 (三菱)・市ヶ谷敦郎・井口和久・鹿喰善明 (NHK)
- I-030 複数のフレームを用いた適応3次元予測による動画像の可逆符号化
.....◎石橋寿則・青森 久・松田一朗・伊東 晋 (東理大)
- I-031 レート制御可能な動画像の準可逆符号化◎横田達朗・青森 久・松田一朗・伊東 晋 (東理大)
- I-032 RGB4:4:4 カラー動画像符号化のための色信号間/フレーム間予測に関する一検討
.....◎小林雅典・青森 久・松田一朗・伊東 晋 (東理大)

【3D モデリング】

- 9月9日 (木) 13:30 ~ 16:30 7H 会場 (総合学習プラザ2F 第12講義室) 座長 土橋 宜典 (北大)
- I-033 ボリュームデータのインタラクティブなペイントシステム◎岩崎 航・土橋宜典・山本 強 (北大)
- I-034 液晶ディスプレイ上での折り返し歪低減の絹紋織物表面色再現手法◎尾崎敬二 (国際基督教大)
- I-035 自己相似性を利用した3次元画像のオブジェクト抽出飯島哲也・◎椎名 太・本田郁二・佐藤幸男 (慶大)
- I-036 (講演取消)
- I-037 テクスチャマッピング制御における立体感強調の基礎的検討◎古 鎮宇・大谷 淳 (早大)
- I-038 2次元バーコードを用いた3次元形状モデルの制作技法の研究◎藤祐太郎・新藤義昭 (日本工大)
- I-039 PTAMを用いた3DCGモデリング支援ツールの提案
.....◎高安 伸・遠藤聡志・赤嶺有平・當間愛晃・山田孝治 (琉球大)
- I-040 隣接面情報に基づく特徴に着目した3次元モデルのセグメンテーションの検討 ...◎脇田志郎・青野雅樹 (豊橋技科大)

【モデリング・レンダリング】

- 9月7日 (火) 10:00 ~ 12:30 1J 会場 (総合学習プラザ2F 第13講義室) 座長 高橋時市郎 (電機大)
- I-041 実写を利用した積雲のモデリング方法◎真造佑介・土橋宜典・山本 強 (北大)
- I-042 仮想空間における缶アート制作支援システム ◎高橋和茂・高井昌彰 (北大)・高井那美 (北海道情報大)
- I-043 協調型評価エージェントを導入したインタラクティブGAによる建物3Dモデルの自動生成に関する研究
.....◎津波古和史・赤嶺有平・遠藤聡志 (琉球大)
- I-044 隣接するビルの影響を考慮したビル正面テクスチャ合成手法
.....◎岸 麻美・中津川直輝・森谷友昭・高橋時一郎 (電機大)
- I-045 仮想都市景観構築のための3次元マップ作製ツールの開発
.....◎金谷潤一 (電機大)・金澤功尚 (東京医療保健大)・細井雄介・森谷友昭・高橋時市郎 (電機大)
- I-046 垂直面への着雪を考慮した積雪情景のリアルタイム表現◎森谷友昭・高橋時市郎 (電機大)
- I-047 大気中の粒子による散乱現象を反映した空の色の高速シミュレーション◎黒田たから (和歌山大)

【モーションキャプチャ】

- 9月7日 (火) 13:30 ~ 15:30 2J 会場 (総合学習プラザ2F 第13講義室) 座長 小堀 研一 (大阪工大)
- I-048 最小自乗法による位相高さ変換を用いたリアルタイム三次元計測◎萩原辰則・開 陽介・吉川宣一 (埼玉大)
- I-049 移動する人物の手の動きの認識法◎山本和典・齊藤 剛 (電機大)
- I-050 モーションデータを用いたストリートダンスの定量的および定性的評価法◎平尾義之・齊藤 剛 (電機大)
- I-051 モーションデータの動作可視化システムの提案とその応用◎田代裕子・齊藤 剛 (電機大)
- I-052 モーションキャプチャデータのLODに関する一手法◎長谷川新悟・西尾孝治・小堀研一 (大阪工大)

[自由視点]

- 9月7日(火) 16:00～18:00 3J会場(総合学習プラザ2F 第13講義室) 座長 藤井 俊彰(東工大)
- I-053 3次元焦点ぼけ構造に基づく実画像からのFPGAを用いた自由視点画像生成
.....◎伊澤逸平・野々下俊(東理大)・児玉和也(NII)・浜本隆之(東理大)
- I-054 大空間カメラ配置におけるカメラの強校正を前提としない自由視点画像生成法の一検討
.....◎三功浩嗣・石川彰夫・内藤 整・酒澤茂之(KDDI 研)
- I-055 確率奥行きマップを用いたデジタル・リフォーカスの検討◎池藤広司・久保田彰(中大)
- I-056 奥行き情報を利用したFTV 情報圧縮◎石橋崇司・圓道知博・メヒルダド パナヒブル テヘラニ(名大)・
藤井俊彰(東工大)・谷本正幸(名大)
- RI-007 Reliable View Synthesis with Automatic Error Compensation for FTV◎Lu Yang・Tomohiro Yendo・
Mehrdad Panahpour Tehrani (Nagoya University)・Toshiaki Fujii (Tokyo Institute of Technology)・
Masayuki Tanimoto (Nagoya University)

[画像雑音除去]

- 9月8日(水) 10:00～12:30 4J会場(総合学習プラザ2F 第13講義室) 座長 上倉 一人(NTT)
- I-057 全変動カラー画像復元問題とその近接勾配解法◎齊藤隆弘・高垣陽介・小松 隆(神奈川大)
- I-058 非等方性カラー TV セミノルムを用いたカラー画像雑音除去◎高垣陽介・齊藤隆弘・小松 隆(神奈川大)
- I-059 様々な冗長変換とシフト不変 Haar ウェーブレット変換を用いたハイブリッド型カラー画像雑音除去
.....◎上田康隆・小松 隆・齊藤隆弘(神奈川大)
- I-060 Grouplet 変換を用いたカラー画像のぼけ復元・拡大◎石川健一・小松 隆・齊藤隆弘(神奈川大)
- I-061 中心化部分カーネル主成分分析によるデノイジング◎鷲沢嘉一(理研)・田中正行(東工大)
- RI-008 PCA と Negentropy を用いた布の汚れの鮮明化画像処理
.....藤田和弘(龍谷大)・○桶谷新也(京都府中小企業技術センター/京都工繊大)・柄川龍一(龍谷大)・
中森伸行・森本一成(京都工繊大)
- I-062 被写体の動きを考慮した長短露光画像合成によるぶれ低減法
.....◎津田佳行・畑中晴雄・福本晋平(三洋電機)・千原國宏(奈良先端大)

[画像認識・トラッキング]

- 9月8日(水) 16:00～18:00 5J会場(総合学習プラザ2F 第13講義室) 座長 井口 和久(NHK)
- I-063 テロップを用いたニュース映像のトピック分割◎関口明紀・森田啓義・Baskara Nugraha I Gusti Bagus(電通大)
- I-064 Real-time Moving Object Tracking in H.264/AVC Video based on Variable Size of Macroblock and Forward Motion
Vector Information◎Suwen Weng(電通大)・Luis Loyola(スキルアップジャパン)・
I G. B. Baskara Nugraha・Hiroyoshi Morita(電通大)
- I-065 MPEG-1 動画に含まれる動き補償情報に基づく野球プレー推定◎浅井航平・青木恭太(宇都宮大)
- I-066 仮定拡大率にもとづく扇形領域輝度相関による 並進・回転・拡大の推定◎青木恭太(宇都宮大)

[画像特徴抽出]

- 9月9日(木) 10:00～12:30 6J会場(総合学習プラザ2F 第13講義室) 座長 高木 幸一(KDDI 研)
- I-067 ファジールールに基づく混合雑音重畳画像からのエッジ抽出法
.....◎石井 聡・木村誠聡・辻 裕之(神奈川工科大)・田口 亮(東京都市大)
- I-068 局所ヒストグラムの時間変動に着目したディソルブ検出
.....◎前田憲志・田中孝志・黒木修隆・廣瀬哲也・沼 昌宏(神戸大)
- I-069 BP-RRC の動的しきい値決定法◎野田一成・山内 仁・金川明弘(岡山県大)
- I-070 感性語と名詞の併用による画像検索の基礎考察◎徳田裕美・馬場口登(阪大)
- I-071 動画検索のための MPEG-2 データ中の特徴量抽出方法の検討
.....◎小友知己・伊藤慶明・小嶋和徳・石亀昌明(岩手県大)
- I-072 能動学習型サポートベクタマシンを用いた内容に基づく画像検索における分類器の再利用基準の改善
.....◎手川真彰・服部元信(山梨大)
- RI-009 二言語間のタグ変換を用いた画像タグ付与システム◎石先広海(KDDI 研)・
Wennestrom Hjalmar (Uppsala University)・帆足啓一郎・滝嶋康弘(KDDI 研)

[電子透かし]

- 9月9日(木) 13:30～16:30 7J会場(総合学習プラザ2F 第13講義室) 座長 栗山 繁(豊橋技科大)
- I-073 光透かしを用いた符号情報の埋め込み◎石川安則・上平員丈・谷中一寿(神奈川工科大)
- I-074 青色成分変調を用いた雑音体勢を有する情報埋め込み◎大島浩史・栗山 繁(豊橋技科大)
- I-075 複数の図形輪郭線の明度変化を用いた情報埋め込み◎井上 透・栗山 繁(豊橋技科大)

J分野：ヒューマンコミュニケーション & インタラクション (第3分冊)

[拡張現実とセンシング]

- 9月7日(火) 10:00～12:30 1S会場(ウエスト2号館3F 第7講義室) 座長 川又 武典(三菱)
- J-001 携帯端末を用いた書棚の図書検索のための分散協調型拡張現実システム◎高橋政樹・高井昌彰(北大)
- J-002 複数ユーザによる AR 技術を用いた個別メニュー表示・操作可能なテーブルトップ型 HMI の提案
.....◎武田智裕・菅原祐人・志甫佑紀・萩原佑介・古市昌一(日大)
- J-003 AR 技術の活用による運転者の視線移動を縮減可能な車載情報機器操作法の提案
.....◎菅原祐人・武田智裕・志甫佑紀・萩原佑介・古市昌一(日大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。(2010年12月31日時点で32歳以下)

※講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- J-004 既製の案内図を用いた仮想3次元形状の重量表示◎深見健太・吉川 毅・野中秀俊(北大)
- J-005 拡張現実技術を用いた昔話ーももたらうー ○大倉 充(岡山理大)・中村昌稔(カインド)・
松尾泰宏(ピープルソフトウェア)・島田英之・島田恭宏(岡山理大)
- J-006 ちょっとした一言の音声認識による子ども利用者判別法の検討
.....◎宮森翔子・西村竜一・栗原理沙・河原英紀・入野俊夫(和歌山大)
- J-007 スマートフォンによるスケーティングの分析と支援◎尾崎惇史・藤田 悟(法大)

【ヒューマンコミュニケーション基礎 (1)】

- 9月7日(火) 13:30～15:30 2S会場(ウエスト2号館3F 第7講義室) 座長 神田 智子(大阪工大)
- J-008 リスクコミュニケーションにおけるファジ理論を用いた意思決定支援方式
.....◎高橋雄介・鹿野哲矢・矢島敬士(電機大)
- J-009 キーワードマップ上での気づかせ支援による意思決定への影響◎梶並知記・高間康史(首都大)
- J-010 協調問題解決における色信号を用いた意図の伝達◎坂野了太・山下祥弘・伊藤 昭・寺田和憲(岐阜大)
- RJ-001 三項関係における幼児の問題解決プロセスの分析◎石川翔吾・高林竜一・桐山伸也・北澤茂良・竹林洋一(静岡大)
- J-011 ストーリー設計をサポートする絵本自動生成システムの構築
.....◎出水ちあき・仲松里夏・宮里洗司・神里志穂子・野口健太郎(沖縄高専)

【ヒューマンコミュニケーション基礎 (2)】

- 9月7日(火) 16:00～18:00 3S会場(ウエスト2号館3F 第7講義室) 座長 竹林 洋一(静岡大)
- J-012 感情モデルに基づく擬人化エージェントのコミュニケーション行動生成◎伊藤正平・片桐恭弘(はこだて未来大)
- RJ-002 自由対話における発話の共感状態の音声分析◎高 亜罕・大野ゆう子・林 良彦(阪大)
- J-013 身体操作を実装した仮想エージェントとの持続的インタラクション評価◎東野寛志・神田智子(大阪工大)
- J-014 情報収集対話システムの構築を目的とした終了判断に有効な特徴量の分析
.....◎大塚尚樹・村上 真・山際 基・上原 稔(東洋大)
- J-015 ビデオ会議における遅延による影響の軽減を目指した再生状況提示
.....◎村田和義(京都工繊大)・服部真承(関西大倉高等学校)・渋谷 雄(京都工繊大)
- J-016 回想法を用いた認知症患者に対する音楽療法の一考察◎上島洋人・板倉佑典・皆月昭則(釧路公大)

【ヒューマン情報処理 (1)】

- 9月8日(水) 10:00～12:30 4S会場(ウエスト2号館3F 第7講義室) 座長 大西 仁(放送大)
- RJ-003 乗物の外部・内部視界が乗り心地に与える影響◎奥田 翔・志水あづみ・竹内利紗(三重大)・
河合俊岳(本田技研)・小澤惇一・増田 修・河合敦夫・井須尚紀(三重大)
- RJ-004 身体ー視野振動の時間差が乗り心地に与える効果◎小澤惇一・竹内利紗・志水あづみ(三重大)・
河合俊岳(本田技研)・奥田 翔・増田 修・河合敦夫・井須尚紀(三重大)
- J-017 聴覚刺激が自己運動距離知覚に与える影響◎古根史雅・坂本修一・寺本 渉・行場次朗・鈴木陽一(東北大)
- J-018 Study of Human Gesture Recognition by Integrating Face and Hand Motion Features
..... 羅 丹(Waseda University)・Hazim Kemal Ekenel(Karlsruhe Institute of Technology)・
○大谷 淳(Waseda University)
- RJ-005 目入力装置のための顔の回転変化に頑健な黒目検出法◎浅野誠之・高野博史・中村清実(富山県大)
- RJ-006 注視行動の予測に向けた動画コンテンツの視覚的特徴と実測した注視点の正準相関分析
.....◎上向俊晃・加藤恒夫(KDDI 研)・梅田修一・小峯一晃・森田寿哉(NHK 技研)
- J-019 画像処理を用いた瞬目波形検出法◎大西祐哉・大矢哲也・川澄正史(電機大)

【ヒューマン情報処理 (2)】

- 9月8日(水) 16:00～18:00 5S会場(ウエスト2号館3F 第7講義室) 座長 坂本 修一(東北大)
- J-020 連続挙動解析による知的防犯カメラの開発 - 拉致・誘拐事案の自動検知 -
.....◎宮原 彬・仲里直朗・長山 格(琉球大)
- J-021 標準人体モデルフィッティングによる三次元人体スキャンデータからのランドマーク抽出
.....◎池 亘平・佐藤幸男・本田郁二(慶大)・亀嶋英人(スペースビジョン)
- J-022 自己組織化マップを用いたタッチスクリーンによるキーストローク認証手法
.....◎野口敦弘・納富一宏・中山亮介(神奈川工科大)・斎藤恵一(電機大)
- J-023 バイオヘッドホン耳で測定した筋電と信号解析による表情検出◎富田 尚・佐野あかね・安田章夫(ソニー)
- J-024 随意的な群発瞬目を用いた眼電位によるアクセシビリティ機器操作に関する研究
.....◎大矢哲也・大西祐哉(電機大)・野本洋平(新潟県大)・小山裕徳・川澄正史(電機大)
- J-025 GUI ポインティング機能を有する半球型サブディスプレイのユーザ支援効果の有効性
.....◎池 進一・横山沙耶・芝 治也・山口 巧(高知高専)・島村和典(高知工科大)

【ヒューマン情報処理 (3)】

- 9月9日(木) 10:00～12:30 6S会場(ウエスト2号館3F 第7講義室) 座長 大西 仁(放送大)
- J-026 指定した場所の目標色温度を簡易的に実現する知的照明システム
.....三木光範・廣安知之・吉見真聡・◎増田竜也・鈴木真理子(同志社大)
- J-027 照度・色温度可変型照明システムの構築と執務における最適な照度および色温度
.....三木光範・◎谷口由佳・廣安知之・吉見真聡(同志社大)
- J-028 知的照明システムで実現する照明の色温度とNIRSにより計測される脳活動の関係
.....三木光範・◎鷺見祐加子・廣安知之・吉見真聡(同志社大)
- J-029 色度図上における人間の快適照明環境領域三木光範・◎鈴木真理子・廣安知之・吉見真聡(同志社大)
- J-030 色彩効果による画像への感情記録の可能性に関する検討◎石橋 賢・宮田一乗(北陸先端大)
- J-031 e-Learning 学習者の解答行動・眼球運動と感情との関連の分析
.....◎繁田亜友子・小池武士・濱本和彦・野須 潔(東海大)

J-032 評価理論を用いた感情音声認識の試み◎若林英俊（ほこだて未来大）

【ネットワーク・ロボット】

9月9日（木） 13:30～16:30 7S会場（ウエスト2号館3F 第7講義室） 座長 秋本 高明（ATR）

J-033 自動追従ショッピングカートロボットの設計と製作－自己位置推定とマッピングシステム－◎小野里太志・田村 仁・片山茂友（日本工大）

RJ-007 ロボットサイネージにおいて見かけと大きさの違いがもたらす広告効果の変化検証◎塩見昌裕・篠沢一彦・

中川賀史・宮下敬宏（ATR）・坂本俊雄・寺久保寿光・石黒 浩（阪大）・萩田紀博（ATR）

RJ-008 【FIT論文賞受賞論文】

ヘルスケアロボットへのパーソナリティ付与による説得効果

.....◎中川佳弥子（ATR/阪大）・篠沢一彦（ATR）・松村礼央（ATR/阪大）・

石黒 浩（阪大）・萩田紀博（ATR）

J-034 情報提示方法の違いがもたらすロボットサイネージの広告効果◎塩見昌裕・篠沢一彦・中川賀史・

宮下敬宏（ATR）・坂本俊雄・寺久保寿光・石黒 浩（阪大）・萩田紀博（ATR）

J-035 サイバニックマスターームによるマニピュレーションシステムに関する研究◎平松宏介（筑波大）

J-036 把持動作支援を可能とする装着型サイバニックハンドの開発◎竹内 奨・山海嘉之（筑波大）

J-037 腰部負荷軽減のための股関節動作支援用 HAL の開発に関する研究◎原 大雅・山海嘉之（筑波大）

【異文化コラボレーション】

9月7日（火） 16:00～18:00 3T会場（ウエスト2号館3F 第8講義室） 座長 村上 陽平（NICT）

J-038 正確な多言語コミュニケーション支援のための動的用例対訳連携モデルの提案◎福島 拓・宮部真衣・吉野 孝（和歌山大）

J-039 検索エンジンを利用した9ヶ国語作文支援の拡張◎古川陽平・網島祐一・安藤一秋（香川大）

J-040 機械翻訳を介したチャットコミュニケーションにおける翻訳精度表示の影響◎宮部真衣・吉野 孝（和歌山大）

J-041 留学生のための講義理解支援システムの適用と評価◎岡本健吾・福島 拓・吉野 孝（和歌山大）

J-042 あらすじを用いた遠隔相談支援エージェント◎後藤拓人・坂倉規敏・矢島敬士（電機大）・上杉裕也・澤本 潤（岩手県大）

【感性】

9月8日（水） 10:00～12:30 4T会場（ウエスト2号館3F 第8講義室） 座長 皆月 昭則（釧路公大）

J-043 強化学習に基づく MIDI 楽曲選曲システムの提案◎森田 央・六井 淳（島根大）

J-044 イメージ語から初期個体を生成する対話型遺伝的アルゴリズム◎岡田典子・三木光範・廣安知之・吉見真聡（同志社大）

RJ-009 対話型進化計算によるモーション作成・編集・検索システム◎若山雄己・高野 茂・岡田義広（九大）・西野浩明（大分大）

J-045 ユーザに易しい絵文字選択システムの評価◎虎谷安孝・平山 亮（金沢工大）

J-046 RIA におけるボタンの表示効果とアクセシビリティの関係◎畑中基希・有賀千裕・納富一宏（神奈川工科大）

J-047 クラスタを反映したタグクラウド型ユーザインタフェース◎寺岡照彦（ヤフー）

RJ-010 タグクラウドにおける感情の合図◎江田毅晴・内山俊郎・内山 匡（NTT）・吉川正俊（京大）

【医療応用】

9月9日（木） 10:00～12:30 6T会場（ウエスト2号館3F 第8講義室） 座長 井原 雅行（NTT）

J-048 インフォームドコンセントにおけるコンテンツ作成支援システムの提案◎赤城真生（釧路公大）・八重樫祐司・中澤拓也・坂上雅俊・渡邊浩幸（釧路総合病院放射線科）・

林 秀彦（鳴門教育大）・皆月昭則（釧路公大）

J-049 （講演取消）

J-050 （講演取消）

J-051 心機能異常発見のための日常行動に着目した脈拍情報分析◎桑山友加里・中井崇人・原田史子・島川博光（立命館大）

J-052 心機能異常発見のための位置・接触物・動きによる行動分割手法◎川口哲平・加藤和弥・寺井政文・原田史子・島川博光（立命館大）

J-053 管内事故防止のための特定作業に着目した動作データ異常分析◎中内亮介・林 利毅・原田史子・島川博光（立命館大）

J-054 気づき支援ナビゲータの開発◎清水勇喜・片岡一朗・針谷昌幸（日立）

【入出力】

9月9日（木） 13:30～16:30 7T会場（ウエスト2号館3F 第8講義室） 座長 三浦 元喜（九工大）

J-055 2D ポインティングデバイスによる 3D ダイレクトマニピュレーション◎野中秀俊（北大）

J-056 PC を用いた作業の効率化を目指したウィンドウの透明化手法◎谷川美沙紀・渋谷 雄・村田和義（京都工繊大）

RJ-011 赤外線反射光を用いたポインティングデバイスの開発◎土江田織枝（釧路高専）・宮尾秀俊（信州大）

J-057 頭部移動を許容するステレオカメラによる較正容易な注視点検出装置◎海老澤嘉伸・安保寿樹・西田康太郎・孫 麗虹・近藤祐輝（静岡大）

J-058 回転体の回転に伴う摩擦力による力覚フィードバック◎北村嘉章・吉川 毅・野中秀俊（北大）

J-059 視覚的探索タスクにおける触力覚効果の検証◎小俣昌樹・菊井則和・郷健太郎・今宮淳美（山梨大）

J-060 動的情報からの気づき支援技術の開発◎片岡一朗・清水勇喜・針谷昌幸（日立）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）

※著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。（2010年12月31日時点で32歳以下）

※講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

K 分野：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用（第3分冊）

【教育工学（1）】

- 9月7日（火） 10:00～12:30 1C会場（総合学習プラザ1F 第7講義室） 座長 松原 行宏（広島市大）
- RK-001 【FIT論文受賞論文】
関数呼び出しの分析による頻出学習パターンへの導出 ……○谷川紘平・原田史子・島川博光（立命館大）
- K-001 カメラ付き携帯電話を活用したゲーム型食育学習支援システムの開発
……………○岡崎泰久・岩橋遼平・田中久治・渡辺健次（佐賀大）・竹中真希子（大分大）
- K-002 体感的学習が可能な物理シミュレーションシステムの構築 ……○荻原貴文・林 大作・中村直人（千葉工大）
- K-003 数学学習支援のためのマルチタッチインタフェースを用いた作図ツールの提案
……………○伊藤 唯・伊地知裕子（中京大）・浦 正広（名大）・
中 貴俊・山田雅之・遠藤 守・宮崎慎也（中京大）・安田孝美（名大）
- K-004 映像制作の教育プログラムの開発と授業評価 ……○片岡勲人（東海大）
- K-005 （講演取消）
- K-006 シミュレータ利用教育のためのマルチメディア e-Learning フレームワークの提案
……………○篠塚明祥・増田孝博・須田宇宙（千葉工大）

【教育工学（2）】

- 9月7日（火） 13:30～15:30 2C会場（総合学習プラザ1F 第7講義室） 座長 宮寺 庸造（東京学芸大）
- RK-002 講義資料からの意味ネットワーク作成による学習事項の形式化 ……○大野公裕・原田史子・島川博光（立命館大）
- K-007 タッチペンによる直接操作を活用した携帯ゲーム機による実験観察学習支援システムの開発
……………○岡崎泰久・永江由依・田中久治・渡辺健次（佐賀大）
- K-008 項目反応理論を用いたプログラミング演習における理解度確認
……………○小山昂紘・廣瀬 達・大野公裕・原田史子・島川博光（立命館大）
- K-009 外国人の初級日本語学習における仮名表記と文法の初歩的誤りの検出方式
……………○杉野勝也・佐藤俊也・絹川博之（電機大）
- K-010 外国人の初級日本語学習における仮名表記誤りの分類と訂正方式 ……○佐藤俊也・杉野勝也・絹川博之（電機大）
- K-011 指導履歴を用いたプログラミング初心者への学力別資料推薦 ……○山中拓也（立命館大）

【教育工学（3）】

- 9月7日（火） 16:00～18:00 3C会場（総合学習プラザ1F 第7講義室） 座長 中村 勝一（福島大）
- K-012 XML データベースを活用した教育用 Web システムの構築
……………堀江隆太・新垣圭介・○堀部典子（宗城大）・田畑義之（九大）
- K-013 幼児の空間表現システムの開発と評価 ……○鈴木昭弘・和嶋雅幸・川上 敬・岡崎哲夫（北海道工大）
- K-014 教育支援を目的としたリアルタイムアンケートシステム－機能のログパーツ化－
……………○鷹合 祥・納富一宏（神奈川工科大）
- K-015 アニメーションヘルプシステムにおける再生速度変更とユーザビリティの関係
……………○松崎広起・西尾高典・納富一宏（神奈川工科大）
- K-016 シンプルなインタフェースによる教材配布支援を目的とした Web システムの試作
……………○田中穂識・鷹合 祥・納富一宏（神奈川工科大）
- K-017 ペア学習を導入した情報基礎教育における学習効果と発話特性
……………○内田君子（名古屋学芸大短大）・大矢芳彦（名古屋外国語大）

【教育工学（4）】

- 9月8日（水） 10:00～12:30 4C会場（総合学習プラザ1F 第7講義室） 座長 藤原 康宏（岩手県大）
- K-018 問題集のための総合的な e ラーニングシステムの開発と評価 ……○小島一秀（阪大）
- K-019 二つの高専における授業評価アンケートの分析
……………○芝 治也（高知高専）・田房友典（弓削商船高専）・勇 秀則・吉田正伸・竹島敬志（高知高専）
- K-020 ロケールを利用した学年別 UI の実現 ……○佐々木整・水野一徳（拓大）
- K-021 携帯端末を用いたジェスチャによるタイルプログラミング支援機能 ……○磯野 悠・森口友也・高田秀志（立命館大）
- K-022 制約のある仮想空間上での共同創作機能を備えた協調学習システム ……○柿内達真・高田秀志（立命館大）
- K-023 教室内における仮想空間上でのプログラミング作品共有環境の基本設計
……………○森本竜也・大平 愛・吉村学人・西口昌志・西出 亮・高田秀志（立命館大）

【教育工学（5）】

- 9月8日（水） 16:00～18:00 5C会場（総合学習プラザ1F 第7講義室） 座長 佐々木 整（拓大）
- K-024 （講演取消）
- K-025 口形順序コードを用いた発話映像自動生成方法 ……○宮崎 剛（神奈川工科大）・中島豊四郎（相山女学園大）
- K-026 授業の時間推移に伴う授業評価データの変動分析 ……○殿村貴司・古田壮宏・赤倉貴子（東理大）
- K-027 解答時間を復習問題抽出に用いた復習支援システムの検討
……………○出口寛之・大西祐哉・大矢哲也・小山裕徳・川澄正史（電機大）
- K-028 プロトコル分析を用いた実験学習におけるウィークポイントの抽出
……………○森 幸寛・山城信裕・野口健太郎・神里志穂子（沖縄高専）
- K-029 「いじめ語」検出による学校裏サイト監視支援システム
……………○浅田太郎（京都府大）・竹田麻友子（シスメックス）・吉富康成・田伏正佳（京都府大）

【マルチメディア・仮想環境基礎】

- 9月9日(木) 10:00～12:30 6C会場(総合学習プラザ1F 第7講義室) 座長 遠藤 守(中大)
- K-030 形状・圧力センシングを用いたテーブルトップインタフェースによるアート作品のシミュレーション
.....◎浦 正広(名大)・山田雅之・遠藤 守・宮崎慎也(中大)・安田孝美(名大)
- K-031 テクスチャによる擬似凹凸を用いた仮想レオロジー物体の力覚モデリング◎山岡正和・井門 俊(愛媛大)
- K-032 風を用いた映像視聴時の臨場感に関する研究
.....◎大澤弘樹・森屋舞子(電機大)・岩城理規(電機大/光塩女子学院)・鉄谷信二(電機大)
- K-033 遠赤外線画像を用いた鼻呼吸検出の自動化に関する検討
.....◎柳沼洋平・小出泰介・榎本裕亮・塙 大・小口喜美夫(成蹊大)
- K-034 仮想空間内の職業体験における行動履歴からの個人特性抽出
.....◎西出恭平・駒木建明・原田史子・島川博光(立命館大)
- K-035 料理コミュニケーション支援ソフトウェア Iwacam の一般家庭への導入事例報告◎山肩洋子(京大)

【サイバーワールド】

- 9月7日(火) 16:00～18:00 3D会場(総合学習プラザ1F 第8講義室) 座長 井原 雅行(NTT)
- K-036 ミュージアムコンテンツを基盤とする展示支援システムの研究◎星野浩司(九産大)・金 大雄・李重ヨブ(九大)
- K-037 視覚情報を用いた双方向コミュニケーション支援システム◎越口 渉・西山裕之(東理大)
- K-038 (講演取消)
- K-039 CG映像コンテンツのライブ型サーバサイドレンダリングに関する検討
.....◎浜口斉周・金子浩之・道家 守・井上誠喜(NHK)・熊澤逸夫(東工大)
- K-040 テンプレート形演出生成と適応型演出生成の組合せによる高機能 APE の試作
.....◎道家 守・浜口斉周・金子浩之・井上誠喜(NHK)
- RK-003 行動情報が明かす「なぜその人はその場所に行くのか」.....◎飯尾 淳・吉田圭吾・小池亜弥・清水浩行・
白井康之(三菱総研)・桑山晃一・栗山桂一(NTTドコモ)・
小浪宏信・高山隼佑(電通イーマーケティングワン)

【福祉情報工学(1)】

- 9月8日(水) 16:00～18:00 5D会場(総合学習プラザ1F 第8講義室) 座長 大倉 典子(芝浦工大)
- K-041 入力インタフェースのための随意性瞬目と自発性瞬目の基礎特性の比較◎田邊喜一(松江高専)
- K-042 重度肢体不自由児・者向け学習ソフトを作るための Flash 用スイッチ入力機能ライブラリの開発
.....◎吉田悠亮・為川雄二(東北大)・竹島久志(仙台高専)
- K-043 電動車いす用の事故防止のための周辺を見回すシステム◎山下良博・田村 仁・片山茂友(日本工大)
- K-044 視機能検査に用いる重心動揺計測システムの開発
.....◎上野貴広(工学院大)・築田明教・川端秀仁(かわばた眼科)・長嶋祐二(工学院大)
- K-045 ウェブアプリと無線ネットワークの連携による香り空間構築
.....◎木村優衣子・真田博文・竹沢 恵・岡崎哲夫(北海道工大)

【福祉情報工学(2)】

- 9月9日(木) 10:00～12:20 6D会場(総合学習プラザ1F 第8講義室) 座長 渡辺 寛望(山梨大)
- K-046 診断ルール生成のための高齢者ライフログからの特徴量の自動集積
.....◎室 寛和・佐藤直崇・原田史子・島川博光(立命館大)
- K-047 加速度センサを用いた日常歩行における高齢者のバランス評価◎埜口良太・原田史子・島川博光(立命館大)
- K-048 (講演取消)
- K-049 高齢者における異常および前兆発見のための歩行情報取得◎中井崇人・原田史子・島川博光(立命館大)
- K-050 避難所における高齢者の体調管理システム◎銀田圭吾・松本明華・原田康平・皆月昭則(釧路工大)
- K-051 高齢者のための歩行支援システムに関する研究◎西山祥悟・平山正治(大阪工大)
- K-052 在宅健康管理のための健康機器情報自動認識装置の開発◎白石直人・山海嘉之(筑波大)

【福祉情報工学(3)】

- 9月9日(木) 13:30～16:30 7D会場(総合学習プラザ1F 第8講義室) 座長 西本 卓也(東大)
- K-053 力覚装置を用いた視覚障がい者書字訓練システム◎村井保之(日本薬科大)・巽 久行・宮川正弘(筑波技術大)
- K-054 視覚障がい者のための LED 可視光通信による情報確保◎巽 久行・河原正治(筑波技術大)・
村井保之(日本薬科大)・荒木智行(広島工大)・宮川正弘(筑波技術大)
- K-055 視線解析による弱視者の視認支援への取り組み
.....◎村井保之(日本薬科大)・河原正治・◎巽 久行・関田 巖・宮川正弘(筑波技術大)
- K-056 視覚障害学生用 Web アプリケーション構築のためのプラットフォームの開発
.....◎伊藤裕二・成島朋美・三宅輝久・大越教夫・小野 東(筑波技術大)
- K-057 HMM に基づく手の動きと形状特徴のストリーム別クラスタリングを用いた手話認識手法
.....◎有賀光希・酒向慎司・北村 正(名工大)
- K-058 聴覚障害者のための緊急時意思伝達表示装置の開発◎平山 亮・田中喬明・◎虎谷安孝(金沢工大)
- K-059 要約筆記の品質評価システム◎高尾哲康(富山国際大)
- K-060 番組台本を利用した解説放送用原稿作成支援システム◎加藤直人・清水俊宏(NHK)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。(2010年12月31日時点で32歳以下)

※講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

L 分野：ネットワーク・セキュリティ（第4分冊）

[ネットワークの設計と評価]

- 9月7日（火） 10:00～12:30 1T会場（ウエスト2号館3F 第8講義室） 座長 村上登志男（学習院大）
- L-001 AX-ON-APIを用いたVLAN運用管理を支援するシステムの開発◎藤村真希・下川俊彦（九産大）
- L-002 ネットワーク記述言語を用いたネットワーク設計支援に関する一考察◎金子佳正・武田利浩・平中幸雄（山形大）
- L-003 アクセスリストコンパイラにおけるルール最適化手法◎加瀬智博・今泉貴史（千葉大）
- L-004 キャンパスネットワーク更新前の消費電力の簡易測定◎萩原洋一・櫻田武嗣（農工大）
- L-005 省電力端末を用いた無線センサネットワークにおける高信頼通信の提案◎泉井雄仁・後藤邦夫（南山大）
- L-006 斜面防災ネットワークにおけるデータ品質に基づくセンシング間隔最適化◎藤井宣久・埜口良太・原田史子・島川博光（立命館大）
- L-007 セキュリティー端末のシミュレーションによる通信のロバスト性に関する研究◎菊地翔吾・松田勝敬（東北工大）

[ネットワーク管理]

- 9月7日（火） 13:30～15:30 2T会場（ウエスト2号館3F 第8講義室） 座長 鈴木 聡（高エネルギー加速器研）
- RL-001 FPGAを用いた広帯域高遅延ネットワーク向けの利用可能帯域推定◎小泉賢一・稲葉真理・平木 敬（東大）
- L-008 Ethernet フレーム情報測定装置の研究・開発◎佐々木宏幸・松田勝敬（東北工大）
- L-009 RTTを用いた輻輳制御◎告 大輔・武田利浩・平中幸雄（山形大）
- L-010 バッファ情報を用いるクロスレイヤーフロー制御高橋 淳（ミネベア）・◎平中幸雄・武田利浩（山形大）
- L-011 ベイズ推定を用いた負荷分散ルーティングに関する研究◎寺本 翼・原 元司（松江高専）
- L-012 ネットワークエミュレータへのAndroidの組み込み◎馬場隆章・後藤邦夫（南山大）

[分散システム管理]

- 9月8日（水） 16:00～18:00 5T会場（ウエスト2号館3F 第8講義室） 座長 山井 成良（岡山大）
- L-013 IMSを利用した広域IPストレージ管理手法◎野本義弘（NTT）
- L-014 分散ファイルシステムにおける冗長化方式の一検討◎西谷明彦・寺下雅人・大岸智彦（KDDI研）
- L-015 分散サーバシステムの自律的な運用方法の検討◎寺下雅人・西谷明彦・大岸智彦（KDDI研）
- L-016 複数のWebクライアントの余剰リソース活用システムの実装と評価◎中野雄介・近藤 悟・森谷高明・赤埴淳一（NTT）
- L-017 ハイブリッドP2Pネットワークによる分散Webキャッシュの検討◎堀内克晃・原 元司（松江高専）
- L-018 データ収集システムにおける汎用データ通信システムの可視化に関する研究◎山脇康世・長坂康史（広島工大）

[暗号解析・解読]

- 9月7日（火） 10:00～12:40 1U会場（ウエスト2号館3F 302講義室） 座長 千田 浩司（NTT）
- L-019 A Keyed Hashing Chain Scheme and its Security Analysis against Timing Attack◎田村 仁（NICT）
- L-020 AESに実装されたレジスタに対する相互情報量解析の適用◎若林邦爾・岩井啓輔・黒川恭一（防衛大）
- L-021 対数モデルを用いた相関電力解析◎櫻井敦規・黒川恭一・岩井啓輔（防衛大）
- L-022 共通鍵ブロック暗号HyRALの不能差分攻撃について◎芝山直喜・五十嵐保隆・金子敏信・半谷精一郎（東理大）
- RL-002 Practical DHCP DNS Attack on WPA-TKIP --Breaking WPA-TKIP in realistic environment--◎小澤勇騎・藤堂洋介（Kobe University）・大東俊博（Hiroshima University）・森井昌克（Kobe University）
- RL-003 Attack against WPA-TKIP using Vulnerability of QoS Packet Processing--WPA-TKIP is not safe in realistic environment--◎藤堂洋介・小澤勇騎（Kobe University）・大東俊博（Hiroshima University）・森井昌克（Kobe University）
- L-023 CRYPTREC推奨暗号の64ビット環境下の高実装◎朝日康介・増田豊史・西川栄光・横山祐人・五十嵐保隆・金子敏信（東理大）
- L-024 認証手続きを効率化する3つ組暗号の改善◎八反地鉄平・大場 充・島 和之・佐藤康臣（広島市大）

[セキュリティ応用]

- 9月7日（火） 13:30～15:30 2U会場（ウエスト2号館3F 302講義室） 座長 三宅 優（KDDI研）
- RL-004 携帯情報端末のための局所輝度変化符号化法を用いた虹彩認証◎國宗高志・高野博史・中村清実（富山県大）
- L-025 自己組織化マップを用いたキーボード上に置かれた手指形状認識による画像認証手法◎中村孔明・高橋雅隆・納富一宏（神奈川工科大）・斉藤恵一（電機大）
- L-026 USBメモリによるポータブル環境のセキュリティ強化 - 自己組織化マップによる顔画像認証機能の実装 -◎高橋雅隆・山内俊明・納富一宏（神奈川工科大）
- L-027 再送戦略ポリシーの違いを利用したspam判別◎北川直哉・鈴木常彦（中京大）
- L-028 メールユーザエージェントによる送信ドメイン認証の実験◎山田真也・野口健一郎（神奈川大）
- L-029 HTMLにおける日本語の空白文字の扱い方に関する提案◎臼井義比古・西田泰伸（富山県大）

[ネットワークセキュリティ]

- 9月7日（火） 16:00～18:20 3U会場（ウエスト2号館3F 302講義室） 座長 須賀 祐治（インターネットイニシアティブ）
- RL-005 Honeypot設置に伴う近隣IPアドレスに対する攻撃傾向の分析◎下田晃弘（早大）・森 達哉（NTT）・後藤滋樹（早大）
- L-030 Design of User Support System for Combating against Malware◎Nobutaka Kawaguchi・Takayuki Yoda・Tatsunoshin Kawaguchi（Hitachi）・Toshihiko Kasagi（KDDI）・Yuji Hoshizawa（SecureBrain）

- L-031 電子透かしを用いたモバイルエージェント改ざん検出システム◎青戸 渉・原 元司 (松江高専)
 L-032 Integrity for the In-flight Web Page Using Fragile Watermarking○Peng Gao (Kyushu University)
 RL-006 HTTP 通信におけるブロックシ認証を利用した NAT ルータ配下の PC 識別手法
 ◎石川義基・山井成良・岡山聖彦 (岡山大)・中村素典 (国立情報研究所)
 L-033 ファイル操作による情報伝搬の追跡機能と可視化機能◎中務 亮・山内利宏・谷口秀夫 (岡山大)
 L-034 パケットフィルタリングルールの最適配置法◎嶋 良平・田中 賢 (神奈川大)

【認証フレームワーク】

- 9月8日(水) 16:00～18:00 5U会場(ウエスト2号館3F 302講義室) 座長 寺田 真敏(日立)
 L-035 放送を起点とした個人向け通信サービス利用におけるユーザ-機器認証連携フレームワーク
◎山村千草・藤井亜里砂・石川清彦 (NHK)・本間祐次・小尾高史・谷内田益義・李 中淳 (東工大)
 L-036 分散認証基盤を活用したプライベート情報交換アーキテクチャの提案◎今村 理・半井明大・大澤由憲 (東北大)・
 武田敦志 (東北学院大)・北形 元・白鳥則郎・橋本和夫 (東北大)
 L-037 S3F: Secure Sensor Sharing in NerveNet◎李 睿棟・井上真杉 (NICT)
 L-038 Infrastructure model and protocol for the assurance of the authentication data exchange format
 ◎Tallat Ahmed・Hiroshi Yasuda (Tokyo Denki University)・Shin Kilho (University of Hyogo)
 L-039 X.509 との後方互換性を持つ新しい公開鍵証明書フォーマット○須賀祐治 (インターネットイニシアティブ)
 L-040 仮想計算機 Xen における vTPM のアクセス制御の改良
◎森川浩明 (大阪市大)・榎原博之 (関西大)・中野秀男・大西克実 (大阪市大)

M 分野：ユビキタス・モバイルコンピューティング (第4分冊)

【SNS・コミュニケーション】

- 9月7日(火) 13:30～15:30 2K会場(総合学習プラザ2F 第14講義室) 座長 吉野 孝(和歌山大)
 M-001 ソーシャルメディア上での行動に基づく「キュレーター」検索手法の提案◎後藤清豪・高田秀志 (立命館大)
 M-002 電子ポートフォリオの利用に適した会員制 SNS システムの提案◎浅野佳代子・原 元司 (松江高専)
 M-003 Wiki の汎用グループ管理機能の開発◎田崎潔志・藤田 毅・黒野 繁・松本勝哉 (九産大)
 M-004 要求獲得におけるシステム連携検討のためのコミュニケーション支援○矢嶋健一・敷田幹文 (北陸先端大)
 M-005 様々な環境の同期対面型講義を考慮した講義支援システムにおけるコメント収集手法の検討
◎高松真伍 (創価大)・高木正則 (岩手県大)・勅使河原可海 (創価大)
 M-006 授業時間外協同作業の指導支援システムの検討○植竹朋文 (専大)・篠沢佳久 (慶大)

【ログ活用・モバイル】

- 9月7日(火) 16:00～18:00 3K会場(総合学習プラザ2F 第14講義室) 座長 高田 秀志(立命館大)
 M-007 iPhone を用いたライフログ収集システムの開発とライフストリームサービスへの応用
◎長田伊織・吉野 孝 (和歌山大)
 RM-001 目標中心の行動連鎖モデルに基づく対面協調型観光情報システム～歴史テーマパークへの適用～
◎高橋恭平・市川 尚・窪田 諭・阿部昭博 (岩手県大)
 M-008 携帯端末による写真撮影位置に基づく地域情報提示システムの提案
◎桑原崇史・田島孝治・大島浩太・寺田松昭 (農工大)
 M-009 すれ違い時の時間的制約を考慮した情報交換のための情報分類手法
◎山本純也・高田秀志・櫻内彬夫・西出 亮 (立命館大)
 M-010 携帯端末における通信コストを考慮した情報共有システムの設計と実装◎岩井祐太・西山裕之 (東理大)
 M-011 携帯電話を使ったセンサネットワークにおけるデータ送信制御方式の拡張検討
◎西村康孝・茂木信二・吉原貴仁 (KDDI 研)

【ネットワークストレージ】

- 9月8日(水) 10:00～12:30 4K会場(総合学習プラザ2F 第14講義室) 座長 杉田 薫(福岡工大)
 M-012 複製計算モデルに基づくオブジェクト共有手法における複製オブジェクトの楽観的な一貫性管理手法の提案
◎植田 亘・高田秀志 (立命館大)
 M-013 太陽光発電による旧型 PC のグリッドの提案◎藤井賢一・山際 基・上原 稔 (東洋大)
 M-014 異なる種類のログの統合的保管に関する提案◎友野敬大・上原 稔・島田裕次 (東洋大)
 M-015 NaryRAID の評価◎中村祐司・上原 稔 (東洋大)
 M-016 複数サーバ接続の多段キャッシュストレージにおけるキャッシュ置換法◎長廻雄介・山口実靖 (工学院大)
 M-017 高集約サーバ統合環境における仮想計算機の性能に関する考察◎越智俊介・山口実靖 (工学院大)

【ブロードバンドネットワークと通信プロトコル】

- 9月8日(水) 16:00～18:00 5K会場(総合学習プラザ2F 第14講義室) 座長 重安 哲也(広島国際大)
 M-018 超高速無線通信ベースバンドシステム用クロック生成器○大庭信之・甲田泰照・片山泰尚 (日本IBM)
 M-019 IEEE802.3x 流量制御におけるパケットカウンタを用いたポーズ時間制御方式◎早坂光雄・大島 訓 (日立)
 M-020 オーバレイネットワークにおける遅延時間のシミュレーションと PlanetLab の比較
◎伊藤和也・島 和之 (広島市大)
 M-021 オーバレイマルチキャストを利用した複数チャネル配信方式の検討
◎大谷晋一郎・謝 夢・綾木良太・島田秀輝・佐藤健哉 (同志社大)
 M-022 映像コンテンツ配信における再生高速化のための再生方式と映像レート選択制御
◎峯 慎吾・中島宏一・阿倍博信・奥村誠司 (三菱)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。(2010年12月31日時点で32歳以下)

※講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- M-023 トークンリングアルゴリズムを用いた複製オブジェクト環境におけるメッセージ配送方式
.....◎笠井康寛・植田 亘・高田秀志 (立命館大)

[公共交通システムと路車間通信]

9月9日(木) 10:00～12:30 6K会場(総合学習プラザ2F 第14講義室) 座長 梅津 高朗(阪大)

- M-024 (講演取消)
M-025 (講演取消)
M-026 (講演取消)
M-027 (講演取消)
M-028 バス車内のリアルタイム異常検知支援システム設置に向けたエルゴノミクスの検討
.....◎竹下峰弘・中平勝子・三上喜貴(長岡技科大)

RM-002 [FIT論文賞受賞論文]

LED Traffic Light Detection Using a High-speed-camera for a Road-to-vehicle Visible Light Communication System
.....◎Halpage Chinthaka Nuwandika Premachandra・Tomohiro Yendo・Mehrddad Panahpour Tehrani・Takaya Yamazato (Nagoya University)・Hiraku Okada (Saitama University)・Toshiaki Fujii (Tokyo Institute of Technology)・Masayuki Tanimoto (Nagoya University)

- RM-003 路車間並列光通信の通信路特性と受信システム◎増田幸仁・圓道知博・山里敬也(名大)・岡田 啓(埼玉大)・メヒルダゴパナヒブル テヘラニ(名大)・藤井俊彰(東工大)・谷本正幸(名大)

[高度交通システム]

9月9日(木) 13:30～16:30 7K会場(総合学習プラザ2F 第14講義室) 座長 屋代 智之(千葉工大)

- M-029 自動車走行環境下におけるハイパースペクトルセンシングの予備的検討
.....◎小松田忠良・佐鳥 新・伊藤那智(北海道工大)
RM-004 累積投票特徴変換による Botts Dot 検知◎吉見航介・櫻井和之・高橋勝彦(NEC)
M-030 墨入れの色網点モデルによる道路標識の特定色空間について◎荒井雄介・金 義鎮(東北学院大)
M-031 人工意識システム(ACS)及び意識強調システム(CAS)による車と交差点での交通整理ロボット脳の試み
.....◎長谷川勝夫(元名大)
RM-005 高速移動環境下における OFDM 通信のチャネル推定法◎名取隆廣・田邊 造(諏訪東理大)・古川利博(東理大)
M-032 ITSがドライバに与える影響の異種シミュレータ連携による評価支援法の提案
.....◎志甫侑紀・菅原祐人・佐々木夏朗・古市昌一(日大)
M-033 強化学習を利用した信号制御◎後藤健志・鈴木輝彦・太原育夫(東理大)
M-034 異種シミュレータ連携による統合シミュレータ構築の検討
.....◎中村慎吾・井手口哲夫・田 学軍・奥田隆史(愛知県大)

[P2P・ネットワークアプリケーション]

9月7日(火) 13:30～15:30 2L会場(総合学習プラザ2F 第15講義室) 座長 上原 稔(東洋大)

- M-035 多言語プラットフォーム上で動作する P2P 型複製オブジェクト環境の構築
.....◎市川泰宏・山本佑樹・高田秀志(立命館大)
M-036 独立分散型レイヤ2透過プロキシシステム上でのネットワークキャッシングによるサーバロードバランスの実現と評価
.....◎桜打彬夫(立命館大)・Rick McGeer (Hewlett-Packard Laboratories)・高田秀志(立命館大)
M-037 協調作業支援システムのための P2P 型複製オブジェクト環境におけるソフトウェアモデルの検討
.....◎鈴木 悟・高田秀志(立命館大)
M-038 P2P 型複製オブジェクト環境における端末の中途参加プロトコルの提案
.....◎吉田英人・鈴木 悟・高田秀志(立命館大)
M-039 ARを利用した家電機器操作のためのマーカ技術の検討
.....◎三原進也・坂本 陽・綾木良太・島田秀輝・佐藤健哉(同志社大)
M-040 電力の見える化システムの設計と実装
.....◎武田利浩・平中幸雄(山形大)・多田慎吾・境 修・金内秀志(山形県工業技術センター)

[携帯電話・センサシステム]

9月7日(火) 16:00～18:00 3L会場(総合学習プラザ2F 第15講義室) 座長 藤野 信次(富士通研)

- RM-006 ユーザ状況推定技術を応用した乗換案内アプリケーションの実装と評価
.....◎岡本雄三・長 健太・池谷直紀・瀬戸口久雄・服部正典(東芝)
M-041 携帯端末の性能を考慮した画像処理システムの設計と実装◎衛門一樹・西山裕之(東理大)
M-042 知的照明システムにおけるワイヤレス照度センサの無線性能
.....三木光範・廣安知之・吉見真聡・◎松谷和樹・伊藤博高(同志社大)
M-043 知的照明システムにおける TCP/IP 通信を用いた照度センサネットワーク
.....三木光範・廣安知之・吉見真聡・◎下村浩史・笠原佳浩(同志社大)
M-044 知的照明システムにおけるワイヤレス照度センサの省電力制御アルゴリズム
.....三木光範・廣安知之・吉見真聡・◎長野正嗣・米本洋幸(同志社大)
M-045 センサネットワークにおける検索クエリ効率化の提案◎齋藤祐里・藤田 悟(法大)

[ストリーミング・無線通信]

9月8日(水) 10:00～12:30 4L会場(総合学習プラザ2F 第15講義室) 座長 田頭 茂明(九大)

- M-046 早送り再生を考慮した選択型コンテンツの放送型配信におけるスケジューリング手法
.....◎後藤佑介(岡山大)・義久智樹(阪大)・谷口秀夫(岡山大)
M-047 複数チャネルを考慮したモバイルライブストリーミング配信サービスの提案
.....◎谷川 諒・一瓢達也・綾木良太・島田秀輝・佐藤健哉(同志社大)

- M-048 インターネットストリーミングサービスにおける動的サービス制御方式の性能評価
.....○磯村 学・今井尚樹・吉原貴仁 (KDDI 研)
- M-049 救助指揮系統を基にした MANET における遅延極小化.....◎奥田裕樹・原田史子・島川博光 (立命館大)
- M-050 デュアルモード端末における無線 LAN 省電力待受け方式の実装と評価
.....○今井尚樹・李 明媚・磯村 学・吉原貴仁 (KDDI 研)
- M-051 ノードの移動を考慮した局地的経路切換え◎前田貴匡・中村康弘 (防衛大)
- M-052 携帯端末を利用した無線 LAN の自動設定方法の提案◎土岐 卓・荒井大輔・吉原貴仁 (KDDI 研)

[位置情報]

- 9月8日(水) 16:00 ~ 18:00 5L 会場 (総合学習プラザ 2F 第 15 講義室) 座長 内山 彰 (阪大)
- RM-007 実環境における UWB 測距誤差モデルと累積ポテンシャルに基づく位置推定
.....◎樋原直之・小泉吉秋・久代紀之 (三菱)
- M-053 (講演取消)
- M-054 超音波を用いた屋内測位システムにおける測位誤差要因とその評価
.....◎須永 光・羽田昂史・秋山征己・五百蔵重典・田中 博 (神奈川工科大)
- M-055 行動履歴を利用したユーザ支援◎片桐郭順・伊奥田光宏 (千葉工大)
- M-056 GPS を用いた携帯電話による歩行ルート誤り警告システム◎谷川広和・長坂康史 (広島工大)
- M-057 Bluetooth デバイスの観測履歴を用いた雑踏検出と位置情報を併用した応用アプリケーションの試案
.....◎西出 亮・高田秀志 (立命館大)

[クラウドとモバイル通信]

- 9月9日(木) 10:00 ~ 12:30 6L 会場 (総合学習プラザ 2F 第 15 講義室) 座長 荒川 豊 (九大)
- M-058 セキュアモバイルアクセス基盤の提案 ...○梅澤克之・磯川弘実・本澤 純・川連嘉晃・堀健太郎・南 幸雄 (日立)・砂田一茂 (インデックス沖縄)・手塚 悟 (東京工科大)
- RM-008 セキュアモバイルアクセス基盤の MICE 事業への適用と評価○磯川弘実・梅澤克之・本澤 純・川連嘉晃・堀健太郎・南 幸雄 (日立)・砂田一茂 (インデックス沖縄)・手塚 悟 (東京工科大)
- RM-009 分散型 e-Learning システムのマルチメディアデータ管理
.....◎目黒一成・山本大介・本村真一・笹間俊彦・川村尚生・菅原一孔 (鳥取大)
- RM-010 キャッシュによるモバイルエージェントの移動高速化
.....◎東野正幸・本村真一・笹間俊彦・川村尚生・菅原一孔 (鳥取大)
- M-059 サービス提供基盤を用いたクラウドシステム選択方式の提案と実装
.....○千葉恒彦・伊藤 学・北辻佳憲・横田英俊 (KDDI 研)
- M-060 センサネットワークのクラウドへの統合のためのデータフォーマットの検討
.....◎中村 悟・武田利浩・平中幸雄 (山形大)
- M-061 ブラウザのキャッシュと利用者操作ログを用いた Web アプリケーション高可用化手法の実装と評価
.....◎荒井大輔・吉原貴仁 (KDDI 研)

[行動センシング]

- 9月7日(火) 13:30 ~ 15:30 2M 会場 (総合学習プラザ 2F 第 16 講義室) 座長 大内 一成 (東芝)
- M-062 SunSPOT を用いた老人介護施設支援システム◎秦 祐輔・長坂康史 (広島工大)
- M-063 街なかソーシャル・ブックマーキング" pin@clip ビナクリ" - e 空間実現のためのサービス実証実験の全体像 -
.....◎中尾敏康 (NEC)・相原健郎 (NII)・小方 靖 (東急エージェンシー)・田代光平 (東京急行電鉄)・小柴 等 (NII)・宮崎陽司・小西勇介 (NEC)・武田英明 (NII)・佐々木憲二 (東急エージェンシー)・金山明煥 (東京急行電鉄)
- M-064 行動ログを用いたユーザ特性の解析とその活用 - e 空間実現のためのユーザ特性に関する研究 -
.....○相原健郎・小柴 等 (NII)・小田朋宏・西中芳幸・松原伸人 (SRA)・武田英明 (NII)
- RM-011 距離的なコストが情報閲覧および実行動に及ぼす影響 - e 空間実現のための価値割引に関する研究 -
.....◎小柴 等・相原健郎・武田英明 (NII)・宮崎陽司・小西勇介・中尾敏康 (NEC)
- M-065 参照用無線機を用いた電波環境変動に対して頑健な無線 LAN 位置検知方式 - e 空間実現のための人ログ収集技術の研究 -
.....○小西勇介・中尾敏康 (NEC)
- M-066 大型店舗におけるセンサを用いた人・スポットの状況推定の試み - e 空間実現のための人・環境センサ活用 -
.....○宮崎陽司・小西勇介・中尾敏康 (NEC)・小柴 等・相原健郎・武田英明 (NII)

[ユビキタスコンピューティング]

- 9月7日(火) 16:00 ~ 18:00 3M 会場 (総合学習プラザ 2F 第 16 講義室) 座長 寺田 努 (神戸大)
- M-067 (講演取消)
- M-068 照度分布を基に個別照度環境を実現する知的照明システム
.....三木光範・廣安知之・吉見真聡・◎吉井拓郎・田中慎吾・秋田雅俊・米本洋幸 (同志社大)
- M-069 学習アルゴリズムを用いたコンセントによる待機電力の削減
.....○天野賢二・森 雅智・間 博人・斉藤匡人・金澤貴俊・徳田英幸 (慶大)
- M-070 拡張現実感技術によるアドホックネットワーク可視化システムの設計
.....◎辨野 司・坂本直弥・綾木良太・島田秀輝・佐藤健哉 (同志社大)
- M-071 ネットワークサービスを非常時に継続提供するためのアカウント管理方式の提案
.....◎田坂和之・吉原貴仁 (KDDI 研)
- RM-012 Recommender System for Device Sharing in Ubiquitous Environments
.....○Jong-Hyun Park・廣川佐千男 (九大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。(2010 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下)

※講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

N 分野：教育・人文科学（第 4 分冊）

〔電子化知的財産・社会基盤〕

- 9月8日（水） 16:00～18:00 5P 会場（ウエスト2号館3F 第4講義室） 座長 高橋 由泰（日立）
- N-001 インターネットによる簡易保険販売の可能性○井出 明（首都大）
- RN-001 撮像位置推定のための盗撮動画画像上の特徴点検出法○宗石和久（防衛大）
- N-002 DRM 技術の最適組み合わせに関する考察○飯田陽一・関亜紀子（日大）
- N-003 ウェブ絵本に対する統一化ビューの考えを取り入れた子ども電子図書室での蔵書の充実
.....○豊國菜々・浅野仁彦・田村美帆・劉 佳・中島 誠（大分大）・佐藤允昭（別府大）・伊藤哲郎（大分大）

〔コンピュータと教育〕

- 9月9日（木） 10:00～12:20 6P 会場（ウエスト2号館3F 第4講義室） 座長 坪倉 篤志（日本文理大）
- N-004 情報環境学部の「情報科教育法」への取り組み○土肥紳一・今野紀子（電機大）
- N-005 インターネットを利用した情報技術学習支援システム－S-P 表による学習評価の検討－
.....○久津間啓右・佐々木龍・泉 隆（日大）
- N-006 情報技術演習システムを利用した学習者の評価－ニューラルテスト理論による学習評価－
.....○佐々木龍・久津間啓右・泉 隆（日大）
- N-007 e ポートフォリオにおけるフィードバックを支援するシステムの提案○寺村 将（創価大）
- N-008 作問演習において理解度向上を支援する作問手順の検討
.....○小谷篤司・勅使河原可海（創価大）・高木正則（岩手県大）
- N-009 ICT 活用による 3D-CG 教材設計の検討－ヒューマンインターフェース・三種の神器・授業・JavaWeb カメラ－
.....○今井幸雄（神奈川工科大）
- N-010 プログラミング言語学習におけるモチベーション向上策の検討
.....○菊池慎也・加藤亮祐・板倉佑典・佐野奈津子・藤岡直矢・崎山 充・皆月昭則（釧路工大）・林 秀彦（鳴門教育大）

〔人文科学とコンピュータ〕

- 9月9日（木） 13:30～15:10 7P 会場（ウエスト2号館3F 第4講義室） 座長 後藤 真（花園大）
- N-011 歴史資料画像の比較表示における対応点数と誤差の評価○川北明広（芝浦工大）・安達文夫（国立歴史民俗博物館）・徳永幸生（芝浦工大）・杉山 精（東京工芸大）
- N-012 歴史データベース検索のユーザインタフェースを考慮した利用度推定○小野田賢人（芝浦工大）・安達文夫（国立歴史民俗博物館）・徳永幸生（芝浦工大）・杉山 精（東京工芸大）
- N-013 日本史料における翻刻データの管理と編集支援○山田太造・井上 聡・遠藤珠紀・久留島典子（東大）
- RN-002 多言語資源作成のための統語・オントロジー情報を付与するアプリケーションの開発
.....○鈴木慎吾（京産大）・山崎直樹（関西大）・○堀 一成（阪大）
- N-014 英文絵本の計量言語学的特徴抽出○伴 浩美（東京未来大）・大藪多可志（金沢星稜大）

O 分野：情報システム（第 4 分冊）

〔分散・Web サービス・クラウド〕

- 9月7日（火） 10:00～12:30 1E 会場（総合学習プラザ1F 第9講義室） 座長 石川 冬樹（NII）
- RO-001 リソース不足に起因する Web システム障害のストリーム DB を用いた予兆検知
.....○吉野松樹（日立）・薦田憲久（阪大）・半田敦郎（日立）・大場みち子（はこだて未来大）
- O-001 在庫調整機能を有する製造業における多段階 SCM 設計問題へのマルチタスク非同期環境分散ランダムキー型 GA の応用
.....○井上古樹（宮崎産業経営大）
- O-002 分散環境におけるトランザクション分割○片岡慶二・新川芳行（龍谷大）
- RO-002 スレッドローカル変数を用いた Web アプリケーションのマルチテナント化方式の開発と仮想化方式との比較
.....○乾 敦行・高野英樹・秋藤俊介（日立）
- O-003 User-Centered Dynamic Service Invocation Control○林 冬恵・村上陽平・田仲正弘（NICT）
- O-004 サービス指向集合知のための複合サービス制御フレームワーク
.....○田仲正弘・村上陽平・林 冬恵（NICT）・石田 亨（京大）
- O-005 （講演取消）

〔マネジメント・モデリング・育成〕

- 9月9日（木） 10:00～12:30 6E 会場（総合学習プラザ1F 第9講義室） 座長 新川 芳行（龍谷大）
- RO-003 理念共有型の地域産学協同 IT 人材育成体系の形成○庄子栄光・宮西洋太郎（仙台ソフトウェアセンター）・樋地正浩（日立東北ソリューションズ）・岩本正敏（東北学院大）・脇山俊一郎（仙台高専）・富樫 敦（宮城大）・曾根英昭・中尾光之（東北大）
- RO-004 学生の研究活動におけるプロジェクトマネジメントの有効性○宮西洋太郎・庄子栄光（仙台ソフトウェアセンター）・樋地正浩（日立東北ソリューションズ）・村上隆生（サイエンティア）・岩本正敏（東北学院大）・脇山俊一郎（仙台高専）・富樫 敦（宮城大）・曾根秀昭・中尾光之（東北大）
- O-006 ビジネスゲームを用いた技術者の経営感覚育成
.....○樋地正浩（日立東北ソリューションズ）・浜田良樹・戸潤宏太（東北大）
- O-007 IC カード学生証を用いた出席記録・進捗管理支援システム○沖 恭志・長坂康史（広島工大）

- O-008 機能仕様と振る舞い仕様間の整合性◎安田佳宏・新川芳行（龍谷大）
 O-009 電子書籍のコンテンツの制作・流通システム－放送大学教材を例として－
○兄玉晴男・柳沼良知・鈴木一史（放送大／総合研究大学院大）
 O-010 Studies on the Influences of Economic Responsibility under EPR and Producer's Adaptive Strategy
◎Yiping ZHAO・Jun OHYA（Waseda University）

【ライフログとナレッジマネジメント】

- 9月7日（火） 10:00～12:30 1F会場（総合学習プラザ1F 第10講義室） 座長 若原 俊彦（福岡工大）
 O-011 行動履歴を利用したグループレコメンデーションのためのコンテンツフィルタリング手法
◎瀬古俊一・茂木 学・八木貴史・武藤伸洋（NTT）・阿部匡信（岡山大）
 O-012 写真による対人ログデータからの親密度推定◎谷澤幹也・Gamhewage de Silva・山崎俊彦・相澤清晴（東大）
 O-013 リモコン操作時間間隔に着目したTV番組選択に関する一考察
◎渡部智樹・青木良輔・小林 稔・阿部匡伸（NTT）
 O-014 プロフサイトの内容解析による非行逸脱行為判定の検討◎嘉村準弥・中村健二・小柳 滋（立命館大）
 O-015 プロフサイト内の人間関係解析によるネットパトロール支援に関する研究
◎荒川裕子・中村健二・小柳 滋（立命館大）
 O-016 学術研究を実施するための組織構築におけるナレッジマネジメント活用の一考察◎小川直樹・赤城真生・菅生佳孝・榎原孝志・崎山 充・藤岡直矢・菊池慎也・皆月昭則（釧路工大）
 O-017 暗黙的な知識の再利用を目的とした電子的な付箋の分類手法◎三澤勇太・山中啓祐・高田秀志（立命館大）

【情報システムと社会】

- 9月7日（火） 16:00～18:00 3F会場（総合学習プラザ1F 第10講義室） 座長 宮西洋太郎（仙台ソフトウェアセンター）
 O-018 地方路線バス会社へのICカード乗車券導入モデルの分析◎浅野智隆・森本祥一（専大）・斎藤拓巳（滋賀大）
 O-019 MOBS: 空間を共有し移動するユーザー群のための情報交換サービス◎伊藤可久・小川克彦（慶大）
 O-020 GTD 初心者タスク管理を支援するタスクコンシェルジュの開発
◎木崎 悟・成田 亮・丸山英通・中鉢秋秀・長尾雄行（産業技術大）
 O-021 （講演取消）
 RO-005 情報共有を円滑にするための明示的な返信を不要とするコミュニケーションツール
◎矢田久美子・白石善明（名工大）・毛利公美（岐阜大）

【安全安心・環境】

- 9月8日（水） 10:00～12:30 4F会場（総合学習プラザ1F 第10講義室） 座長 畑山 満則（京大）
 O-022 小学生向け食育支援システム◎吉田昌平・佐藤俊幸・高木正則・山田敬三・佐々木淳（岩手県大）
 O-023 住民参加型による3次元ユニバーサルデザインマップの提案
◎深澤公哉・窪田 諭・市川 尚・狩野 徹・阿部昭博（岩手県大）
 O-024 家電の利用状況モニタリングによる独居者安否見守りシステム(1)～全体概要と基本コンセプト～
◎石田和生・廣澤一輝・田村美保子・甲斐正義（NECシステムテクノロジー）
 O-025 家電の利用状況モニタリングによる独居者安否見守りシステム(2)～安否判断のためのガイドライン～
◎廣澤一輝・田村美保子・石田和生・甲斐正義（NECシステムテクノロジー）
 O-026 家電の利用状況モニタリングによる独居者安否見守りシステム(3)～実証実験と今後の課題～
◎田村美保子・廣澤一輝・石田和生・甲斐正義（NECシステムテクノロジー）
 O-027 実オフィスに導入した照明制御システムの稼働状況の可視化システム
三木光範・◎今宮久夫・廣安知之・吉見真聡（同志社大）
 O-028 九州大学における消費電力の見える化プロジェクト
◎古賀昭浩・田中裕大・土肥祐樹・本田恭敬・山浦 武・米田賢太郎（九大）

【画像処理応用】

- 9月8日（水） 16:00～18:00 5F会場（総合学習プラザ1F 第10講義室） 座長 山元 規靖（福岡工大）
 RO-006 【船井ベストペーパー賞受賞論文】
 高密度情報化を可能とするQRコード符号化方式について◎遠藤祐介・廣友雅徳・森井昌克（神戸大）
 O-029 QRコードの画像多重化特性の検討◎若原俊彦・山元規靖・越智祐樹（福岡工大）
 O-030 アンサンブル学習型ニューラルネットワークを用いた衛星画像の水田抽出モデル
◎岸田和也・山口崇志・ケネス マッキン・永井保夫（東京情報大）

【情報検索・情報推薦】

- 9月9日（木） 10:00～12:30 6F会場（総合学習プラザ1F 第10講義室） 座長 窪田 諭（岩手県大）
 O-031 オンラインショッピングサイトの自動評価手法の一考察◎長谷川拓哉・関亜紀子（日大）
 O-032 レコメンデーションエージェントによる多機能検索モデル◎徳本真平・Ivan Tanev・下原勝憲（同志社大）
 O-033 地域固有の知識ベース充実に向けたシステム構成の提案◎菅原達也・高木正則・山田敬三・佐々木淳（岩手県大）
 O-034 株投資における推薦およびユーザー補助システムの提案◎庭野雄一・Ivan Tanev・下原勝憲（同志社大）
 O-035 iPod touchによるスクラップブックシステムの開発◎藤岡奈穂・芝 治也・吉良 元（高知高専）
 RO-007 ユーザーの選択履歴に依存しない指標を利用したserendipityのある推薦方式の提案と評価
◎秋山高行・小原清弘・谷崎正明（日立）
 O-036 ユビキタスシステムにおける推奨方法の応用研究
◎石野正彦（福井工大）・五月女健治（法大）・工藤 司（静岡理工科大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）

※著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。（2010年12月31日時点で32歳以下）

※講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

FIT2010 第9回情報科学技術フォーラム 論文査読者一覧

陳 幹 (南山大)	大野 健彦 (NTT)	櫻井 祐子 (JST)
相田 慎 (豊橋技科大)	岡野 浩三 (阪大)	佐々木 整 (拓大)
青木 義満 (慶大)	小川 一美 (愛知淑徳大)	佐藤 隆 (NTT)
赤羽 克仁 (東工大)	萩島 創一 (東京医歯大)	沢田 篤史 (南山大)
阿部 昭博 (岩手県大)	小倉加奈代 (北陸先端大)	塩入 論 (東北大)
天野 英晴 (慶大)	小野 成志 (根津育英会)	重野 寛 (慶大)
阿萬 裕久 (愛媛大)	梶 克彦 (名大)	繁樹 博昭 (高知工科大)
新井 雅之 (首都大)	片岡 章俊 (龍谷大)	志築文太郎 (筑波大)
荒井 秀一 (東京都市大)	甲藤 二郎 (早大)	篠田 浩一 (東工大)
新井 啓之 (NTT)	加藤 貴司 (岩手県大)	渋谷 進 (大学評価・学位授与機構)
荒川 豊 (九大)	加藤 博一 (奈良先端大)	島岡 政基 (セコム)
襟 肅之 (NTT)	金井 敦 (法政大)	宿口 雅弘 (三菱)
飯田 龍 (東工大)	金子 晴彦 (東工大)	城 和貴 (奈良女子大)
井口 和久 (NHK)	金子 寛彦 (東工大)	如澤 裕尚 (NTT)
石川 孝明 (早大)	金子 格 (東京工芸大)	新川 芳行 (龍谷大)
石川 彰夫 (KDDI 研)	神沼 靖子 (なし)	新谷 虎松 (名工大)
石島 悌 (大阪府産総研)	神谷 聡史 (NEC)	菅野 勝 (KDDI 研)
石田 貴士 (東工大)	神谷 祐樹 (NEC)	菅原 俊治 (早大)
石原 進 (静岡大)	亀岡 弘和 (NTT)	杉原 太郎 (北陸先端大)
泉 知論 (立命館大)	川島 英之 (筑波大)	杉山 一成 (シンガポール国立大)
磯 友輝子 (東京未来大)	川田 亮一 (KDDI 研)	杉山 博史 (東芝)
板井 志郎 (早大)	河邊 隆寛 (九州大)	鈴木 聡 (高エネルギー加速器研)
市瀬龍太郎 (NII)	川又 武典 (三菱)	芹川 聖一 (九工大)
伊藤 康一 (東北大)	神崎 映光 (阪大)	関口 俊一 (三菱)
乾 孝司 (筑波大)	菊池 浩明 (東海大)	高木 幸一 (KDDI 研)
井上 智雄 (筑波大)	吉瀬 謙二 (東工大)	高橋 由泰 (日立)
今泉 貴史 (千葉大)	北 栄輔 (名大)	高村 誠之 (NTT)
井村 誠孝 (阪大)	木谷 友哉 (静岡大)	武田 一哉 (名古屋大)
入江 英嗣 (電通大)	北村 泰彦 (関西学院大)	武田 英明 (NII)
岩井 将行 (東大)	木下 哲男 (東北大)	武仲 正彦 (富士通研)
岩崎 新一 (NEC)	木全 英明 (NTT)	田坂 和之 (KDDI 研)
岩沼 宏治 (山梨大)	木本 崇博 (NEC 情報システムズ)	橘 昌良 (高知工科大)
岩橋 政宏 (長岡技科大)	久我 守弘 (熊本大)	田邊 勝義 (NTT)
上崎 亮 (パナソニック)	工藤 司 (静岡理工科大)	谷川 眞一 (京大)
宇陀 則彦 (筑波大)	久保田 彰 (中大)	谷田 英生 (東大)
内田 渉 (NTT ドコモ)	窪田 歩 (KDDI 研)	田原 康之 (電通大)
内山 彰 (阪大)	倉本 到 (京都工繊大)	玉地 雅浩 (藍野大学)
内海 章 (ATR)	桑原 和宏 (立命館大)	田村 直良 (横浜国大)
梅津 高朗 (阪大)	古賀 久志 (電通大)	張 熙 (電通大)
梅村 浩之 (産総研)	小坂 崇之 (金沢高専)	塚田 浩二 (お茶の水女子大)
浦本 直彦 (日本 IBM)	小尻 智子 (名大)	辻 秀一 (東海大)
江口 浩二 (神戸大)	小林 一樹 (信州大)	土屋 達弘 (阪大)
江渡浩一郎 (産総研)	小林 正樹 (山梨大)	土居 元紀 (阪電通大)
遠藤 秀則 (NTT データ)	古原 和邦 (産総研)	土井 裕介 (東芝)
大石 康智 (NTT)	小森 政嗣 (阪電通大)	戸川 望 (早大)
大島 千佳 (佐賀大)	斎藤 寿樹 (JST)	富澤 眞樹 (前橋工科大)
大杉 直樹 (NTT データ)	斉藤 典明 (NTT)	内藤 整 (KDDI 研)
太田 唯子 (富士通研)	酒井 幸仁 (東洋大)	苗村 健 (東大)
太田 陽基 (KDDI 研)	坂下 秀 (アクタスソフトウェア)	永井 保夫 (東京情報大)
太田 賢 (NTT ドコモ)	坂下 善彦 (湘南工科大)	教伸 (ルネサスエレクトロニクス)
大館 陽太 (東北大)	坂本 大介 (JST)	仲尾 由雄 (富士通)
大西 真晶 (NICT)	坂本 修一 (東北大)	中尾 敏康 (NEC)

中川 章 (富士通研)
 中川 剛志 (JR 東日本)
 永崎 研宣 (人文情報学研)
 永田 亮 (甲南大)
 中谷 桃子 (NTT)
 中野 倫靖 (産総研)
 長野 伸一 (東芝)
 中村 聡史 (京大)
 中村 勝一 (福島大)
 鍋島 英知 (山梨大)
 南里 豪志 (九大)
 西 康晴 (電通大)
 西 宏章 (慶大)
 西 宏之 (崇城大)
 西浦 敬信 (立命館大)
 西崎 真也 (東工大)
 西崎 博光 (山梨大)
 新田 直也 (甲南大)
 沼尾 正行 (阪大)
 野地 保 (東海大)
 野田 夏子 (NEC)
 野田 秀樹 (九工大)
 野中 秀俊 (北大)
 野中 誠 (東洋大)
 橋田 光代 (関西学院大)
 橋本 祐介 (NEC)
 橋本 幹生 (東芝)
 橋本 康弘 (東大)
 橋本 直 (JST)
 長谷川 立 (東大)
 長谷山美紀 (北大)
 波多野賢治 (同志社大)
 幡生 敦史 (NEC)
 服部 文夫 (立命館大)
 羽生田栄一 (豆蔵)

碓川 友宏 (静岡大)
 平山 雅之 (IPA)
 平山 勝敏 (神戸大)
 廣安 知之 (同志社大)
 深澤 佑介 (NTT ドコモ)
 福田 直樹 (静岡大)
 藤井 俊彰 (東工大)
 藤田 悟 (法大)
 藤田 茂 (千葉工大)
 藤原 洋志 (豊橋技科大)
 藤原 康宏 (岩手県大)
 船越孝太郎 (ホンダ RIJ)
 古瀬 慶博 (三菱スペースソフトウェア)
 宝珠山 治 (NEC)
 堀田 一弘 (名城大)
 堀 幸雄 (香川大)
 堀川 隆 (NEC)
 堀米 明 (フィジオ)
 前田 敦司 (筑波大)
 増原 英彦 (東大)
 松居 辰則 (早大)
 松坂 要佐 (産総研)
 松田 一朗 (東理大)
 松本 剛史 (東大)
 三木 良雄 (日立)
 水野 修 (京都工繊大)
 南 和宏 (NII)
 峯 恒憲 (九大)
 三部 良太 (日立)
 宮下 芳明 (明大)
 宮島 廣美 (鹿児島大)
 宮寺 庸造 (東京学芸大)
 三輪 昌史 (徳島大)
 棕木 雅之 (京大)
 武藏 泰雄 (熊本大)

村上 浩司 (奈良先端大)
 村山 淳 (東京理科大)
 森川 幸治 (パナソニック)
 森田 裕介 (早大)
 諸岡 健一 (九大)
 門田 暁人 (奈良先端大)
 八杉 昌宏 (京大)
 矢竹 健朗 (北陸先端大)
 山井 成良 (岡山大)
 八横 博史 (名大)
 山地 一禎 (NII)
 山添 大丈 (ATR)
 山田 敏規 (埼玉大)
 山田 武士 (NTT)
 山中 克久 (電通大)
 山元 規靖 (福岡工大)
 横田 隆史 (宇都宮大)
 吉井 和佳 (産総研)
 吉岡 真治 (北大)
 吉澤 真吾 (北大)
 吉田 浩章 (東大)
 吉田 俊介 (NICT)
 吉田 稔 (東大)
 吉野 孝 (和歌山大)
 米山 暁夫 (KDDI 研)
 若原 俊彦 (福岡工大)
 和田 有史 (農研機構)
 渡邊 豊英 (名大)
 渡辺 健次 (佐賀大)
 渡部 広一 (同志社大)

他 6 名

以上 計 262 名 (50 音順・敬称略)

IPSJ：一般社団法人 情報処理学会

ISS：社団法人 電子情報通信学会情報・システムソサイエティ

HCG：社団法人 電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ

FIT 委員名簿

FIT 推進委員会

ISS 委員長	木戸出正継 (奈良先端大)
IPSJ 委員長	水野忠則 (静岡大)
ISS 委員	安里 彰 (富士通), 北原 格 (筑波大), 高橋 潤 (富士通研), 八木貴史 (NTT)
HCG 委員	大野健彦 (NTT)
IPSJ 委員	吉川正俊 (京大), 茂木 強 (三菱電機), 佐藤三久 (筑波大), 岡田謙一 (慶大)
実行委員長	山下雅史 (九大 /FIT2010), 高橋 修 (はこだて未来大 /FIT2011)
プログラム委員長	村山優子 (岩手県大 /FIT2010), 井宮 淳 (千葉大 /FIT2011)

FIT2010 実行委員会

委員長	山下雅史 (九大)
幹事	高橋 潤 (富士通研 /ISS), 池内克史 (東大 /IPSJ)
会計幹事	石寺永記 (NEC 情報システムズ /ISS), 吉川正俊 (京大 /IPSJ)
ISS 委員	安里 彰 (富士通), 井口和久 (NHK 技研), 井宮 淳 (千葉大), 上坂大輔 (KDDI 研), 芳賀博英 (同志社大), 松田 順 (千代田ユーテック), 三宅 優 (KDDI 研), 村山優子 (岩手県大), 室田真男 (東工大), 柳原 正 (KDDI 研)
HCG 委員	竹内晃一 (OKI)
IPSJ 委員	岩井儀雄 (阪大), 江口浩二 (神戸大), 沢田篤史 (南山大), 関嶋政和 (東工大), 坂東宏和 (イーテキスト研究所), 堀田一弘 (名城大), 三浦元喜 (九工大), 渡辺 尚 (静岡大), Reijer Grimbergen (東京工科大)
委員 (現地)	村上和彰 (九大), 竹田正幸 (九大)

FIT2010 プログラム委員会

委員長	村山優子 (岩手県大)
幹事	安里 彰 (富士通), 渡辺 尚 (静岡大)
ISS 委員	井宮 淳 (千葉大), 大須賀昭彦 (電通大), 佐藤洋一 (東大), 松原行宏 (広島市大), 菅 幹生 (千葉大), 高橋 潤 (富士通研), 名古屋彰 (岡山大), 吉野 孝 (和歌山大)
IPSJ 委員	池内克史 (東大), 小川哲司 (早大), 上地宏一 (大東文化大), 高木幸一 (KDDI 研), 寺田 努 (神戸大), 西崎真也 (東工大), 畑山満則 (京大), 福井美佳 (東芝), 松下 誠 (阪大), 村上登志男 (学習院大)

FIT2010 担当委員

ISS 委員	井口和久 (NHK 技研), 磯 和之 (NTT), 上野洋史 (NEC), 大須賀昭彦 (電通大), 金子正秀 (電通大), 上坂大輔 (KDDI 研), 菅 幹生 (千葉大), 菊池英明 (早大), 北神正人 (千葉大), 小林優佳 (東芝), 酒井 裕 (玉川大), 阪口 豊 (電通大), 佐藤洋一 (東大), 高田喜朗 (高知工科大), 竹内純一 (九大), 名古屋彰 (岡山大), 西 宏之 (崇城大), 芳賀博英 (同志社大), 堀山貴史 (埼玉大), 松田 順 (千代田ユーテック), 松原行宏 (広島市大), 水戸和幸 (電通大), 三宅 優 (KDDI 研), 村上陽平 (NICT), 柳原 正 (KDDI 研), 横山昌平 (静岡大), 吉野 孝 (和歌山大)
HCG 委員	大西 仁 (放送大), 川本一彦 (千葉大), 竹内晃一 (OKI), 寺井 仁 (電機大)
IPSJ 委員	岩井儀雄 (阪大), 上地宏一 (大東文化大), 江口浩二 (神戸大), 大平茂輝 (名大), 小川哲司 (早大), 齋藤孝道 (明大), 櫻庭健年 (日立), 佐藤寿倫 (福岡大), 沢田篤史 (南山大), 重安哲也 (広島国際大), 関嶋政和 (東工大), 高木幸一 (KDDI 研), 高田哲司 (産総研), 滝沢寛之 (東北大), 寺田 努 (神戸大), 中挾知延子 (東洋大), 浜木美太郎 (農工大), 西崎真也 (東工大), 橋本誠志 (徳島文理大), 畑山満則 (京大), 並中雅俊 (筑波大), 坂東宏和 (イーテキスト研究所), 福井美佳 (東芝), 藤代一成 (慶大), 堀田一弘 (名城大), 松下 誠 (阪大), 三浦元喜 (九工大), 宮尾祐介 (東大), 村上登志男 (学習院大), 屋代智之 (千葉工大), 山口弘純 (阪大), 山下 淳 (筑波大), 山中克久 (電通大), 吉田浩章 (東大), Reijer Grimbergen (東京工科大)

FIT2010 現地実行委員会

委員長	安浦寛人 (九大)
副委員長	竹田正幸 (九大)
幹事	村上和彰 (九大)
委員	志堂寺和則 (九大), 瀧本英二 (九大), 内田誠一 (九大)

MEMO